

予算科目	5 款	労働費	事業名		高齢者就業支援事業																																										
	1 項	労働福祉費	総合計画	第 4 章	多彩な人材が活躍し誇りと活気にあふれるまち																																										
	1 目	労働福祉費		第 1 節	賑わいと活気にあふれる商工業の振興																																										
	事業	労働者対策費		(2)	就業環境の充実を図る																																										
担当部課		産業部商工課		実施計画掲載ページ		P 63																																									
目的及び事業内容			（公社）石巻市シルバー人材センターへ補助金を交付して運営を支援することにより、地域に密着した仕事を提供し、高齢者の生きがいの充実や高齢者の社会参加の促進を図るとともに、企業の人手不足の解消、地域社会の維持・発展等を推進する。																																												
取 組 実 績			1 シルバー人材センターの事業実績																																												
			(1) 高齢者の福祉の増進と生きがい対策として、臨時的かつ短期的な業務のあっせん （あっせん業務：技能、事務、管理、折衝外交、一般作業、サービス） 令和7年度の受託実績																																												
			<table><tr><td>職群 \ 区分</td><td>受託 件数</td><td>就業延 実人員</td><td>就業延 人員</td><td>契約金額</td></tr><tr><td>技 能</td><td>1,011件</td><td>3,198人</td><td>4,474人</td><td>41,455,766円</td></tr><tr><td>事 務</td><td>25件</td><td>26人</td><td>108人</td><td>354,295円</td></tr><tr><td>管 理</td><td>18件</td><td>477人</td><td>3,270人</td><td>16,891,928円</td></tr><tr><td>折衝外交</td><td>6件</td><td>99人</td><td>331人</td><td>1,869,050円</td></tr><tr><td>一般作業</td><td>2,370件</td><td>9,789人</td><td>25,143人</td><td>182,322,286円</td></tr><tr><td>サービス</td><td>131件</td><td>131人</td><td>230人</td><td>199,800円</td></tr><tr><td>計</td><td>3,561件</td><td>13,720人</td><td>33,556人</td><td>243,093,125円</td></tr></table>					職群 \ 区分	受託 件数	就業延 実人員	就業延 人員	契約金額	技 能	1,011件	3,198人	4,474人	41,455,766円	事 務	25件	26人	108人	354,295円	管 理	18件	477人	3,270人	16,891,928円	折衝外交	6件	99人	331人	1,869,050円	一般作業	2,370件	9,789人	25,143人	182,322,286円	サービス	131件	131人	230人	199,800円	計	3,561件	13,720人	33,556人	243,093,125円
			職群 \ 区分	受託 件数	就業延 実人員	就業延 人員	契約金額																																								
技 能	1,011件	3,198人	4,474人	41,455,766円																																											
事 務	25件	26人	108人	354,295円																																											
管 理	18件	477人	3,270人	16,891,928円																																											
折衝外交	6件	99人	331人	1,869,050円																																											
一般作業	2,370件	9,789人	25,143人	182,322,286円																																											
サービス	131件	131人	230人	199,800円																																											
計	3,561件	13,720人	33,556人	243,093,125円																																											
(2) 高齢者の就業機会確保のための一般労働者派遣事業の実施 令和7年度の派遣事業実績																																															
<table><tr><td>契約件数</td><td>派遣登録会員数</td><td>就業延人数</td><td>契約金額</td></tr><tr><td>18件</td><td>67人</td><td>5,863人</td><td>35,657,197円</td></tr></table>					契約件数	派遣登録会員数	就業延人数	契約金額	18件	67人	5,863人	35,657,197円																																			
契約件数	派遣登録会員数	就業延人数	契約金額																																												
18件	67人	5,863人	35,657,197円																																												
成 果			(3) 普及啓発事業の実施																																												
			ホームページの更新や地域説明会、広報誌の発行、新聞掲載等を実施したほか、会員の拡大を図るため、「1・1運動（会員一人が新たに一人の会員加入を呼びかける取組）」、「夫婦会員制度（配偶者が会員となる場合に会費を軽減する制度）」、「ゴールド会員制度（一定期間継続して会員である方を対象とした優遇制度）」の周知・啓発を実施し、会員確保及び加入促進に努めた。																																												
			下記のとおり、会員に対し就業機会を創出することにより、高齢者の生きがい対策、地域社会への貢献が図られた。																																												
			会員数の推移																																												
成果に係る評価			<table><tr><td>年度</td><td>R5</td><td>R6</td><td>R7</td></tr><tr><td>人数</td><td>500人</td><td>511人</td><td>530人</td></tr></table>		年度	R5	R6	R7	人数	500人	511人	530人	受託件数及び契約金額の推移																																		
			年度	R5	R6	R7																																									
			人数	500人	511人	530人																																									
			<table><tr><td>年度</td><td>R5</td><td>R6</td><td>R7</td></tr><tr><td>件数</td><td>3,837件</td><td>3,642件</td><td>3,561件</td></tr><tr><td>金額</td><td>225,489,929円</td><td>235,707,475円</td><td>243,093,125円</td></tr></table>		年度	R5	R6	R7	件数	3,837件	3,642件	3,561件	金額	225,489,929円	235,707,475円	243,093,125円																															
年度	R5	R6	R7																																												
件数	3,837件	3,642件	3,561件																																												
金額	225,489,929円	235,707,475円	243,093,125円																																												
高齢者の就業機会の確保及び社会参加の促進を図るため、会員の就業あっせんや受託事業の実施に加え、1・1運動や夫婦会員制度、ゴールド会員制度、地域説明会の開催など会員確保に向けた取組を実施した。その結果、受託件数及び就業延人員は減少したものの、会員数は前年度から19人増加するとともに、契約金額も7,385,650円増加したことから、高齢者の就業機会確保及び社会参加の促進に一定の成果が得られた。 一方で、企業における定年延長や再雇用制度の拡充により、今後は新規会員の確保がより困難になることが見込まれる。このため、事業を継続するとともに会員の退会防止対策や新規受託先の開拓など、安定的な就業機会の確保に向けた取組について見直し及び強化を図る必要がある。																																															
(単位：円)																																															
予算の執行状況		予算額	決算額	決算額の財源内訳																																											
				国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																								
		23,750,000	23,750,000				23,750,000																																								

予算科目	5 款	労働費	事業名		中小企業勤労者総合福祉事業																																																							
	1 項	労働福祉費	総合計画	第 4 章	多彩な人材が活躍し誇りと活気にあふれるまち																																																							
	1 目	労働福祉費		第 1 節	賑わいと活気にあふれる商工業の振興																																																							
	事業	労働者対策費		(2)	就業環境の充実を図る																																																							
担当部課		産業部商工課	実施計画掲載ページ		P 64																																																							
目的及び事業内容		(一財)石巻地区勤労者福祉サービスセンターに補助金を交付して運営を支援することにより、中小企業が単独では実施できない労働福祉事業の共同化を促進し、勤労者の労働福祉向上と中小企業の振興を図る。																																																										
取 組 実 績		1 石巻地区勤労者福祉サービスセンター事業実績 (1) 在職中の生活安定に係る事業 延べ人数：488人 ・共済給付事業（結婚・出産・入学等の祝金、弔慰金・傷病等の見舞金等） ・生活資金融資あっせん事業 (2) 健康の維持増進に係る事業 延べ人数：720人 ・健康管理事業（人間ドック、インフルエンザ予防接種補助） ・スポーツ大会等事業 ・体育施設利用助成事業（割引施設利用料等助成） (3) 老後生活の安定に係る事業及び財産形成に係る事業 延べ人数16人 ・豊かな老後生活のための生涯生活設計の普及 ・広報誌にて中退共済制度の普及を促進 (4) 自己啓発事業 延べ人数：91人 ・各種教室や講座（料理教室、自己啓発講座） (5) 催物等事業 延べ人数：237人 ・ツアー事業（東京フリーツアー、いちご狩りツアー等）及びビアパーティー等 (6) 割引事業 延べ人数：6,078人 ・チケット制割引事業及びコンサートチケット等斡旋、宿泊施設斡旋 (7) その他法人の目的を達成するために必要な事業 ・加入促進事業及び情報提供事業、会議等開催、研修等																																																										
成 果		入会事業所及び会員数は前年度から減少した。 共済給付・行事参加延べ人数については、全体では前年度と同程度を維持したものの、催物等事業では参加人数が大きく減少した。一方で、6事業のうち4事業では参加人数が増加しており、事業ごとに利用状況の違いが見られた。 <table><tr><th colspan="7">共済給付・行事参加延べ人数</th></tr><tr><th>年度</th><th>生活安定事業</th><th>健康維持事業</th><th>老後生活安定事業</th><th>自己啓発事業</th><th>催物等事業</th><th>割引事業</th><th>合計</th></tr><tr><td>R5</td><td>479人</td><td>810人</td><td>19人</td><td>120人</td><td>307人</td><td>4,488人</td><td>6,223人</td></tr><tr><td>R6</td><td>478人</td><td>692人</td><td>0人</td><td>118人</td><td>361人</td><td>6,042人</td><td>7,691人</td></tr><tr><td>R7</td><td>488人</td><td>720人</td><td>16人</td><td>91人</td><td>237人</td><td>6,078人</td><td>7,630人</td></tr></table> <table><tr><th colspan="3">会員入会状況</th></tr><tr><th>年度</th><th>事業所数</th><th>会員数</th></tr><tr><td>R5</td><td>251事業所</td><td>2,480人</td></tr><tr><td>R6</td><td>238事業所</td><td>2,322人</td></tr><tr><td>R7</td><td>231事業所</td><td>2,266人</td></tr></table>					共済給付・行事参加延べ人数							年度	生活安定事業	健康維持事業	老後生活安定事業	自己啓発事業	催物等事業	割引事業	合計	R5	479人	810人	19人	120人	307人	4,488人	6,223人	R6	478人	692人	0人	118人	361人	6,042人	7,691人	R7	488人	720人	16人	91人	237人	6,078人	7,630人	会員入会状況			年度	事業所数	会員数	R5	251事業所	2,480人	R6	238事業所	2,322人	R7	231事業所	2,266人
共済給付・行事参加延べ人数																																																												
年度	生活安定事業	健康維持事業	老後生活安定事業	自己啓発事業	催物等事業	割引事業	合計																																																					
R5	479人	810人	19人	120人	307人	4,488人	6,223人																																																					
R6	478人	692人	0人	118人	361人	6,042人	7,691人																																																					
R7	488人	720人	16人	91人	237人	6,078人	7,630人																																																					
会員入会状況																																																												
年度	事業所数	会員数																																																										
R5	251事業所	2,480人																																																										
R6	238事業所	2,322人																																																										
R7	231事業所	2,266人																																																										
成果に係る評価		総合計画に掲げるKPI「共済給付・行事参加延べ人数」の目標値7,750人に対し、実績値は7,630人となり、達成率は98.4%と概ね目標を達成することができた。 一方で、全体の利用者数は前年度と同程度で推移しているものの、自己啓発事業及び催物等事業では利用者数の減少が見られたことから、利用状況や会員ニーズを分析するとともに、利用が伸びている事業も含めた効果的な周知や事業内容の充実を図る必要がある。 また、生産年齢人口の減少や退職者の増加に伴い、今後も会員数の減少が見込まれることから、安定的な事業運営に向けて、会員ニーズに応じたサービスの充実や新規会員の確保に取り組み、勤労者の福祉の向上及び中小企業の振興を図る必要がある。																																																										
(単位：円)																																																												
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																																									
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																																						
	15,000,000	15,000,000			2,970,000	12,030,000																																																						

予算科目	5 款	労働費	事業名		勤労者生活安定資金融資あっせん事業			
	1 項	労働福祉費	総合計画	第 4 章	多彩な人材が活躍し誇りと活気にあふれるまち			
	1 目	労働福祉費		第 1 節	賑わいと活気にあふれる商工業の振興			
	事業	労働者対策費		(2)	就業環境の充実を図る			
担当部課		産業部商工課		実施計画掲載ページ		P 64		
目的及び事業内容		中小企業勤労者の生活の安定を図るとともに、勤労意欲の向上及び中小企業の振興と雇用の安定に寄与するため、東北労働金庫において市が預託した金額の4倍の融資額を設定し、融資を行う。						
取 組 実 績	1 預託額 20,000,000円							
	2 勤労者向け生活安定資金の融資あっせん制度の実施 市内中小企業従業員に対する低利での生活資金、教育資金および自動車資金の融資							
	用途区分		融資額		貸付期間		貸付利率	
	生活資金		各資金 300万円 以内		15年以内		2.75%	
	教育資金				15年以内 (5年以内の据置期間を設けることが可能)		1.45%	
	福祉資金				15年以内 (1年以内の据置期間を設けることが可能)		1.25%	
	自動車資金				15年以内		1.65%	
	移住定住支援資金						1.25%	
	空き家対策支援資金		1.25%					
	3 融資（貸付実行）実績							
	用途区分		件数	金額	用途区分	件数	金額	
	生活資金		3件	4,000,000円	自動車資金	23件	40,850,000円	
教育資金		5件	9,360,000円	移住定住支援資金	0件	0円		
福祉資金		1件	670,000円	空き家対策支援資金	0件	0円		
				計	32件	54,880,000円		
4 制度拡充等の内容								
(1) 対象資金に「福祉資金」、「移住定住支援資金」及び「空き家対策支援資金」を追加								
(2) 融資額をすべての資金について300万円以内に変更								
(3) 償還期間を一律15年以内に變更（教育資金・福祉資金については据置期間あり）								
(4) 東北労働金庫の預託金に対する協調倍率を4倍に変更								
(5) 自動車資金を1.45%から1.65%に引き上げ								
成 果	直近3年間の融資実績は下表のとおりであり、勤労者の生活資金需要に対応することで、中小企業勤労者の生活の安定に寄与した。							
	年度	前年度末債務残高		融資（貸付実行）		完済	年度末債務残高	
		件数	金 額	件数	金 額	件数	償還金額	件数 金 額
	R5	9件	7,258,433円	7件	11,010,000円	1件	2,804,111円	15件 15,464,322円
	R6	15件	15,464,322円	7件	9,350,000円	2件	5,058,386円	20件 19,755,936円
	R7	20件	19,755,936円	32件	54,880,000円	5件	5,594,590円	47件 69,041,346円
成果に係る評価	融資額や償還期間の見直しなど、利用しやすい制度となるよう改正を行った結果、新規利用者が大幅に増加し、預託金を10,000,000円から20,000,000円へ増額した。また、年間の融資実績は32件、54,880,000円となり、中小企業勤労者の生活の安定及び福利厚生の上に寄与することができた。							
	一方、新たに創設した「福祉資金」、「移住定住支援資金」及び「空き家対策支援資金」の利用実績は3資金合わせて1件にとどまったことから、制度の認知度向上に向けた周知方法の見直しや関係機関と連携した情報発信を強化する必要がある。							
また、融資枠80,000,000円に対し債務残高が増加していることから、今後の利用需要を踏まえ、東北労働金庫石巻支店と情報共有を図りながら、安定的な制度運営に向けた預託金の増額について検討する必要がある。								
(単位：円)								
予算の執行状況	予算額		決算額		決算額の財源内訳			
					国(県)支出金	地方債	その他	一般財源
	20,000,000		20,000,000				20,000,000	

予算科目	5 款	労働費	事業名		雇用対策連携事業	
	1 項	労働福祉費	総合計画	第 4 章	多彩な人材が活躍し誇りと活気にあふれるまち	
	1 目	労働福祉費		第 6 節	未来の産業を担う人材の確保と育成	
	事業	労働者対策費		(1)	関係機関との連携により人材を確保する	
担当部課		産業部商工課		実施計画掲載ページ		P 81
目的及び事業内容		企業の人手不足を解消するために求職者と企業のマッチングを図り、国や県との連携により合同企業説明会等を開催し、産業人材の確保及び育成を図る。				
取 組 実 績		国、県と連携し、下記事業を開催した。 1 合同企業説明会（共催2回） 対象者 市内に在住の求職者 参加者数 158人 日 程 令和7年6月13日、10月22日 2 高校生のための合同企業説明会（共催） 対象者 就職希望の高校3年生 参加者数 207人 日 程 令和7年7月17日 3 桜坂高校企業見学ツアー（主催2回） 対象者 桜坂高校・県立高校3年生及び桜坂高校2年生の就職希望者 参加者数 15人 日 程 令和7年7月25日、令和8年3月26日 4 石巻北高等学校飯野川校向け地域産業学習会（共催） 対象者 就職希望の高校1年生 参加者数 8人 日 程 令和7年11月4日 5 高齢者向け合同企業説明会（主催） 対象者 市内に在住の求職者 参加者数 90人 日 程 令和7年11月28日				
成 果		合同企業説明会を4回開催し、455人の求職者が参加したほか、企業見学ツアーを2回実施し、15人が参加した。これにより、求職者が地元企業や多様な業種を知る機会を提供するとともに、企業と求職者とのマッチング機会の創出を図り、地域産業を担う人材の確保に寄与した。 また、「雇用促進委員会」、「石巻地域産業人材育成プラットフォーム会議」、「石巻市雇用対策協定運営協議会」を開催（参加）し、関係機関との情報共有や連携強化を図ったことで、人材確保・人材育成に向けた取組を効果的に推進することができた。				
成果に係る評価		求職者の就職機会の確保を図るため、合同企業説明会及び企業見学ツアー等を実施した。令和7年度の参加者数は延べ478人となり、多くの求職者に対して企業とのマッチング機会を提供することができたことから、今後も継続して実施する必要がある。 一方、企業見学ツアーについては参加者の確保が課題であったことから、令和7年度は市ホームページやSNSを活用した情報発信の充実を図るとともに、参加者の関心が高い業種を見学先に選定するなど、実施内容の見直しを行った。その結果、若年層が参加しやすい事業となるよう改善を図ることができた。令和8年度においては、高校や大学等への訪問及び関係機関を通じた周知を強化し、更なる参加促進に取り組んでいく。				
(単位：円)						
予算の執行状況	予算額		決算額		決算額の財源内訳	
					国(県)支出金	一般財源
	5, 000		2, 400			2, 400

予算科目	6 款	農林水産業費	事業名		環境保全型農業支援事業			
	1 項	農業費	総合計画	第 4 章	多彩な人材が活躍し誇りと活気にあふれるまち			
	3 目	農業振興費		第 3 節	魅力的な農林畜産業の振興			
	事業	農業振興費		(2)	持続可能な農業生産体制を整備する			
担当部課		産業部農林課		実施計画掲載ページ		P 72		
目的及び事業内容		農業者の組織する団体等が実施する化学肥料・化学合成農薬を原則5割以上低減する取組と合わせて行う地球温暖化防止や生物多様性保全等に効果の高い農業生産活動等に取り組む場合に支援を実施する。対象となる農業生産活動は、有機農業、堆肥の施用、緑肥の作付け（カバークロップ、リビングマルチ、草生栽培）、総合防除（当該年度の長期中干し、前年度の湛水不実施、前年度の秋耕）、炭の投入である。						
取 組 実 績		令和7年度については、11団体43人を対象に16,996,360円の交付を行った。補助金の負担割合は、国1/2、県1/4、市1/4である。 R7 補助事業の実施（単位：円）						
		組織名	取組内容	人数	補助金合計	国(1/2)	県(1/4)	市(1/4)
		広洲沼有機の友	有機農業	2人	1,115,800	557,900	278,950	278,950
		K O S	有機農業/堆肥	1人	3,867,080	1,933,540	966,770	966,770
		陽光ライス	有機農業	5人	4,809,000	2,404,500	1,202,250	1,202,250
		種人会	有機農業	4人	1,125,600	562,800	281,400	281,400
		河南ネクスト農場	有機農業	2人	910,000	455,000	227,500	227,500
		ひたかみ有機の会	有機農業	2人	1,999,200	999,600	499,800	499,800
		J A 新みやぎ南郷	有機農業	1人	68,600	34,300	17,150	17,150
		J A 新みやぎ涌谷	堆肥の施用	1人	52,920	26,460	13,230	13,230
カリオン環境部会	総合防除	1人	25,600	12,800	6,400	6,400		
	いしのまき農業協同組合稲作部会矢本支部	堆肥の施用	3人	196,920	98,460	49,230	49,230	
	いしのまき農業協同組合稲作部会河南支部	堆肥の施用	21人	2,825,640	1,412,820	706,410	706,410	
	計	43人	16,996,360	8,498,180	4,249,090	4,249,090		
成 果	農業や化学合成肥料の使用低減により、輸送時や生成時に発生する温室効果ガスの削減や生物多様性の保全に貢献している。							
	取組面積の推移（単位：h a）							
	取組内容	R3	R4	R5	R6	R7		
	有機農業	80.17	76.84	77.2	82.21	87.9		
	堆肥の施用	102.04	142.44	150.19	153.42	123.16		
	緑肥の作付け	-	7.68	4.07	-	0		
	秋耕	6.83	7.65	5.44	8.32	0		
	炭の投入	-	-	-	-	0		
	総合防除	-	-	-	-	0.64		
	合計	189.04	234.61	236.9	243.95	211.7		
成果に係る評価	地球温暖化防止や生物多様性保全といった環境問題全般に対しての国民の関心が高まり、農業の持続的発展と農業の有する多面的な機能が発揮できる環境が求められる今、これらに効果の高い農業生産活動等に取り組む農業者の組織する団体等へ支援を継続して実施した結果、着実に取組面積が増加している。本事業の活用により、農業者が農業を継続できる環境を整え、農業が本来有する自然循環機能を維持・増進し、地球温暖化防止や生物多様性保全に積極的且つ効果の高い営農活動に対して支援を行うため、今後も事業を継続していく必要がある。令和7年度より第3期の取扱いとなり、それまで地域特認取組であった総合防除や炭の投入が全国共通取組となり、取組事業者に対する指導や情報共有等きめ細かな対応を継続して行う必要がある。							
	（単位：円）							
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳					
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源		
	20,280,000	16,996,360	12,747,270			4,249,090		

予算科目	6 款	農林水産業費	事業名		みやぎの水田農業改革支援事業			
	1 項	農業費	総合計画	第 4 章	多彩な人材が活躍し誇りと活気にあふれるまち			
	3 目	農業振興費		第 3 節	魅力的な農林畜産業の振興			
	事業	農業振興費		(2)	持続可能な農業生産体制を整備する			
担当部課		産業部農林課		実施計画掲載ページ		P 71		
目的及び事業内容		米の需給調整に係る集団転作に取り組む農業法人や集落営農組織等を対象とし、作業の効率化及び適期作業による品質向上を図るための作業機械導入経費の軽減を目的に、宮城県と本市が補助金を交付するもの。						
取 組 実 績		転作用機械を導入する補助対象事業者（9組織）に対し、県補助金（4/10以内）に市が5%嵩上げた補助金を交付し、作業機械導入経費の負担軽減を図った。						
		1 事業実施主体数 ： 9組織						
		2 導入施設及び機械						
		補助対象一覧（単位：円）						
			事業者名	対象作物	内容	補助金額		
		1	（農）水沼ファーム	麦・大豆	遠赤汎用乾燥機一式	3,780,000		
		2	（農）アスターファーム	麦・大豆	ケンブリッジローラー式	1,036,000		
		3	（株）ゆいっこ	麦・大豆	乾燥機一式	1,639,000		
		4	（株）ヒロふぁーむ	麦・大豆	汎用コンバインー式	6,853,000		
		5	（農）ライズ	大豆	ハイクリブーム	2,842,000		
6	和瀨営農組合	大豆	クリーンシーダ他	1,528,000				
7	（有）サンダーファーム	麦・大豆	スリップローラーシーダー等	1,082,000				
8	（株）入沢ファーム	麦・大豆	グランドロータリー等	3,476,000				
9	（株）ルーラルファーム	麦・大豆	スリップローラーシーダー等	2,047,000				
				合計	24,283,000			
成 果		9組織が転作用機械を導入し、麦・大豆等の栽培における作業効率の向上に伴い、生産規模の拡大が図られた。						
		支援組織数の推移						
		年度	R3	R4	R5	R6	R7	
		組織数	11組織	7組織	11組織	10組織	9組織	
		転作面積の推移（※二毛作含む）（単位：h a）						
作物名		R3	R4	R5	R6	R7		
麦		718	779	828	902	905		
大豆		1,580	1,650	1,660	1,660	1,670		
成果に係る評価		農産物の安定的な生産供給推進のため、主に農業基盤整備完了後に水田におけるブロックローテーションを促進し、水稻、麦、大豆等の土地利用型作物の作付けによる水田の高度利用を推進している。転作面積の確保により米価下落等のリスクを避け、米農家全体の安定性は図られている。しかしながら、令和6年度に引き続き、令和7年度においても米価の高騰が進んでおり、消費者保護の観点から主食用米の増産が決定されている（米生産配分面積の増：宮城県）。これにより令和8年度においては転作面積の減少が示されているが、引き続き一定の転作面積の確保が望まれることから、転作作物の変更等で影響を受ける補助対象事業者に必要な支援となるよう、情報共有を密に行っていく必要がある。						
		（単位：円）						
予算の執行状況		予算額	決算額	決算額の財源内訳				
				国（県）支出金	地方債	その他	一般財源	
		33,130,000	24,283,000	21,588,000			2,695,000	

予算科目	6 款	農林水産業費	事業名		担い手育成総合支援事業（農業）		
	1 項	農業費	総合計画	第 4 章	多彩な人材が活躍し誇りと活気にあふれるまち		
	3 目	農業振興費		第 3 節	魅力的な農林畜産業の振興		
	事業	農業振興費		（ 6 ）	持続可能な農業経営体を育成する		
担当部課		産業部農林課		実施計画掲載ページ		P 74	
目的及び事業内容		本市の第一次産業においては、後継者不足等の理由により就業者の減少が続いている。 新たな担い手を確保するために、支援拠点となる農業担い手センターを設置し、就農相談や農業法人とのマッチング、就農後のフォローアップなどを実施する。 また、市独自の新規就農者独立支援事業により、新規就農者が営農に要する土地や機械の取得を支援する。					
取 組 実 績	○石巻市農業担い手センター支援事業						
	1 定期的な就農相談会を毎月2回、計24回実施。 ・毎月第2・第4月曜日						
	2 石巻農学（生産者との交流、座学研修）を3回実施						
	開催日程		内容		参加者数		
	令和7年4月29日		いちご栽培について		7名		
	令和7年8月11日		里山農業（多品目）について		7名		
	令和7年12月7日		さつまいも栽培について		5名		
	3 石巻百姓塾（農業体験を兼ねた宿泊研修）を2回実施						
	開催日程		内容		参加者数		
	令和7年10月12日 ～10月13日		1日目：いちご観光農園見学体験、2日目：稲刈り体験		5名		
成 果	令和8年2月28日 ～3月1日		1日目：味噌づくり体験、2日目：いちご観光農園見学体験		10名		
	4 生産者訪問						
	年度	組織数	・就農希望者の紹介や就農後のフォローとして訪問相談。 ・担い手農家と営農の現状や求人等情報交換。 ・農業体験（研修）事業の受け入れ、協力に係る相談等。				
	R5	19組織					
	R6	24組織					
	R7	27組織					
	○新規就農者独立支援事業						
	R7：1件（小型管理機導入）						
	【新規就農者】 新規就農者4名。内2名（夫婦）が市外から移住し独立就農、1名がUターンにより親元就農、1名は市外より雇用就農						
	○農業担い手センター運営事業						
年度		就農相談	新規就農者	離農者	年度末就農者		
R3		66人	6人	6人	5人		
R4		20人	7人	3人	9人		
R5		23人	6人	3人	12人		
R6		28人	3人	0人	15人		
R7		37人	4人	0人	19人		
年度末就農者（累計）は年々増加している。							
○新規就農者独立支援事業 1名が利用、小型管理機の導入により作業の効率化が図られた。							
成果に係る評価	本市農業においては、農業従事者の高齢化や担い手不足が進行する中、農地の維持・保全が大きな課題となっている。このような状況に対し、農業担い手センターを中心とした担い手確保対策事業を継続的に実施してきた結果、令和7年度は4名の新規就農者を確保することができた。今後も関係機関と連携しながら取組を継続する必要がある。						
	また、移住を伴う新規就農者に対しては、就農に向けた支援に加え、地域への定着に向けた伴走支援を行うことで、安心して移住・就農できる環境づくりに寄与している。担い手の確保は短期間で成果が現れるものではないため、将来の地域農業を支える人材の育成・確保に向け、引き続き継続的な支援を実施していく必要がある。						
(単位：円)							
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源	
	12,500,000	12,175,000			12,175,000		

予算科目	6 款	農林水産業費	事業名		有害鳥獣農作物被害防止対策事業				
	1 項	農業費	総合計画	第 4 章	多彩な人材が活躍し誇りと活気にあふれるまち				
	3 目	農業振興費		第 3 節	魅力的な農林畜産業の振興				
	事業	二ホンジカ農作物被害防止対策費		(7)	農作物の被害対策を推進する				
担当部課		産業部二ホンジカ対策室	実施計画掲載ページ		P 74				
目的及び事業内容			二ホンジカについては生息域が牡鹿半島だけでなく内陸部に拡大していることに伴い、農林業被害のほか交通事故等の生活被害が発生している。 このことから、有害鳥獣による被害を防止するため、銃器及びわなによる捕獲を実施するとともに、被害が発生している地域への侵入防止柵の貸与など、地域ぐるみでの対策の推進を図る。						
取 組 実 績			石巻市鳥獣被害防止計画に基づき捕獲を実施するとともに、牡鹿半島二ホンジカ対策協議会へ補助金を交付し、侵入防止柵や箱わなの貸与、捕獲用 I C T 機器の導入など各団体の活動支援を実施した。						
			1 有害鳥獣捕獲事業						
			(1) 実施団体 宮城県猟友会石巻支部及び河北支部 (2) 実施期間 ア 銃器による捕獲 4月から11月まで（50日間×2支部） イ わなによる捕獲 くくりわな 4月から2月まで（随時実施） 箱わな 4月から3月まで（随時実施） (単位：頭数)						
			(3) 捕獲実績 (二ホンジカ)						
			年度	市	銃器	わな	鹿除去処理	県	合計
			R5	1,537	605	792	140	514	2,051
			R6	1,495	543	796	156	583	2,078
			R7	1,549	503	806	240	797	2,346
			2 鳥獣被害防止総合支援事業						
			(1) 地域への侵入防止柵（ネット柵）貸与 9,100m （稲井地区 3,500m、河北地区（大川、北境） 3,300m、北上地区（十三浜） 2,300m）						
			(2) 大型獣用箱わな貸与 5基（石巻支部2基、河北支部3基）						
			(3) I C T 活用わな遠隔監視システム導入 子機17台						
			(4) 猟犬用 G P S 発信機購入 10台						
			(5) 狩猟免許取得支援 7名 （狩猟免許試験受験者用講習会受講料全額助成、狩猟免許試験受験料1/2を助成）						
成 果			3 クマ対策						
			緊急銃猟時補償用保険加入、クマ撃退スプレー購入、県より箱わな2基譲渡						
			有害鳥獣捕獲事業及び鳥獣被害防止総合支援事業の実施により、農作物等の被害低減が図られた。						
			有害鳥獣（二ホンジカ）による被害額						
			年度	成果指標				目標達成率	
				目標値	実績値	農作物被害	交通事故被害		
			R5	44,000千円	34,844千円	13,844千円	21,000千円	126.2%	
			R6	41,000千円	37,817千円	12,317千円	25,500千円	108.4%	
			R7	39,000千円	29,977千円	9,277千円	20,700千円	130.0%	
			※交通事故被害は1件当たり300千円として算出。						
成果に係る評価			二ホンジカによる農作物等の被害低減を図るため、捕獲及び侵入防止柵の設置を推進した結果、成果指標における目標値の達成に至ったが、まだ高い水準で被害が発生していることから事業を継続する必要がある。宮城県の調査では本市における二ホンジカの生息密度が依然として高いことから引き続き地域ぐるみの被害防止対策を推進していかなければならない。猟犬の位置をリアルタイムに把握できる G P S 発信機や捕獲用 I C T 機器の台数を増やすなどし、効率の向上及び従事者の負担軽減を図りながら効果的な捕獲を推進していく必要がある。						
			また、東北地方をはじめとして各所でクマによる被害が発生したことから、緊急銃猟に備えて損害保険に加入し、撃退スプレーや箱わなを備えた。引き続き事態を注視して、平時から体制を整えておくことが必要である。						
			(単位：円)						
予算の執行状況			予算額	決算額	決算額の財源内訳				
					国(県)支出金	地方債	その他	一般財源	
			35,255,000	33,908,408				33,908,408	

予算科目	6 款	農林水産業費	事業名		優良肉用牛生産振興対策事業																																																																													
	1 項	農業費	総合計画	第 4 章	多彩な人材が活躍し誇りと活気にあふれるまち																																																																													
	4 目	畜産費		第 3 節	魅力的な農林畜産業の振興																																																																													
	事業	畜産振興費		(4)	石巻産農畜産物のブランド化を推進する																																																																													
担当部課		産業部農林課		実施計画掲載ページ		P 73																																																																												
目的及び事業内容		宮城県基幹種雄牛を活用した石巻地域の和牛ブランド化と、優良な和牛生産地としての地位を維持するため、保留対象牛導入者に対して経費の一部を助成することにより、子牛生産現場における生産意欲の高揚を促す。 対象牛導入者に対し、その経費の一部を予算の範囲内で助成する。 1 石巻市産の宮城県基幹種雄牛：繁殖牛、肥育牛共に、1頭当たり 80,000円以内 2 その他の宮城県基幹種雄牛：繁殖牛、肥育牛共に、1頭当たり 50,000円以内																																																																																
取 組 実 績		当事業について、上期、下期の2期に分けて申請受理及び交付決定を実施した。 1 上期（対象期間：令和7年4月1日～令和7年9月30日） <table><tr><td>産地別</td><td>単価</td><td>繁殖牛</td><td>肥育牛</td><td>助成額</td></tr><tr><td>石巻市産</td><td>80,000円</td><td>0頭</td><td>0頭</td><td>0円</td></tr><tr><td>その他（市外産）</td><td>50,000円</td><td>5頭</td><td>8頭</td><td>650,000円</td></tr></table> 2 下期（対象期間：令和7年10月1日～令和8年3月31日） <table><tr><td>産地別</td><td>単価</td><td>繁殖牛</td><td>肥育牛</td><td>助成額</td></tr><tr><td>石巻市産</td><td>80,000円</td><td>0頭</td><td>1頭</td><td>80,000円</td></tr><tr><td>その他（市外産）</td><td>50,000円</td><td>3頭</td><td>16頭</td><td>950,000円</td></tr></table> 3 上期＋下期 <table><tr><td>産地別</td><td>単価</td><td>繁殖牛</td><td>肥育牛</td><td>助成額</td></tr><tr><td>石巻市産</td><td>80,000円</td><td>0頭</td><td>1頭</td><td>80,000円</td></tr><tr><td>その他（市外産）</td><td>50,000円</td><td>8頭</td><td>24頭</td><td>1,600,000円</td></tr></table> 4 年度別実績 <table><tr><td>項目</td><td>R3</td><td>R4</td><td>R5</td><td>R6</td><td>R7</td></tr><tr><td>繁殖牛</td><td>15頭</td><td>15頭</td><td>17頭</td><td>15頭</td><td>8頭</td></tr><tr><td>肥育牛</td><td>44頭</td><td>46頭</td><td>46頭</td><td>40頭</td><td>25頭</td></tr><tr><td>頭数合計</td><td>59頭</td><td>61頭</td><td>63頭</td><td>55頭</td><td>33頭</td></tr><tr><td>助成額</td><td>3,160,000円</td><td>3,230,000円</td><td>3,270,000円</td><td>2,750,000円</td><td>1,680,000円</td></tr></table>						産地別	単価	繁殖牛	肥育牛	助成額	石巻市産	80,000円	0頭	0頭	0円	その他（市外産）	50,000円	5頭	8頭	650,000円	産地別	単価	繁殖牛	肥育牛	助成額	石巻市産	80,000円	0頭	1頭	80,000円	その他（市外産）	50,000円	3頭	16頭	950,000円	産地別	単価	繁殖牛	肥育牛	助成額	石巻市産	80,000円	0頭	1頭	80,000円	その他（市外産）	50,000円	8頭	24頭	1,600,000円	項目	R3	R4	R5	R6	R7	繁殖牛	15頭	15頭	17頭	15頭	8頭	肥育牛	44頭	46頭	46頭	40頭	25頭	頭数合計	59頭	61頭	63頭	55頭	33頭	助成額	3,160,000円	3,230,000円	3,270,000円	2,750,000円	1,680,000円
産地別	単価	繁殖牛	肥育牛	助成額																																																																														
石巻市産	80,000円	0頭	0頭	0円																																																																														
その他（市外産）	50,000円	5頭	8頭	650,000円																																																																														
産地別	単価	繁殖牛	肥育牛	助成額																																																																														
石巻市産	80,000円	0頭	1頭	80,000円																																																																														
その他（市外産）	50,000円	3頭	16頭	950,000円																																																																														
産地別	単価	繁殖牛	肥育牛	助成額																																																																														
石巻市産	80,000円	0頭	1頭	80,000円																																																																														
その他（市外産）	50,000円	8頭	24頭	1,600,000円																																																																														
項目	R3	R4	R5	R6	R7																																																																													
繁殖牛	15頭	15頭	17頭	15頭	8頭																																																																													
肥育牛	44頭	46頭	46頭	40頭	25頭																																																																													
頭数合計	59頭	61頭	63頭	55頭	33頭																																																																													
助成額	3,160,000円	3,230,000円	3,270,000円	2,750,000円	1,680,000円																																																																													
成 果		優良血統肉用牛の地域内保留が図られた。 優良肉用牛産地としての和牛ブランド化を推進し、生産意欲の高揚が図られた。 肉用牛使用経営体数、飼養頭数の推移(市内) <table><tr><td>種別</td><td>R2</td><td>R3</td><td>R4</td><td>R5</td><td>R6</td></tr><tr><td rowspan="2">繁殖</td><td>経営体数</td><td>94戸</td><td>96戸</td><td>89戸</td><td>83戸</td><td>79戸</td></tr><tr><td>飼養頭数</td><td>1,940頭</td><td>1,970頭</td><td>1,878頭</td><td>1,818頭</td><td>1,638頭</td></tr><tr><td rowspan="2">肥育</td><td>経営体数</td><td>29戸</td><td>25戸</td><td>27戸</td><td>27戸</td><td>26戸</td></tr><tr><td>飼養頭数</td><td>2,333頭</td><td>2,201頭</td><td>2,513頭</td><td>2,469頭</td><td>2,458頭</td></tr></table> ※ R7については、県の集計が完了していないため、R6までの記載となる。						種別	R2	R3	R4	R5	R6	繁殖	経営体数	94戸	96戸	89戸	83戸	79戸	飼養頭数	1,940頭	1,970頭	1,878頭	1,818頭	1,638頭	肥育	経営体数	29戸	25戸	27戸	27戸	26戸	飼養頭数	2,333頭	2,201頭	2,513頭	2,469頭	2,458頭																																											
種別	R2	R3	R4	R5	R6																																																																													
繁殖	経営体数	94戸	96戸	89戸	83戸	79戸																																																																												
	飼養頭数	1,940頭	1,970頭	1,878頭	1,818頭	1,638頭																																																																												
肥育	経営体数	29戸	25戸	27戸	27戸	26戸																																																																												
	飼養頭数	2,333頭	2,201頭	2,513頭	2,469頭	2,458頭																																																																												
成果に係る評価		東日本大震災以降、畜産農家は減少を続けており、更に畜産農家を取り巻く現状は物価高騰に伴い厳しい経営環境となっている。そういった厳しい中でブランド化の確立・維持には優れた血統の導入が必要であり、優良牛の保留や安定した出荷頭数の確保に寄与すること、また現在地域で生産されている和牛の肉質等を向上させることにもつながるため、助成事業を継続する必要がある。																																																																																
(単位：円)																																																																																		
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																																																															
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																																																												
	4,000,000	1,680,000			1,680,000																																																																													

予算科目	6 款	農林水産業費	事業名		有機センター施設整備事業			
	1 項	農業費	総合計画	第 4 章	多彩な人材が活躍し誇りと活気にあふれるまち			
	4 目	畜産費		第 3 節	魅力的な農林畜産業の振興			
	事業	堆肥センター費		(5)	安全で高品質な農畜産物の安定供給体制を構築する			
担当部課		産業部農林課	実施計画掲載ページ		P 73			
目的及び事業内容			市内畜産農家からの畜産廃棄物を適正に処理を行うために有機センター施設の修繕や車両等機器更新を実施し、良質な堆肥の生産と需要拡大を図りながら地域内での資源循環型農業を構築するもの。 1 家畜尿の汲取り及び処理 2 家畜排せつ処理施設及び作業車両の維持管理 3 家畜尿処理施設の点検及び維持管理 4 家畜糞の受入及び処理 5 完熟堆肥の生産及び販売並びに成分検査等					
取 組 実 績			市内の有機センターの安定した稼働を維持するため、以下の箇所の修繕を実施した。 【かなん有機センター】 3,950,100円 ・ 攪拌機昇降用駆動電動機修繕 ・ 攪拌機駆動・従動スプロケット交換修繕 ・ 攪拌機走行スプロケットチェーン交換修繕 ・ 攪拌機横行装置修繕 【桃生堆肥化処理センター】 9,517,860円 ・ 攪拌機走行モーター修繕（1台交換3台調整） ・ 攪拌機ウレタン車輪修繕 ・ 攪拌機レール基礎修繕 【北上堆肥センター】 7,310,050円 ・ ローダーエアコンユニット、タイヤ交換修繕 ・ トラックスケール修繕					
成 果			設備や機械（攪拌機）の修繕により、施設の適正な稼働を維持でき、畜産排せつ物等の適正な処理及び資源循環型の安定した堆肥生産、販売を行うことができた。					
			各堆肥センター利用実績					
			地区名	施設名	開館日数	延べ利用者	実績	利用料金実績
			河北	大谷地堆肥センター （設置年度：H11年度）	42日	322人	搬入	644.00 t
							搬入額	193,200円
							販売額	802,880円
河南	かなん有機センター （設置年度：H16年度）	300日	520人	搬入	1,337.07 t			
				搬入額	2,206,196円			
				販売額	2,534,583円			
桃生	桃生堆肥化処理センター （設置年度：H5年度）	357日	2,088人	搬入	3,469.00 t			
				搬入額	2,830,000円			
				販売額	5,358,000円			
北上	北上堆肥センター （設置年度：S60年度）	249日	795人	搬入	1,013.00 t			
				搬入額	751,628円			
				販売額	3,665,783円			
				合計	4,417,411円			
成果に係る評価			施設の老朽化により、修繕箇所が多くなっている状況にある。「かなん有機センター」にて攪拌機が2度停止してしまう事態が発生したが、迅速に対応し、修繕を実施することで稼働を再開することができた。施設の老朽化に伴い安定した運営を行うことが困難になっていることから将来的な施設の在り方について検討が必要な時期に来ており、県内での先進事例について調査しているところである。 家畜の排せつ物を堆肥化し、農家に販売することで土壌改良や有機農業の取組を促進し、化学的に合成した肥料の使用の低減による環境への負荷低減と資源循環型農業の構築は両輪となるものであるため、事業の継続が必要である。					
(単位：円)								
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳					
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源		
	20,822,910	20,778,010		7,100,000		13,678,010		

予算科目	6 款	農林水産業費	事業名		防災重点農業用ため池緊急整備事業															
	1 項	農業費	総合計画	第 4 章	多彩な人材が活躍し誇りと活気にあふれるまち															
	5 目	農地費		第 3 節	魅力的な農林畜産業の振興															
	事業	水利事業費		(1)	豊かな農村環境の再生と農業基盤整備を推進する															
担当部課		産業部農林課		実施計画掲載ページ		P 71														
目的及び事業内容		「防災重点農業用ため池に係る防災工事等の推進に関する特別措置法」に基づき、防災重点農業用ため池の廃止等の改良整備を集中的かつ計画的に行う。																		
取 組 実 績		令和7年度事業実施状況 ○本地第1ため池廃止事業測量設計委託業務 ・事業費：7,123,600円（内訳）国補助金：6,851,000円 市単費：272,600円 ○寒風沢ため池（2）廃止事業計画書作成委託業務 ・事業費：9,535,900円（内訳）国補助金：9,459,000円 市単費：76,900円 (円) <table><thead><tr><th>実施業務</th><th>事業費</th><th>業務概要</th></tr></thead><tbody><tr><td>本地第1ため池廃止事業測量設計委託業務</td><td>7,123,600</td><td>・測量 路線測量 0.07 k m ・設計 排水路実施設計0.05 k m</td></tr><tr><td>寒風沢ため池（2）廃止事業計画書作成委託業務</td><td>9,535,900</td><td>・測量 3級基準点 3点 路線測量 1.5 k m ・調査 ボーリング 6.0m</td></tr><tr><td>計</td><td>16,659,500</td><td></td></tr></tbody></table>							実施業務	事業費	業務概要	本地第1ため池廃止事業測量設計委託業務	7,123,600	・測量 路線測量 0.07 k m ・設計 排水路実施設計0.05 k m	寒風沢ため池（2）廃止事業計画書作成委託業務	9,535,900	・測量 3級基準点 3点 路線測量 1.5 k m ・調査 ボーリング 6.0m	計	16,659,500	
実施業務	事業費	業務概要																		
本地第1ため池廃止事業測量設計委託業務	7,123,600	・測量 路線測量 0.07 k m ・設計 排水路実施設計0.05 k m																		
寒風沢ため池（2）廃止事業計画書作成委託業務	9,535,900	・測量 3級基準点 3点 路線測量 1.5 k m ・調査 ボーリング 6.0m																		
計	16,659,500																			
成 果		本地第1ため池（河北地区）について、令和8年度の廃止工事に向け、令和7年度に実施設計を完了することができた。 また、寒風沢ため池（2）（河北地区）については、令和9年度の廃止工事に向け、令和7年度に事業計画書作成（基本設計）を行った。																		
成果に係る評価		防災重点農業用ため池に係る防災工事等の推進に関する特別措置法（令和2年10月1日施行）に基づき、令和12年度までに全ての防災重点農業用ため池の廃止・改修事業の事業採択が求められている。 本市には、防災重点農業用ため池が15箇所（令和8年3月31日現在）登録されていることから、計画的な対策実施が必要である。																		
		(単位：円)																		
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																	
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源														
	21,312,100	16,659,500	16,310,000			349,500														

予算科目	6 款	農林水産業費	事業名		多面的機能支払交付金事業				
	1 項	農業費	総合計画	第 4 章	多彩な人材が活躍し誇りと活気にあふれるまち				
	5 目	農地費		第 3 節	魅力的な農林畜産業の振興				
	事業	土地改良事業関係助成費		(1)	豊かな農村環境の再生と農業基盤整備を推進する				
担当部課		産業部農林課	実施計画掲載ページ		P70				
目的及び事業内容		農業農村の有する多面的機能（国土の保全、水源の涵養、自然環境の保全、良好な景観の形成等）の維持・発揮を図るため、地域の共同活動に支援を行い、地域資源の適切な保全管理を実施する。 ・対象区域（管内一円）763,138 a、交付先 蛇田保全隊ほか17活動組織 ・事業期間 令和6年度～令和10年度（活動期間5年毎に再認定）							
取 組 実 績	以下の活動組織において次の活動を実施した。 1 農地維持活動（畦畔・農用地法面及び水路の草刈り、水路の泥上げ、農道の路面維持等） 2 資源向上活動（水路、農道等の軽微な補修、花木の植栽活動等）								
	組織名	R6 参加人数	R7 参加人数	R7 対象 農地面積	組織名	R6 参加人数	R7 参加人数	R7 対象 農地面積	
	蛇田	850人	745人	17,797 a	広渕	2,449人	2,554人	65,341 a	
	稲井	899人	864人	66,080 a	須江	2,498人	2,583人	39,068 a	
	小船越	3,177人	3,199人	53,806 a	北村	2,476人	2,010人	30,025 a	
	飯野・成田	1,365人	1,358人	35,232 a	中津山1	3,234人	3,157人	57,306 a	
	二俣	1,980人	1,830人	36,535 a	中津山2	1,953人	1,819人	29,995 a	
	飯野川	2,093人	1,482人	29,450 a	桃生1	1,281人	1,288人	31,536 a	
	北上	787人	736人	27,772 a	太田	1,439人	1,394人	30,803 a	
	前谷地	2,932人	2,897人	48,820 a	大川	939人	782人	41,555 a	
	和渕	2,600人	2,753人	48,785 a					
	鹿又	2,905人	3,684人	73,232 a	合 計 延べ人数	35,857人	35,135人	763,138 a	
	成 果	農業者の高齢化や後継者不足などの影響により、活動人数は令和6年度に比べ722人減少したものの、外部委託等により計画的な保全活動を実施した。 各組織による地域ぐるみの共同活動の継続によって地域コミュニティの活性化に寄与するとともに、農用地、水路、農道等の地域資源が良好に保全され、農業農村の持続的な発展と多面的機能の更なる維持・向上が図られた。							
	成果に係る評価	令和6年度から10年度までの保全活動計画の認定に伴い、全18組織が活動を継続する。これにより、農用地の保全管理や水路・農道等の軽微な補修といった共同活動への支援を通じて良好な地域資源が維持され、農業・農村の多面的機能が安定的に発揮されることが期待される。 また、小学生を対象としたポスターコンクールや生き物調査、田植え・稲刈り体験などの資源向上活動は、地域環境の魅力を伝え、地域農業への理解を深める重要な契機となっている。今後とも身近な地域資源を適切に保全・継承していくためには、本交付金を効果的に活用し、各構成団体との連携強化や次世代の担い手育成を進めながら、地域全体で持続的な活動を展開していくことが不可欠であり、本事業を継続する必要がある。							
(単位：円)									
予算の執行状況	予算額		決算額		決算額の財源内訳				
					国(県)支出金	地方債	その他	一般財源	
	202,968,000		202,967,900		152,225,919			50,741,981	

予算科目	6 款	農林水産業費	事業名		農業用河川工作物応急対応事業		
	1 項	農業費	総合計画	第 4 章	多彩な人材が活躍し誇りと活気にあふれるまち		
	5 目	農地費		第 3 節	魅力的な農林畜産業の振興		
	事業	県営事業負担金		(1)	豊かな農村環境の再生と農業基盤整備を推進する		
担当部課		産業部農林課		実施計画掲載ページ		P 70	
目的及び事業内容		農業用河川工作物等応急対策事業（檜崎地区・真野高木地区）を活用して、農業用施設の改修等を行うことを目的とし宮城県が実施するもの。					
取 組 実 績		県が実施する檜崎地区・真野・高木地区の農業用河川工作物応急対応事業において、法令で定められた割合の県営事業費負担金を支出した。 1 檜崎地区（事業期間：令和4年度～令和11年度） 総事業費： 1,431,000千円（負担割合：国55%、県37%、市8%） ※市総負担額： 114,480千円 令和7年度事業費の実施内容 大網用水樋管補修・補強工事 一式 令和7年度事業費： 50,000千円 ※令和7年度市負担額： 4,000千円 2 真野・高木地区（事業期間：令和3年度～令和11年度）※ソフト事業（基本設計等の調査計画事業） 総事業費 2,600千円（負担割合：県50%、市50%）※事務経費 令和7年度事業費の実施内容 ソフト事業に係る事務経費の負担 令和7年度事業費： 284千円 ※令和7年度市負担額： 142千円 3 合計 令和7年度市負担額 4,142千円					
成 果		檜崎地区における大網用水樋管は、築造50年が経過し、一部老朽化が進み令和7年度に補修・補強工事を実施した。 真野・高木地区については、排水路におけるサイフォン改修の基本設計等を実施した。					
成果に係る評価		檜崎地区の大網用水樋管については、経年劣化により樋管の強度が低下しているため内面の補修工事を行うことにより、安全性を確保することができた。 真野・高木排水樋管については、今後、計画的に調査・設計が進められ改修工事が実施されることにより、機能回復が図られ、周辺農地等の冠水被害を未然に防止する効果が期待できる。					
(単位：円)							
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源	
	4,142,000	4,142,000		4,000,000		142,000	

予算科目	6 款	農林水産業費	事業名		農業競争力強化基盤整備事業（農地整備事業）			
	1 項	農業費	総合計画	第 4 章	多彩な人材が活躍し誇りと活気にあふれるまち			
	5 目	農地費		第 3 節	魅力的な農林畜産業の振興			
	事業	県営事業負担金		（ 1 ）	豊かな農村環境の再生と農業基盤整備を推進する			
担当部課		産業部農林課		実施計画掲載ページ		P 71		
目的及び事業内容			将来の農業生産を担う経営体の育成を図りながら、生産性の高い農業の展開に必要なとなる生産基盤を整備するとともに、農地利用の効率化を進めることにより、食料自給率の向上に資することを目的とする。 事業内容は、ほ場区画を拡大するとともに、用排水路の分離・農道・暗渠排水等を一体的に整備し、ほ場の汎用化を図る。					
取 組 実 績			1 農地整備事業に係る負担金（単位：円）					
			地 区	事業費	国	県	市	地元
			深谷東地区	40,000,000	20,000,000	11,000,000	4,000,000	5,000,000
			深谷東地区（追加）	273,686,000	136,843,000	75,265,000	27,368,000	34,210,000
			深谷西地区	13,196,350	6,598,175	3,630,096	1,319,000	1,649,079
			深谷西地区（追加）	132,127,800	66,063,900	36,335,145	13,213,000	16,515,755
			小 計	459,010,150	229,505,075	126,230,241	45,900,000	57,374,834
			福地地区	7,100,000	3,905,000	1,953,000	710,000	532,000
			福地地区（追加）	83,000,000	45,650,000	22,825,000	8,300,000	6,225,000
			大森地区	15,000,000	8,250,000	4,125,000	1,500,000	1,125,000
大森地区（耕作条件）	444,000,000	244,200,000	122,100,000	44,400,000	33,300,000			
小 計	549,100,000	302,005,000	151,003,000	54,910,000	41,182,000			
合 計	1,008,110,150	531,510,075	277,233,241	100,810,000	98,556,834			
			※ 負担割合 深谷東・深谷西地区：国50%、県27.5%、市10%、地元12.5% 福地・大森地区（中山間地域）：国55%、県27.5%、市10%、地元7.5% ※ 深谷西地区は、受益地が石巻市と東松島市分に跨るため、受益面積に応じた事業費となる。 ※ 大森地区は、農地耕作条件改善事業と併せて整備している。					
成 果			1 農地整備事業費及び進捗率（測量等、工事に関係する事業）（単位：円）					
			地 区	事業期間	農用地面積	総事業費	R7までの事業費	進捗率
			深谷東地区	R3～R11	124.1 ｈ a	3,629,000,000	1,115,582,000	30.7%
			深谷西地区	R4～R12	265.6 ｈ a	8,876,000,000	617,186,000	7.0%
			福地地区	R2～R9	37.6 ｈ a	1,453,000,000	1,062,985,000	73.2%
			大森地区	R3～R11	178.5 ｈ a	4,665,000,000	1,331,032,000	28.5%
			合 計		605.8 ｈ a	18,623,000,000	4,126,785,000	22.2%
			2 面的整備面積及び整備率（ほ場に客土等を入れる等の実工事）					
			地 区	面的整備期間	農用地面積	整備面積	整備率	
			深谷東地区	R5～R11	124.1 ｈ a	75.6 ｈ a	60.9%	
深谷西地区	R6～R12	265.6 ｈ a	13.6 ｈ a	5.1%				
福地地区	R4～R9	37.6 ｈ a	37.6 ｈ a	100.0%				
大森地区	R5～R11	178.5 ｈ a	70.2 ｈ a	39.3%				
合 計		605.8 ｈ a	197.0 ｈ a	32.5%				
成果に係る評価			ほ場の区画を拡大し耕作農地の集約化及び農作業の効率性の向上を図るため、農地整備事業を実施し、高収益作物の導入・拡大等を進め、農地の汎用化を推進することから、引き続き事業完了に向けて継続する必要がある。 □					
（単位：円）								
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳					
			国（県）支出金	地方債	その他	一般財源		
	100,810,000	100,810,000		95,600,000		5,210,000		

予算科目	6 款	農林水産業費	事業名		ため池等整備事業（用排水施設整備工事）		
	1 項	農業費	総合計画	第 4 章	多彩な人が活躍し誇りと活気にあふれるまち		
	5 目	農地費		第 3 節	魅力的な農林畜産業の振興		
	事業	県営事業負担金		（ 1 ）	豊かな農村環境の再生と農業基盤整備を推進する		
担当部課		産業部農林課		実施計画掲載ページ		P 70	
目的及び事業内容		ため池等整備事業（石巻中部二期地区）について、東日本大震災により排水路の排水機能が低下しているため、湛水被害を最小限とすることを目的とし、宮城県が実施するもの。					
取 組 実 績		県が実施する石巻中部二期地区のため池等整備事業において、法令で定められた割合の県営事業費負担金を支出しているもの。 1 石巻中部二期地区（事業期間：令和4年度～令和8年度） 総事業費：1,000,000,000円（負担割合：国55%、県28%、市17%） ※市総負担額：170,000,000円 令和7年度事業費予算：100,000,000円 市負担額：17,000,000円 ※市負担額は、県の計画調整額で算出しており、事業終了後に事業費の精算を行う。 2 市負担金充当事業 石巻中部二期地区建物事後調査業務：15,000,000円充当 大新筒排水機場吸水槽整備工一式：2,000,000円充当 計17,000,000円					
成 果		湛水被害を最小限に抑えるため、嘉右衛門堀自然排水路副水路埋立等を実施した。 なお、一部の工事・業務については令和8年度に繰越明許している。本事業は令和8年度に完了予定である。					
成果に係る評価		当該事業において排水機場の排水量増量や排水路の改修が行われた。 施設周辺の災害を未然に防止する効果や自然排水が機能しないことによる生活環境悪化を防止する効果が高まった。 令和8年度完工に向け、引き続き県と連携し、事業を進めていく。					
(単位：円)							
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源	
	17,000,000	17,000,000		15,300,000		1,700,000	

予算科目	6 款	農林水産業費	事業名		農業経営高度化支援事業（調査・調整事業）	
	1 項	農業費	総合計画	第 4 章	多彩な人材が活躍し誇りと活気にあふれるまち	
	5 目	農地費		第 3 節	魅力的な農林畜産業の振興	
	事業	ほ場整備事業費		(1)	豊かな農村環境の再生と農業基盤整備を推進する	
担当部課		産業部農林課	実施計画掲載ページ		P 71	
目的及び事業内容		農地の利用集積を促進するとともに、経営体の大規模化を図り、生産性の高い水田農業を促進する。また、農地集約の目標値を達成することにより、ほ場整備に係る事業費の農家負担が軽減される。農地整備事業に係るソフト事業として、農家（4地区947戸）の意向調査・土地利用調整活動等を実施する。				
取 組 実 績	調査調整事業委託料 (単位：円)					
	地 区	事業費	国 (50%)	県 (25%)	市 (25%)	委託先
	深谷東地区	2,000,000	1,000,000	500,000	500,000	河南矢本土地改良区
	深谷西地区	2,000,000	1,000,000	500,000	500,000	河南矢本土地改良区
	小 計	4,000,000	2,000,000	1,000,000	1,000,000	
	(単位：円)					
	地 区	事業費	国 (55%)	県 (22.5%)	市 (22.5%)	委託先
	福地地区	1,000,000	550,000	225,000	225,000	北上川沿岸土地改良区
	大森地区	2,000,000	1,100,000	450,000	450,000	石巻市北方土地改良区
	小 計	3,000,000	1,650,000	675,000	675,000	
合 計	事業費	国	県	市	委託先	
	7,000,000	3,650,000	1,675,000	1,675,000	3土地改良区	
	深谷西地区の市負担率 (単位：円)					
	市負担額	石巻市分 (68.46%)	東松島市分 (31.54%)			
		500,000	342,300	157,700		
※深谷西地区は、受益地が石巻市と東松島市に跨るため、受益面積に応じた負担額となる。						
成 果	調査・調整事業により、農地の利用集積及び作付け計画が耕作者間で行われ、中心経営体への集約が図られるとともに、生産性の高い水田農業を行うための調整が図られた。					
	面的集積(集約)状況					
	地 区	農用地面積	R7集約目標面積	集約面積	集約率	
	深谷東地区	124.1 ｈ a	46.3 ｈ a	62.1 ｈ a	50.04%	
	深谷西地区	265.6 ｈ a	23.3 ｈ a	23.6 ｈ a	8.89%	
	福地地区	37.6 ｈ a	18.7 ｈ a	20.8 ｈ a	55.32%	
	大森地区	178.5 ｈ a	54.2 ｈ a	72.3 ｈ a	40.50%	
合 計	605.8 ｈ a	142.5 ｈ a	178.8 ｈ a	29.51%		
成果に係る評価	農地の利用集積の促進及び経営体の大規模化を進め、生産性の高い水田農業を促進するため、引き続き事業を継続する必要がある。					
予算の執行状況	(単位：円)					
	予算額	決算額	決算額の財源内訳			
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源
			7,000,000	7,000,000	5,325,000	157,700

予算科目	6 款	農林水産業費	事業名		石巻市産木材利用住宅促進事業																					
	2 項	林業費	総合計画	第 4 章	多才な人材が活躍し誇りと活気にあふれるまち																					
	2 目	林業振興費		第 3 節	魅力的な農林畜産業の振興																					
	事業	林業振興費		(3)	豊かで身近な森林を再生する																					
担当部課		産業部農林課		実施計画掲載ページ		P 73																				
目的及び事業内容		物価の高騰等に伴う住宅整備コストの上昇による住宅の建築件数の減少に伴い木材需要が減少している状況に鑑み、石巻市産木材、石巻市産 J A S 製品及び石巻市産優良みやぎ材の需要拡大を図ることを目的として、市内に自己の居住の用に供する住宅を新築し、又は市内に新築住宅を購入する者に対し、予算の範囲内において補助金を交付するもの。 補助要件は、石巻市産木材を梁や柱などの主要構造部材に50%以上使用かつ、石巻市産の優良みやぎ材又は J A S 製品を40%以上使用する住宅が対象であり、補助金額は、石巻市産木材が1㎡あたり14,000円、石巻市産の優良みやぎ材又は J A S 製品1㎡あたり4,000円を補助し、1棟あたり最大25万円を補助するもの。																								
取 組 実 績		■令和7年度の取組（初年度実績） <table><tr><td>交付件数</td><td>交付金額</td></tr><tr><td>11件</td><td>2,666,000円</td></tr></table> ■地区別市産材利用量 <table><tr><td>地区名</td><td>交付件数</td><td>市産材利用量</td></tr><tr><td>石巻</td><td>9件</td><td>130.3㎡</td></tr><tr><td>河北</td><td>1件</td><td>18.4㎡</td></tr><tr><td>河南</td><td>1件</td><td>14.0㎡</td></tr><tr><td>合計</td><td>11件</td><td>162.7㎡</td></tr></table>						交付件数	交付金額	11件	2,666,000円	地区名	交付件数	市産材利用量	石巻	9件	130.3㎡	河北	1件	18.4㎡	河南	1件	14.0㎡	合計	11件	162.7㎡
交付件数	交付金額																									
11件	2,666,000円																									
地区名	交付件数	市産材利用量																								
石巻	9件	130.3㎡																								
河北	1件	18.4㎡																								
河南	1件	14.0㎡																								
合計	11件	162.7㎡																								
成 果		木材利用量として、石巻市産木材は162.7㎡利用され、この内、優良みやぎ材・J A S 製品は143.9㎡利用された。木材供給事業者にはアンケート調査を実施した結果、石巻市産の利用量が令和6年度よりも増加していることから、石巻市産の木材需要の拡大が図られた。 <table><tr><td>石巻市産材利用総量</td><td>石巻市産の優良みやぎ材・J A S 製品利用総量</td></tr><tr><td>162.7㎡</td><td>143.9㎡</td></tr></table> ■主要構造部材に対する石巻市産材の平均利用割合 主要構造部材の利用総量 254.2㎡ ・石巻市産材の平均利用割合 64.00% ・石巻市産の優良みやぎ材・J A S 製品の平均利用割合 56.61%						石巻市産材利用総量	石巻市産の優良みやぎ材・J A S 製品利用総量	162.7㎡	143.9㎡															
石巻市産材利用総量	石巻市産の優良みやぎ材・J A S 製品利用総量																									
162.7㎡	143.9㎡																									
成果に係る評価		木材供給事業者へのアンケート調査を実施した結果、石巻市産の原木の納入量及び木材製品の出荷量が令和6年度よりも増加しており、令和8年度においても石巻市産の納入量を増やしたいとの回答があり、木材利用の増進が見込まれることから、令和8年度以降も引き続き事業を継続していく必要がある。																								
(単位：円)																										
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																							
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																				
	5,000,000	2,666,000			2,666,000																					

予算科目	6 款	農林水産業費	事業名		松くい虫対策事業		
	2 項	林業費	総合計画	第 4 章	多彩な人材が活躍し誇りと活気にあふれるまち		
	2 目	林業振興費		第 3 節	魅力的な農林畜産業の振興		
	事業	松くい虫対策事業		(3)	豊かで身近な森林を再生する		
担当部課		産業部農林課	実施計画掲載ページ		P 72		
目的及び事業内容		昭和50年に県内初の松くい虫被害が本市の大門崎地区で確認され、21年後、平成8年度のピーク時点で、石巻圏域で14,000㎡の被害量が確認された。 その後の被害量は、東日本大震災の影響による防除不足から、平成24年度で一時的に被害量が増加したものの、全体的に減少傾向となり、平成28年以降の石巻圏域における年間被害量は、約5,000㎡で推移している。 松くい虫からの被害拡大を防止し、景観の保全と森林資源の確保を図るため、被害木の伐倒駆除や薬剤の樹幹注入・空中散布による予防を実施する。					
取 組 実 績	市内各地で事業を実施した。						
	事業名			事業量	事業費		
	松くい虫被害木等調査業務 市内全域（離島含む）			4,684本 110.00 h a	1,980,000円		
	【駆除】伐倒駆除事業 石巻、河南、河北、北上、雄勝、牡鹿（金華山）			507本 300.941㎡	9,203,309円		
	【予防】樹幹注入事業 牡鹿地区（網地島含む）			227本	3,850,000円		
	【予防】空中散布事業 田代島、網地島			181.56 h a	14,722,915円		
	【駆除】保全松林健全化整備事業（内地） 石巻、桃生、北上			1,498本 1,057.845㎡	36,080,000円		
	【駆除】保全松林健全化整備事業（離島） 田代島			287本 352.659㎡	13,750,000円		
				計	79,586,224円		
	成 果	1,711.45㎡の伐倒駆除を行い、被害拡大防止を図った。					
松くい虫被害木の駆除量の推移（対象樹種：アカマツ・クロマツ）							
年度		業務実施量					
R3		1,665.93㎡					
R4		1,846.71㎡					
R5		1,448.31㎡					
成果に係る評価	景観の保全と森林資源の確保を図るため、被害木の伐倒駆除や薬剤の樹幹注入・空中散布による予防を実施し、これまでの継続的な対策により、松くい虫被害の拡大防止が図られている。 しかし、今までは、感染の翌年に枯れる年越し枯れが多かったが、近年の高温少雨により、感染したその年のうちに枯れる当年枯れを起こす、被害木も増えているため、被害木の枯れの進行状況を踏まえ、駆除する被害木の優先順位を決め、伐倒駆除を進める。 今後も被害拡大防止のために、被害量を注視し、被害拡大への予防と駆除を継続的に行っていく必要がある。						
	(単位：円)						
	予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳			
				国(県)支出金	地方債	その他	一般財源
		81,463,000	79,586,224	52,448,865	13,300,000	8,480,000	5,357,359

予算科目	6 款	農林水産業費	事業名		造林事業																																																							
	2 項	林業費	総合計画	第 4 章	多彩な人材が活躍し誇りと活気にあふれるまち																																																							
	3 目	造林費		第 3 節	魅力的な農林畜産業の振興																																																							
	事業	造林事業費		(3)	豊かで身近な森林を再生する																																																							
担当部課		農林課	実施計画掲載ページ		P 72																																																							
目的及び事業内容		国土の保全、水源の涵養、地球温暖化の防止、林産物の供給等の多面的機能を有し、これらの機能を持続的に発揮させ、林業経営の指針となるため、市有林の適正な管理を行う。																																																										
取 組 実 績		<table><tr><td colspan="3">取組実績</td></tr><tr><td>取組内容</td><td>地区</td><td>事業量</td></tr><tr><td>①下刈り</td><td>石巻（高木）</td><td>2.69 h a</td></tr><tr><td>②保育間伐</td><td>石巻（真野）</td><td>16.02 h a</td></tr><tr><td>③人工造林 防 鹿 柵</td><td>石巻（真野）</td><td>3.84 h a</td></tr><tr><td colspan="3">事業費の内訳</td></tr><tr><td>取組内容</td><td>①下刈り</td><td>②保育間伐</td><td>③造林・防鹿柵</td><td>計</td></tr><tr><td rowspan="4">内 訳</td><td>国補助金</td><td>409,989円</td><td>1,249,200円</td><td>0円</td><td>1,659,189円</td></tr><tr><td>県補助金</td><td>136,663円</td><td>416,400円</td><td>9,922,820円</td><td>10,475,883円</td></tr><tr><td>市負担金</td><td>553,348円</td><td>3,860,800円</td><td>3,666,580円</td><td>8,080,728円</td></tr><tr><td>計</td><td>1,100,000円</td><td>5,526,400円</td><td>13,589,400円</td><td>20,215,800円</td></tr><tr><td colspan="5">※①、②は森林育成事業であり、国・県補助</td></tr><tr><td colspan="5">※③は脱炭素の森モデル事業であり、県補助のみ</td></tr></table>					取組実績			取組内容	地区	事業量	①下刈り	石巻（高木）	2.69 h a	②保育間伐	石巻（真野）	16.02 h a	③人工造林 防 鹿 柵	石巻（真野）	3.84 h a	事業費の内訳			取組内容	①下刈り	②保育間伐	③造林・防鹿柵	計	内 訳	国補助金	409,989円	1,249,200円	0円	1,659,189円	県補助金	136,663円	416,400円	9,922,820円	10,475,883円	市負担金	553,348円	3,860,800円	3,666,580円	8,080,728円	計	1,100,000円	5,526,400円	13,589,400円	20,215,800円	※①、②は森林育成事業であり、国・県補助					※③は脱炭素の森モデル事業であり、県補助のみ				
取組実績																																																												
取組内容	地区	事業量																																																										
①下刈り	石巻（高木）	2.69 h a																																																										
②保育間伐	石巻（真野）	16.02 h a																																																										
③人工造林 防 鹿 柵	石巻（真野）	3.84 h a																																																										
事業費の内訳																																																												
取組内容	①下刈り	②保育間伐	③造林・防鹿柵	計																																																								
内 訳	国補助金	409,989円	1,249,200円	0円	1,659,189円																																																							
	県補助金	136,663円	416,400円	9,922,820円	10,475,883円																																																							
	市負担金	553,348円	3,860,800円	3,666,580円	8,080,728円																																																							
	計	1,100,000円	5,526,400円	13,589,400円	20,215,800円																																																							
※①、②は森林育成事業であり、国・県補助																																																												
※③は脱炭素の森モデル事業であり、県補助のみ																																																												
成 果		保育間伐区域の現地調査の結果、広葉樹化した箇所が点在しており、その分の間伐面積が減工となったが、市有林の環境改善と森林資源の育成を図ることができた。																																																										
成果に係る評価		山地災害の低減や市場への市産木材の流通を図るため、市有林の適正な管理を実施し、林業経営の指針となり、また倒木などによる山地災害の防止をはかるためにも事業を継続する必要がある。																																																										
(単位：円)																																																												
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																																									
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																																						
	23,164,000	20,215,800	12,135,072	8,000,000		80,728																																																						

予算科目	6 款	農林水産業費	事業名		みやぎの豊かな森林づくり支援事業	
	2 項	林業費	総合計画	第 4 章	多彩な人材が活躍し誇りと活気にあふれるまち	
	3 目	造林費		第 3 節	魅力的な農林畜産業の振興	
	事業	次世代森林づくり支援事業費		(3)	豊かで身近な森林を再生する	
担当部課		産業部農林課	実施計画掲載ページ		P 72	
目的及び事業内容		森林資源として成熟しつつある私有林人工林の適正な保育のため、間伐を推進し、森林整備を着実に合理的に推進する。国庫補助の要件に満たない小規模な私有林人工林の間伐が対象。				
取組実績	取組実績					
	取組内容				事業量	
	36年生以上の私有林人工林間伐（間伐率20%以上・搬出なし）				8 h a	
	(河北地区 飯野、福地、三輪田)					
実施期間：令和7年9月1日～令和8年3月31日						
交付先：石巻地区森林組合（業務受注者）						
※補助金は、森林組合が受領し、精算後の不足額を山林所有者が負担する。						
事業費：3,158,000円						
県補助金：1,579,000円						
市補助金：157,000円（事業費の5%）						
成果	高齢級人工林や林小班面積が0.1ha未満の小規模な私有林人工林の間伐を促進することにより、森林整備が進み、良質木材の生産及び森林環境の保全が図られた。					
	人工林間伐の推移					
	年度	成果指標		達成率	山林所有者数	
		目標値	実績値			
	R3	8 h a	6.67 h a	66.2 %	15名	
	R4	8 h a	6.58 h a	83.3 %	17名	
	R5	8 h a	6.17 h a	82.2 %	4名	
	R6	8 h a	7.74 h a	77.1 %	1名	
	R7	8 h a	8.00 h a	100.0 %	15名	
	成果に係る評価	標準単価は年々上昇しているが、多様な機能を有する森林資源の充実と間伐の推進及び森林整備が図られた。				
小規模面積での間伐は、国庫補助要件に該当せず、森林整備を行うには山林所有者の負担が大きく森林整備が行われないことが多いため、本補助事業を実施することにより、山林所有者の負担の減少、水源涵養機能や温暖化防止に寄与するため、今後も事業を継続する必要がある。						
(単位：円)						
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳			
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源
	1,736,000	1,736,000	1,579,000		100,000	57,000

予算科目	6 款	農林水産業費	事業名		森林環境保全整備（間伐）事業																												
	2 項	林業費	総合計画	第 4 章	多彩な人材が活躍し誇りと活気にあふれるまち																												
	3 目	造林費		第 3 節	魅力的な農林畜産業の振興																												
	事業	次世代森林づくり支援事業費		（ 3 ）	豊かで身近な森林を再生する																												
担当部課		産業部農林課		実施計画掲載ページ		P 72																											
目的及び事業内容		良質な木材の生産・水源涵養・山地災害防止を促進するため、成熟しつつある森林資源を有する森林経営計画認定の私有林人工林間伐へ補助を行い推進を図るもの。																															
取組実績		<table><tr><td colspan="3">取組内容</td><td colspan="3">事業量</td></tr><tr><td colspan="3">森林経営計画認定者が実施する私有林人工林の間伐</td><td colspan="3">9.44 ha</td></tr></table> 実施期間： 令和8年3月19日～令和8年3月25日 交付先： 石巻地区森林組合（業務受注者） ※補助金は、森林組合が受領し、精算後の不足額を山林所有者が負担する。 事業費： 18,737,000円 市補助金： 936,000円（事業費の5%）						取組内容			事業量			森林経営計画認定者が実施する私有林人工林の間伐			9.44 ha																
取組内容			事業量																														
森林経営計画認定者が実施する私有林人工林の間伐			9.44 ha																														
成果		事業量は毎年行う事業者の受注状況や施業計画によって大きく変化しており、私有林人工林の間伐への支援を行うことにより、森林所有者の負担軽減となり適正な保育間伐が図られた。 私有林人工林の間伐の推移 <table><tr><th rowspan="2">年度</th><th colspan="2">成果指標</th><th rowspan="2">達成率</th></tr><tr><th>目標値</th><th>実績値</th></tr><tr><td>R3</td><td>15 ha</td><td>11.26 ha</td><td>75.1 %</td></tr><tr><td>R4</td><td>15 ha</td><td>4.00 ha</td><td>26.7 %</td></tr><tr><td>R5</td><td>15 ha</td><td>12.48 ha</td><td>83.2 %</td></tr><tr><td>R6</td><td>15 ha</td><td>11.87 ha</td><td>79.1 %</td></tr><tr><td>R7</td><td>15 ha</td><td>9.44 ha</td><td>62.9 %</td></tr></table>						年度	成果指標		達成率	目標値	実績値	R3	15 ha	11.26 ha	75.1 %	R4	15 ha	4.00 ha	26.7 %	R5	15 ha	12.48 ha	83.2 %	R6	15 ha	11.87 ha	79.1 %	R7	15 ha	9.44 ha	62.9 %
年度	成果指標		達成率																														
	目標値	実績値																															
R3	15 ha	11.26 ha	75.1 %																														
R4	15 ha	4.00 ha	26.7 %																														
R5	15 ha	12.48 ha	83.2 %																														
R6	15 ha	11.87 ha	79.1 %																														
R7	15 ha	9.44 ha	62.9 %																														
成果に係る評価		本事業を活用したことにより、森林環境の改善や市場への木材供給に寄与することができ、間伐を実施した森林は、補助要件に該当しない地域などが入り、施業計画通りにいかないことがあった。 目標未達の改善を目指して、森林組合との情報の共有を強化し、次年度の施業箇所や実施見込みの事前把握を行い、今後も森林所有者の負担が減るように事業を持続していく必要がある。																															
(単位：円)																																	
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																														
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																											
	1,413,000	936,000				936,000																											

予算科目	6 款	農林水産業費	事業名		森林環境整備事業		
	2 項	林業費	総合計画	第 4 章	多彩な人材が活躍し誇りと活気にあふれるまち		
	5 目	森林環境整備費		第 3 節	魅力的な農林畜産業の振興		
	事業	森林環境整備事業費		(3)	豊かで身近な森林を再生する		
担当部課		産業部農林課	実施計画掲載ページ		P 73		
目的及び事業内容			パリ協定の枠組みの下における、日本の温室効果ガス排出削減目標の達成や森林の災害防止を図るため、森林整備等に必要施策を行う。				
取組実績			災害リスクが高い山地災害危険地区 A に指定され、過去 10 年間で森林整備が行われず、荒廃した私有林を対象に意向調査、集積計画の策定、間伐を実施、また、令和 6 年度で山地災害危険地区 A の事前調査が完了したため、令和 7 年度からは、各地域の有識者から放置森林が多いとの情報があつたエリアの私有林を対象に、事前調査を開始した。				
			(単位：円)				
			取組内容		事業量	決算額	
			意向調査（過去の間伐履歴の調査）		407.62 h a	4,574,000	
			意向調査（市への森林経営管理権委託に対する意向確認）		501.09 h a	4,534,000	
			集積計画（森林経営に適した森林を判定するための計画）		22.56 h a	7,972,000	
			間伐業務（荒廃した私有林の保育間伐を所有者に替わり市が実施）		32.43 h a	18,670,000	
			宮城県森林クラウドシステム運用業務		1 業務	396,000	
			湊字草刈山地内私有林危険木伐採業務		134 本	1,705,000	
					計	37,851,000	
			※ 山地災害危険地区 A は、宮城県が指定した山地災害危険地区のうち災害が発生した場合、被害を与える恐れがある人家や公共施設が 10 戸以上ある箇所。				
成果	森林経営管理制度を活用し、山地災害危険地区 A に指定され、過去 10 年間で森林整備が行われていない、山林のうち、当市へ委託の意向を示した山林の間伐を行うことにより、山地災害のリスク低減が図られた。						
	また、令和 6 年度に山地災害危険地区 A の意向調査が完了したため、令和 7 年度からは、有識者から放置森林の多いエリアを挙げてもらい、意向調査を開始した。						
	間伐面積						
	年度	実績等	備考				
	R3 年度	0.00 h a					
	R4 年度	13.09 h a	前年度から繰越				
	R5 年度	17.63 h a	前年度から繰越				
	R6 年度	45.38 h a	33.15 h a	前年度から繰越			
			12.23 h a	当該年度分			
	R7 年度	32.43 h a					
合計	108.53 h a						
成果に係る評価	森林環境の改善を図るため、長年放置された山林所有者の意向を確認し、同意してもらえば、間伐を実施し森林環境の改善を行ってきた。						
	本事業は林業経営に不向きな山林を対象に事業を実施しており、市が所有者に代わり事業を実施することにより、山地災害の防止などにもつながるので、事業を継続する必要がある。						
(単位：円)							
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源	
	41,646,000	37,851,000			37,851,000		

予算科目	6 款	農林水産業費	事業名		密漁対策助成事業				
	3 項	水産業費	総合計画	第 4 章	多彩な人材が活躍し誇りと活気にあふれるまち				
	2 目	水産業振興費		第 2 節	持続可能な漁業・水産加工業の振興				
	事業	水産振興事業費		(1)	漁場環境の保全を推進する				
担当部課		産業部水産課		実施計画掲載ページ		P 66			
目的及び事業内容		広域的・組織的に行われているアワビ・ウニの密漁を防止するため、宮城県中部東海区（雄勝・牡鹿地区、女川町）に位置する宮城県漁業協同組合各支所及び牡鹿漁業協同組合で宮城県中部東海区密漁対策委員会を組織。 同委員会に対し、共同監視事業に従事する監視船及び陸上監視所の活動経費の一部を補助し、沿岸水産資源の保護及び漁家経営の安定を図る。							
取組実績	1 宮城県中部東海区密漁対策委員会による広域密漁監視活動実施状況								
	実施漁協（支所）名			年間監視実績		監視に要した年間経費(円)		補助金配分額（金額：円）	
				日数	時間				
	宮城県漁協雄勝町東部支所 監視船			0	0.0	※1 183,088		石巻市	0
	宮城県漁協寄磯前網支所 監視船			100	200.0	1,627,306		石巻市	856,220
	牡鹿漁協 監視船			42	122.0	5,341,622		石巻市	1,843,780
宮城県漁協谷川支所（泊浜） 監視船			組合員の高齢化や運航経費等の問題から実施していない。						
宮城県漁協網地島支所 監視船									
宮城県漁協表浜支所 監視船									
合 計			142	322.0	7,152,016		石巻市	2,700,000	
※1 監視員が急遽体調不良となったため監視活動の実績は無かったが、監視船を運航するのに必要な漁船保険料や修繕費等の費用が発生している。									
2 監視実績（石巻市内分）									
年度		R5	R6	R7					
延べ監視日数		222日	154日	142日					
延べ監視時間		557.0時間	282.5時間	322.0時間					
成 果		組合員の高齢化や運航経費の負担などにより監視活動を実施していない漁協支所及び当初計画していたが監視員の体調不良によりやむを得ず監視活動が実施できなかった漁協支所（雄勝町東部支所）はあるが、実施可能な漁協支所による継続的な監視活動が抑止力となり、密漁船の発見はなかった。							
成果に係る評価		三陸沿岸域で横行するウニ・アワビ等磯根資源の密漁防止に向けた取組は震災前から行われていたが、震災後の住民の高台移転や防潮堤の整備等により、夜間の浜は漁業者の監視の目が届かない状況となっている。 近年、密漁者の手口が悪質、巧妙化していることから、平成30年に漁業法が改正され密漁の罰則が強化されたことにより、漁業者の違反操業は減少したものの、漁業者以外の密漁が増加傾向にあるとされている。密漁監視活動は、密漁行為の発見のみならず、抑止力としての効果も大きく、水産資源の保護、回復に大きく貢献しているものである。							
(単位：円)									
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳						
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源			
	2,700,000	2,700,000			2,000,000	700,000			

予算科目	6 款	農林水産業費	事業名		種苗放流事業		
	3 項	水産業費	総合計画	第 4 章	多彩な人材が活躍し誇りと活気にあふれるまち		
	2 目	水産業振興費		第 2 節	持続可能な漁業・水産加工業の振興		
	事業	水産振興事業費		(1)	漁場環境の保全を推進する		
担当部課		産業部水産課		実施計画掲載ページ		P 66	
目的及び事業内容		沿岸漁業において、獲る漁業からつくり育てる漁業への移行を促進することにより漁家経営の安定化を図るため、漁業協同組合が行う地先資源アワビの種苗放流事業に対して助成金を交付し、水揚量の維持安定を図るもの。					
取 組 実 績		各漁業協同組合が有償で購入したアワビの稚貝に対して補助金を交付した。					
		令和7年度	補助金交付先	交付額	稚貝数		合計放流数
					有償分	無償分	
		アワビ 稚貝購入	県漁協網地島支所	493,994円	1,462個	48,288個	49,750個
			県漁協表浜支所		1,525個	20,475個	22,000個
			県漁協雄勝町東部支所		4,353個	59,147個	63,500個
			県漁協北上町十三浜支所		2,925個	66,575個	69,500個
			県漁協石巻市東部支所		31個	13,469個	13,500個
			県漁協谷川支所		202個	3,298個	3,500個
			県漁協寄磯前網支所		60個	11,690個	11,750個
			牡鹿漁協		169,303円	1,431個	28,569個
		合計		663,297円	11,989個	251,511個	263,500個
成 果		アワビは商品価値が高く、漁家経営を支える貴重な漁業収入となっているが、その漁獲は気象、海象の影響を受けやすく、不安定になりがちである。このため、種苗放流を継続して実施することで資源量の維持、回復を図る。 令和7年度の水揚量は14.8トンであり、海水温の記録的高温の影響等を受けた令和6年度に比べ6.4%増加した。					
		○アワビの水揚量					
		年度	R3	R4	R5	R6	R7
		水揚量	22.5トン	29.1トン	19.3トン	13.9トン	14.8トン
成果に係る評価		近年、海洋環境の変化、藻場の減少により磯根の水産資源が減少しており、水揚量も減少基調にあったが、令和7年度の水揚量は、令和6年度と比較し6.4%増と回復の兆しを見せている。アワビは、放流から捕獲サイズに成長するまで、4、5年程度の育成期間を要することから、継続的な実施が必要である。					
(単位：円)							
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源	
	3,000,000	663,297				663,297	

予算科目	6 款	農林水産業費	事業名		水産多面的機能発揮対策事業																															
	3 項	水産業費	総合計画	第 4 章	多彩な人材が活躍し誇りと活気にあふれるまち																															
	2 目	水産業振興費		第 2 節	持続可能な漁業・水産加工業の振興																															
	事業	水産振興事業費		(1)	漁場環境の保全を推進する																															
担当部課		産業部水産課		実施計画掲載ページ		P 66																														
目的及び事業内容		多くの水生生物の生息・生育の場となる藻場の減少や磯焼けが本市沿岸においても発生していることから、水産資源の維持培養及び漁場環境の保全を図るため、漁業協同組合等で構成する活動組織が実施する環境・生態系保全活動を支援する。 【事業内容】 藻場及び干潟の保全、種苗放流、漂流・漂着物及び堆積物の処理、生態系の維持保全等を実施する市内活動組織の取組に対し、宮城県水域保全地域協議会を通じて負担金を支出する。																																		
取 組 実 績		事業実績 4団体で活動を実施した。 <table><tr><td>活動組織</td><td>実施内容</td><td>実施場所</td><td>負担金額</td></tr><tr><td rowspan="2">I S O P (宮城県漁協石巻地区支所)</td><td rowspan="2">ウニの除去、ウニを移植する密度管理、藻場の設置及びモニタリングによる藻場の保全</td><td>佐須浜 田代島周辺</td><td rowspan="2">813,318円</td></tr><tr><td>12 h a</td></tr><tr><td rowspan="2">継 承 奥の海 万石浦 (宮城県漁協石巻湾支所)</td><td rowspan="2">・アカモク等の保護区域の設定及びモニタリングによる藻場の保全 ・アサリを捕食する食害生物の除去及びモニタリングによるアサリ母貝の保護による干潟の保全</td><td>万石浦</td><td rowspan="2">463,590円</td></tr><tr><td>13 h a</td></tr><tr><td rowspan="2">網地島振興協議会 磯焼け対策部会 (宮城県漁協網地島支所)</td><td rowspan="2">潜水士及びタモ網等による船上からのウニ除去による藻場の保全</td><td>網地浜 長渡浜</td><td rowspan="2">720,000円</td></tr><tr><td>10 h a</td></tr><tr><td rowspan="2">表浜藻場増殖場活動委員会 (宮城県漁協表浜支所)</td><td rowspan="2">令和4年度に設置したブロック等着定基質への海藻類付着促進を図るための岩盤清掃及びモニタリングによる藻場の保全</td><td>小網倉浜 小瀬浜</td><td rowspan="2">47,850円</td></tr><tr><td>2 h a</td></tr><tr><td colspan="2">合計</td><td>37 h a</td><td>2,044,758円</td></tr></table>							活動組織	実施内容	実施場所	負担金額	I S O P (宮城県漁協石巻地区支所)	ウニの除去、ウニを移植する密度管理、藻場の設置及びモニタリングによる藻場の保全	佐須浜 田代島周辺	813,318円	12 h a	継 承 奥の海 万石浦 (宮城県漁協石巻湾支所)	・アカモク等の保護区域の設定及びモニタリングによる藻場の保全 ・アサリを捕食する食害生物の除去及びモニタリングによるアサリ母貝の保護による干潟の保全	万石浦	463,590円	13 h a	網地島振興協議会 磯焼け対策部会 (宮城県漁協網地島支所)	潜水士及びタモ網等による船上からのウニ除去による藻場の保全	網地浜 長渡浜	720,000円	10 h a	表浜藻場増殖場活動委員会 (宮城県漁協表浜支所)	令和4年度に設置したブロック等着定基質への海藻類付着促進を図るための岩盤清掃及びモニタリングによる藻場の保全	小網倉浜 小瀬浜	47,850円	2 h a	合計		37 h a	2,044,758円
活動組織	実施内容	実施場所	負担金額																																	
I S O P (宮城県漁協石巻地区支所)	ウニの除去、ウニを移植する密度管理、藻場の設置及びモニタリングによる藻場の保全	佐須浜 田代島周辺	813,318円																																	
		12 h a																																		
継 承 奥の海 万石浦 (宮城県漁協石巻湾支所)	・アカモク等の保護区域の設定及びモニタリングによる藻場の保全 ・アサリを捕食する食害生物の除去及びモニタリングによるアサリ母貝の保護による干潟の保全	万石浦	463,590円																																	
		13 h a																																		
網地島振興協議会 磯焼け対策部会 (宮城県漁協網地島支所)	潜水士及びタモ網等による船上からのウニ除去による藻場の保全	網地浜 長渡浜	720,000円																																	
		10 h a																																		
表浜藻場増殖場活動委員会 (宮城県漁協表浜支所)	令和4年度に設置したブロック等着定基質への海藻類付着促進を図るための岩盤清掃及びモニタリングによる藻場の保全	小網倉浜 小瀬浜	47,850円																																	
		2 h a																																		
合計		37 h a	2,044,758円																																	
成 果		令和6年度に引き続き複数の活動組織により、合計37 h aの藻場の保全や干潟の保全活動に取り組んだ。 【藻場の保全活動】 磯焼けの原因と考えられるウニについて、潜水やタモ網等による駆除を実施し、藻場環境の改善に取り組み、併せて海藻類の生育状況の確認を行うことで、藻場の回復及び水産資源の生育環境の保全が図られた。 【干潟の保全活動】 アサリ等の二枚貝類の生息に影響する食害生物の駆除を実施し、干潟環境の維持・改善が図られた。 【藻場造成】 表浜地区において、令和4年度に設置した着定基質等への海藻類の付着促進を図るため、岩盤清掃等を実施し、藻場形成に適した環境づくりが図られた。 これらの活動を支援するため、宮城県水域保全地域協議会を通じて2,044,758円の負担金を支出し、藻場・干潟等の沿岸環境の保全及び水産資源の維持・回復に寄与した。																																		
成果に係る評価		近年の海洋環境の変化に伴い、磯焼けや藻場の衰退は長期的な課題となっており、その解消には継続的かつ計画的な保全活動が必要である。 藻場の保全活動において、ウニの駆除や岩盤清掃等を実施したことにより、海藻類の生育環境の改善が図られ、藻場の回復に向けた取組を推進することができた。また、干潟の保全活動についても、外来生物等の駆除により、従来の生物の生息環境の維持に取り組むことで、水産資源の保護及び漁場環境の保全に寄与した。 一方で、海水温の上昇等による海洋環境の変化は引き続き懸念されることから、今後も環境変化を注視しながら、関係団体と連携した継続的な藻場・干潟等の保全活動を推進していく必要がある。																																		
(単位：円)																																				
予算の執行状況		予算額	決算額	決算額の財源内訳																																
				国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																													
		2,184,000	2,044,758				2,044,758																													

予算科目	6 款	農林水産業費	事業名		海岸漂着物等地域対策推進事業		
	3 項	水産業費	総合計画	第 4 章	多彩な人材が活躍し誇りと活気にあふれるまち		
	2 目	水産業振興費		第 2 節	持続可能な漁業・水産加工業の振興		
	事業	水産振興事業費		(1)	漁場環境の保全を推進する		
担当部課		産業部水産課		実施計画掲載ページ		P 66	
目的及び事業内容			海洋プラスチックごみをはじめとする海岸漂着物等は、漁業活動や海洋環境に深刻な影響を及ぼしていることから、漁業者等が実施する海岸・海域の清掃活動及び回収したごみの適正処理に要する経費について、国の支援を活用しながら市が事業を実施することで、海岸及び海洋環境の保全並びに漁業環境の維持を図ることを目的とする。 【事業内容】 市内各漁港及びその周辺海域において、海岸に漂着した海洋ごみや海上を漂流する海洋ごみの回収・処理業務を漁業協同組合等へ委託し、海岸漂着物等の削減及び海洋環境の保全に取り組む。				
取 組 実 績			令和7年度事業実績 令和7年度は8団体で活動を実施した。				
			委託先		回収内容	回収量	市委託費
			宮城県漁協 石巻湾支所		廃プラ、木くず等	111.1㎡	1,880,000円
			宮城県漁協 石巻地区支所		廃プラ	49.0㎡	1,250,000円
			宮城県漁協 石巻市東部支所		廃プラ	49.6㎡	1,293,490円
			渡波漁船協同組合		廃プラ、木くず、金くず等	23.3㎡	6,350,000円
			宮城県漁協 表浜支所		廃プラ、木くず等	54㎡	1,899,700円
			宮城県漁協 河北支所		木くず	12.1㎡	300,000円
			宮城県漁協 北上町十三浜支所		廃プラ、木くず等	34.4㎡	1,289,999円
			宮城県漁協 雄勝町東部支所		廃プラ、木くず等	23.0㎡	949,999円
		合 計		356.5㎡	15,213,188円		
成 果			本事業は漁業者が海洋ごみを回収し、漁協が回収されたごみを処分する事業であるが、漂流・漂着ごみの処分を行うことにより、海洋環境の保全に繋がるものとなった。				
成果に係る評価			令和7年度においても、国及び県の補助金を活用し、漁業協同組合等による海洋ごみの回収及び適正処理を実施することができたことから、漁港機能の維持及び海洋環境の保全に寄与した。 また、継続的な清掃活動の実施により、海洋ごみ問題に対する漁業者の理解と関心が高まり、海岸及び海域の環境保全に向けた意識の醸成が図られた。 宮城県の制度の終了に伴い、本事業についても令和7年度をもって終了となるが、海洋ごみ対策及び海洋環境の保全は引き続き重要な課題であることから、これまでの取組の成果を踏まえ、関係機関及び関係団体と連携しながら、今後の効果的な実施体制を構築する必要がある。				
(単位：円)							
予算の執行状況		予算額	決算額	決算額の財源内訳			
				国(県)支出金	地方債	その他	一般財源
		15,370,000	15,213,188	11,092,000			4,121,188

予算科目	6 款	農林水産業費	事業名		担い手育成総合支援事業（水産業）																	
	3 項	水産業費	総合計画	第 4 章	多彩な人材が活躍し誇りと活気にあふれるまち																	
	2 目	水産業振興費		第 2 節	持続可能な漁業・水産加工業の振興																	
	事業	水産振興事業費		(2)	操業体制の充実を図る																	
担当部課		産業部水産課		実施計画掲載ページ		P 67																
目的及び事業内容		本市の基幹産業である水産業は後継者不足等の理由により漁業就業者数の減少が続いていることから、移住者や若者を積極的に受け入れ、新たな担い手を確保するために、空き家等の未利用の建物を活用し、短・中期的に生活できるシェアハウス機能を持った「石巻市水産業担い手センター」を整備し、担い手育成のための事業運営を行う。令和3年度からは水産業一体的に取り組むこととし、水産加工業者の人材確保、幹部候補の育成に向けた事業も実施し、将来の石巻の漁業・水産加工業の担い手としての人材確保・育成を目的としている。また、漁業協同組合等が行う担い手対策に係る経費の一部を補助し、新規就業者の確保・育成を支援する。																				
取 組 実 績	1 水産業担い手センター運営事業 新規就業者が漁業就業をしやすい環境を整えるため、就業・研修における住まい、拠点の場としての「水産業担い手センター」の整備・運営と漁業研修の実施、求人活動、求人求職者間のマッチングを行う事業である。本事業は、地域や漁業者の理解が必要なことから、漁業共同組合との共同事業として実施しており、民間事業者へ事業を委託している。 (1) 担い手センターの運営 整備した担い手センター4か所（渡波地区、雄勝地区、北上地区、牡鹿地区）を運営。漁業に従事する新規就業者の研修研修期間中から定住先が決定するまでの住まいとして運営。 (2) 研修・求人活動等（短期研修・漁師学校・すぎょいバイト） 【WEBサイトや求人広告などからの問合せ実績】152件 【年度末就業者のうち正組合員】2人 【年度末就業者のうち準組合員】4人 【令和7年度の担い手センター利用者】18人（短期利用者11人、長期利用者7人） 【短期研修】1週間を基本とした短期研修の実施（実施件数40件、参加人数18人） 【漁師学校】1泊2日程度の研修で実際の漁業現場を体験できるプログラム（参加人数7人） 【すぎょいバイト】市内の高校生を対象とした水産業のアルバイト型1日職業体験（参加人数44人）																					
	<table><tr><td>区分</td><td>就業者人数</td><td>離職者</td><td>年度末就業者</td></tr><tr><td>R5</td><td>12人</td><td>3人</td><td>45人</td></tr><tr><td>R6</td><td>12人</td><td>3人</td><td>54人</td></tr><tr><td>R7</td><td>19人</td><td>8人</td><td>65人</td></tr></table>						区分	就業者人数	離職者	年度末就業者	R5	12人	3人	45人	R6	12人	3人	54人	R7	19人	8人	65人
	区分	就業者人数	離職者	年度末就業者																		
	R5	12人	3人	45人																		
	R6	12人	3人	54人																		
	R7	19人	8人	65人																		
	2 担い手育成総合支援事業 漁業協同組合などを実施主体とし、漁業就業希望者が、漁労技術や知識の習得、現地の環境に順応することを目的とする研修の実施、及び受入側漁業者が担い手育成に必要なとする活動、新たに、漁業に就業しようとする者が独立するために必要とする経費を支援。																					
	<table><tr><td>担い手確保活動支援</td><td>0件</td></tr><tr><td>担い手育成支援</td><td>4件</td></tr><tr><td>新規就業者独立支援</td><td>1件</td></tr><tr><td>計</td><td>5件</td></tr></table>						担い手確保活動支援	0件	担い手育成支援	4件	新規就業者独立支援	1件	計	5件								
	担い手確保活動支援	0件																				
	担い手育成支援	4件																				
新規就業者独立支援	1件																					
計	5件																					
成果																						
本事業による新規就業者は19人と令和6年度から7人の増加となっている。離職者数も令和6年度と比較し5人増加しているが、年度末の就業者数は65人となっており、着実に就業者を確保している。																						
成果に係る評価																						
最大の成果としては就業支援の部分で新規に19人の従事者を確保したことであり、令和5年度、令和6年度の実績を上回ることができている。本市の基幹産業である水産業を持続可能なものとするために今後も継続する必要がある。																						
(単位：円)																						
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																			
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																
	28,881,000	28,199,820			25,000,000	3,199,820																

予算科目	6 款	農林水産業費	事業名		石巻産食品輸出力強化事業													
	3 項	水産業費	総合計画	第 4 章	多彩な人材が活躍し誇りと活気にあふれるまち													
	2 目	水産業振興費		第 2 節	持続可能な漁業・水産加工業の振興													
	事業	水産振興事業費		(4)	水産物の流通体制の強化を図る													
担当部課		産業部水産課		実施計画掲載ページ		P 68												
目的及び事業内容		石巻産食品（農産物・水産物・加工食品）の販路拡大、輸出振興に向けて、海外における石巻ブランドの販路の開拓や一層の輸出数量及び輸出品目の拡大を図るため、輸出に関する取組みへの支援や輸出に必要となる食品栄養成分分析に要する経費を一部助成する。																
取 組 実 績		1 石巻食品輸出振興協議会 (1) 共同輸出に向けた体制強化 幹事会・事業者会議の開催、輸出可能商品の拡充、米国市場講習会の開催、情報発信の強化、課題整理とスキルアップ、輸出専門機関・関連団体等との情報共有を行った。 (2) 輸出拡大に向けた取組み ・貿易・産業協力振興事業 貿易・産業協力振興事業助成金を活用し、アメリカロサンゼルスへの渡航を伴う企業訪問・商談活動や、アメリカのデザイン会社の石巻への招へいを行った。 ・米国東海岸水産加工品市場調査業務 アメリカワシントンＤＣでレストランを経営する宮木氏にワシントンＤＣ周辺の飲食店の市場調査を委託し、取扱魚種、加工方法の傾向を海鮮系レストラン、ステーキハウス等ジャンルごとに分析し、輸出可能性や課題について検討を行った。 2 栄養成分分析事業費補助 石巻食品輸出振興協議会事業として、会員事業者を対象に食品栄養成分分析に係る費用の補助金について公募を行ったが、応募がなかった。																
成 果		石巻食品輸出振興協議会に加入している事業者へのアンケート調査の結果では、輸出額が減少しており、これは本市主要魚種であるサバ・イワシの不漁による影響が大きな要因と考えられる。このような状況下、協議会を通じた輸出額は、ロサンゼルスへの継続的な商談活動が実を結び1億円を突破した。 また、アメリカ東海岸の市場調査を実施し、簡単に調理可能な商品のニーズが高い傾向にあり、石巻の商品特性と合致するものであることから、将来性のある市場であるとの結果が得られた。今後、市場の拡大に取り組む。 年度別輸出額 <table><tr><td>R3</td><td>R4</td><td>R5</td><td>R6</td><td>R7</td></tr><tr><td>580, 400, 406円</td><td>816, 453, 322円</td><td>1, 042, 384, 304円</td><td>1, 202, 367, 943円</td><td>860, 775, 001円</td></tr></table> ※石巻食品輸出振興協議会参加事業者へのアンケート調査により把握している金額							R3	R4	R5	R6	R7	580, 400, 406円	816, 453, 322円	1, 042, 384, 304円	1, 202, 367, 943円	860, 775, 001円
R3	R4	R5	R6	R7														
580, 400, 406円	816, 453, 322円	1, 042, 384, 304円	1, 202, 367, 943円	860, 775, 001円														
成果に係る評価		人口減少に伴い国内市場は縮小傾向にあるが、海外市場は消費者の所得向上、人口増加等により、市場が拡大している。また、近年の円安傾向も相まって、全国的に輸出への関心が高まっている。 このような背景を踏まえ、政府は、2030年までに5兆円という輸出額目標を掲げ、意欲的に取り組んでいくこととしており、本市においても、市内事業者の所得向上のため、市産食品の輸出販路獲得・拡大に向けた取り組みに対し、今後も継続的に支援を行っていく必要がある。																
(単位：円)																		
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳															
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源												
	10, 000, 000	10, 000, 000			7, 000, 000	3, 000, 000												

予算科目	6 款	農林水産業費	事業名		漁船誘致及び原魚等確保対策事業																
	3 項	水産業費	総合計画	第 4 章	多彩な人材が活躍し誇りと活気にあふれるまち																
	2 目	水産業振興費		第 2 節	持続可能な漁業・水産加工業の振興																
	事業	漁船誘致及び原魚確保対策費		(3)	新たな生産体制・原料確保を促進する																
担当部課		産業部水産課水産物地方卸売市場管理事務所		実施計画掲載ページ		P 67															
目的及び事業内容		石巻魚市場における漁船誘致及び水産業界に供給する原魚等の確保を目的とした、石巻市漁船誘致及び原魚等確保推進委員会と協同し、各地の漁船を誘致する取組を推進する。地元・県内船を最重点としながら、広く各県外船、各種漁業の基地・船主・生産者組合等を積極的に訪問し漁船誘致として、石巻魚市場への水揚を請願する。また、水産物のブランド化に向けた取組を行い、新たなブランド創出を促進しながら、「金華ブランド」の知名度向上や販売力強化に向けた取組を促進する。市場関係者自らが、市場の流通機能や知名度を活用し、金華さば、金華ぎん、金華かつおをはじめ、石巻魚市場で水揚げされた魚を全国ブランド魚として周知していく。																			
取 組 実 績	1 主な漁船誘致事業の実績																				
	<table><tr><td>年度</td><td>実施日数</td><td>訪問件数</td></tr><tr><td>R5</td><td>20</td><td>263</td></tr><tr><td>R6</td><td>17</td><td>231</td></tr><tr><td>R7</td><td>17</td><td>240</td></tr></table> 船主への誘致活動のほか、水揚優秀漁船及び優良取引業者表彰、各種漁業漁船等の出漁見送り、他県への旋網・一本釣漁船誘致、業界会議への出席等誘致活動を行った。						年度	実施日数	訪問件数	R5	20	263	R6	17	231	R7	17	240			
年度	実施日数	訪問件数																			
R5	20	263																			
R6	17	231																			
R7	17	240																			
	2 ブランド認定シール活用登録事業者数																				
	<table><tr><td>年度</td><td>登録事業者数</td></tr><tr><td>R5</td><td>22</td></tr><tr><td>R6</td><td>22</td></tr><tr><td>R7</td><td>24</td></tr></table> 登録事業者が2事業者増え、ホームページでの金華ブランドのPRも継続した。						年度	登録事業者数	R5	22	R6	22	R7	24							
年度	登録事業者数																				
R5	22																				
R6	22																				
R7	24																				
成 果	1 漁船誘致																				
	全国的に水揚数量が減少傾向にあり、石巻市においても前年度を下回ったものの、新たに石川県輪島市で水揚げされたさばを本市に陸送し、原魚確保を行うなど、卸売業者、問屋、買受人及び水産加工業者への原材料供給の維持を図った。 <table><tr><td>年度</td><td>水揚数量（トン）</td><td>水揚金額（千円）</td><td>隻数（隻）</td></tr><tr><td>R5</td><td>91,344</td><td>19,710,494</td><td>44,653</td></tr><tr><td>R6</td><td>85,544</td><td>18,870,343</td><td>42,673</td></tr><tr><td>R7</td><td>64,523</td><td>18,712,903</td><td>43,364</td></tr></table>						年度	水揚数量（トン）	水揚金額（千円）	隻数（隻）	R5	91,344	19,710,494	44,653	R6	85,544	18,870,343	42,673	R7	64,523	18,712,903
年度	水揚数量（トン）	水揚金額（千円）	隻数（隻）																		
R5	91,344	19,710,494	44,653																		
R6	85,544	18,870,343	42,673																		
R7	64,523	18,712,903	43,364																		
	2 ブランド創出																				
	金華ブランドにおいては、産地の知名度・鮮度・ブランドイメージで、取引、商談等においてもその優位性が高められており、買受人等販売促進活動につながった。 金華ブランドシール（金華さば、金華ぎん、金華かつお）を活用する事業者において、ブランド認定シールを継続的に貼付することで、ブランド名の普及浸透が図られた。 環境変化により水揚量が減少しているが、水産関係者及び一般消費者にも積極的にPRを行った。																				
成果に係る評価	海洋環境の変化に伴う漁獲量の減少や漁船の大型化により隻数は減少傾向にあるが、漁船誘致により入港隻数は増加しており、引き続き、石巻漁港においても競争力を強化させていく必要がある。 一方で1隻あたりの水揚げ量が減少していることから、一定数の水揚げを確保している日本海側（石川県輪島市）で水揚げされたさばを陸送搬入し原魚確保に繋げた。 これまでの取り組みに加え、状況に合わせた漁船誘致を継続する必要がある。 また、他の産地との優位性を確保するため、ブランド化は有効な手段であることから、認定シールを活用しPR等を継続していく必要がある。																				
(単位：円)																					
予算の執行状況	予算額		決算額		決算額の財源内訳																
					国(県)支出金	一般財源															
	5,700,000		5,700,000			5,700,000															

予算科目	6 款	農林水産業費	事業名		魚町水産加工共同排水処理施設機能保全事業	
	3 項	水産業費	総合計画	第 4 章	多彩な人材が活躍し誇りと活気にあふれるまち	
	2 目	水産業振興費		第 2 節	持続可能な漁業・水産加工業の振興	
	事業	水産加工団地汚水処理施設機能保全事業費		(6)	水産基盤の充実を図る	
担当部課		産業部水産課	実施計画掲載ページ		P 69	
目的及び事業内容		魚町水産加工共同排水処理施設の長寿命化を図るため、機能保全計画を策定し、計画的な設備等の修繕を行う。				
取 組 実 績		下記のとおり魚町水産加工共同排水処理施設機能保全事業を実施した。 1 業 務 (1) 魚町水産加工共同排水処理施設改修実施設計業務 履行期間：R6.12.18～R8.3.5 対象施設：原水槽設備、曝気槽設備、滅菌放流設備棟他25設備 業務内容：汚水処理施設の機械、電気及び建築の更新に係る実施設計業務 契 約 額：50,707,800円 支 払 額：38,007,800円（業務完成払金） 2 工 事 (1) 魚町水産加工共同排水処理施設更新工事 履行期間：R7.11.4～R8.6.12 対象施設：前加圧浮上設備及び曝気槽 工事内容：加圧ポンプ2台の更新及びエアレータ1門の分解整備工事 契 約 額：44,668,800円 支 払 額：16,470,000円（工事前払金） 支払残額はR8へ繰越 (2) 魚町水産加工共同排水処理施設更新（その2）工事 履行期間：R8.2.27～R8.9.30 対象施設：余剰汚泥脱水設備 工事内容：余剰脱水機A1台及び脱水ケーキコンベアA1台の更新工事 脱水ケーキコンベアB1台、余剰脱水機制御盤改造工事1式 契 約 額：169,400,000円 全額をR8へ繰越				
成 果		魚町水産加工共同排水処理施設において、施設管理者である排水処理公社の意見及び施設の現状から策定した設備更新工事計画に基づき、効率的な設備更新工事を実施することができた。				
成果に係る評価		魚町水産加工共同排水処理施設において、長寿命化計画に基づき施設の更新を計画的に実施したことにより、施設の円滑な稼働を維持することができた。				
(単位：円)						
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳			
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源
	54,477,800	54,477,800	27,239,000	24,500,000		2,738,800

予算科目	6 款	農林水産業費	事業名		捕鯨活動推進事業		
	3 項	水産業費	総合計画	第 4 章	多彩な人材が活躍し誇りと活気にあふれるまち		
	2 目	水産業振興費		第 2 節	持続可能な漁業・水産加工業の振興		
	事業	捕鯨活動推進事業費		(4)	水産物の流通体制の強化を図る		
担当部課		産業部水産課		実施計画掲載ページ		P 68	
目的及び事業内容		全国の捕鯨や鯨食文化に縁のある自治体（33自治体）により「捕鯨を守る全国自治体連絡協議会」が構成され、商業捕鯨再開に向けた活動を行ってきた。本市は、全国でも数少ない基地式捕鯨を抱えていることから、副会長を務めている。平成30年12月、日本政府がIWCを脱退、およそ30年ぶりとなる商業捕鯨が令和元年7月から再開された。しかしながら、商業捕鯨禁止の期間の影響は大きく、捕鯨への理解の低迷、鯨食離れが進んでいることから、今後は、捕鯨産業を将来に渡って維持するための活動を「捕鯨を守る全国自治体連絡協議会」及び「石巻くじら振興協議会」と連携して実施していく。					
取 組 実 績		「石巻くじら振興協議会」と連携して捕鯨産業の推進及び鯨食文化の継承活動を実施した。 石巻くじら振興協議会に係る事業 1 くじらフェアの開催 令和7年10月1日から11月30日まで開催し、参加店舗数は19店舗、クーポン使用枚数は1,631枚 2 企画展示 令和7年9月2日から9月25日まで石巻市役所1階石巻観光協会駅前案内所前で開催 3 くじら探訪ツアーの開催 令和7年3月1日に開催し、参加者数は25名 4 保育所及び学校給食のための鯨肉提供 令和7年10月・11月・令和8年1月の給食用に1,145kgの鯨肉を提供 5 全国鯨フォーラムの開催 令和7年11月1日にマルホンまきあーとテラスを会場に開催。参加者数は約1,500人 令和7年11月2日には鮎川地区でエクスカーションを実施					
成 果		全ての鯨関連イベント・啓発活動参加者数として、5,054人の実績があり、令和6年度の実績4,554人を500人上回ることができた。令和7年度の目標としていた6,000人には到達することができなかったが、例年よりも多くの方々に、捕鯨産業・鯨食文化への理解促進及び普及啓発を図ることができた。					
成果に係る評価		「全国鯨フォーラム2025石巻」では、運営側に各種団体や高校生等、広く市民を巻き込み実施したことから、鯨類資源の持続的な利用や鯨食文化について広く普及することができた。引き続き、石巻くじら振興協議会と連携して鯨関連イベントを開催することにより捕鯨産業と鯨食文化の推進が必要である。					
(単位：円)							
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源	
	20,859,000	20,821,660			18,700,000	2,121,660	

予算科目	6 款	農林水産業費	事業名		海岸堤防等老朽化対策事業		
	3 項	水産業費	総合計画	第 4 章	多彩な人材が活躍し誇りと活気にあふれるまち		
	3 目	漁港管理費		第 2 節	持続可能な漁業・水産加工業の振興		
	事業	漁港管理費		(6)	水産基盤の充実を図る		
担当部課		産業部水産課		実施計画掲載ページ		P 69	
目的及び事業内容		海岸保全基本計画に基づき、海岸堤防の復旧復興に係る整備実施により築造された水門等海岸保全施設の長寿命化を図るとともに、老朽化対策や維持管理を計画的に推進する。 長寿命化計画の策定及び計画に基づく工事の実施。					
取 組 実 績		下記のとおり海岸堤防等老朽化対策事業を実施した。 1 業務 (1) 長面漁港ほか陸間機側操作盤制御装置更新業務 履行期間：R8.2.6～R8.3.26 業務内容：陸間機側操作盤制御装置の更新工事（P L C 交換※） 契 約 額：2,200,000円 支 払 額：2,200,000円（業務完成払金） ※P L C：陸間水門（稼働設備）を自動的に制御(操作)するための装置。 専門のプログラムによりさまざまな操作を自動化するもの。 2 工事 (1) 名振漁港海岸3号水門改良工事 履行期間：R7.1.29～R7.6.13 工事内容：水門ゲートのフロート補修工事 契 約 額：7,150,000円 支 払 額：4,290,000円（工事完成払金）					
成 果		名振漁港海岸3号水門の損傷していたフロート部を交換し、水門が正常に作動する状態に復旧した。 また、陸間水門遠隔監視システムの制御装置（P L C）を計画的に更新したことにより、システムの突発的な不具合の発生を未然に防止することができた。					
成果に係る評価		津波災害の減災に向けて整備した海岸保全施設を計画的に更新することにより、施設の機能維持及び長寿命化が図られ、災害時における確実な施設運用の確保につながることから、本事業を継続して実施する必要がある。					
(単位：円)							
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源	
	12,359,800	6,490,000				6,490,000	

予算科目	6 款	農林水産業費	事業名		漁港施設改良事業	
	3 項	水産業費	総合計画	第 4 章	多彩な人材が活躍し誇りと活気にあふれるまち	
	5 目	漁港建設費		第 2 節	持続可能な漁業・水産加工業の振興	
	事業	漁港施設改良事業費		(6)	水産基盤の充実を図る	
担当部課	産業部水産課		実施計画掲載ページ		P 69	
目的及び事業内容		東日本大震災復旧事業完了後の漁港利用状況の変化及び自然条件の変化に対応した漁港施設の機能強化・改良・整備を行う事業。				
取 組 実 績		下記のとおり漁港施設改良事業を実施した。 1 業務 (1) 前網漁港船揚場改良測量実施設計業務ほか1業務 業務内容：船揚場改良の実施設計業務 履行期間：R 6. 11. 5～R 8. 3. 3 契約額：15,967,600円 支払額：13,577,600円（業務完成払金） (2) 新山漁港防波堤・護岸測量設計業務 業務内容：防波堤延伸改良の実施設計業務 履行期間：R 6. 11. 5～R 7. 9. 30 契約額：12,150,600円 支払額：9,470,600円（業務完成払金） (3) 長渡漁港静穏度解析業務 業務内容：防波堤延伸改良の概略設計業務 履行期間：R 6. 11. 5～R 7. 9. 30 契約額：8,449,100円 支払額：8,449,100円（業務完成払金） 2 工事 (1) 小淵漁港ほか4漁港漁港用梯子設置工事 工事内容：漁港梯子設置及び既設漁港梯子の延伸工事 履行期間：R 6. 11. 18～R 7. 6. 16 契約額：31,240,000円 支払額：18,890,000円（工事完成払金） (2) 長面漁港泊地航路浚渫工事 工事内容：漁港泊地及び航路の堆積土砂浚渫工事 履行期間：R 6. 11. 5～R 7. 6. 25 契約額：42,009,000円 支払額：26,389,000円（工事完成払金） (3) 長面漁港浚渫土運搬処分工事 工事内容：漁港泊地及び航路の浚渫土処分工事 履行期間：R 7. 9. 11～R 7. 12. 4 契約額：30,009,100円 支払額：30,009,100円（前払金完成払） (4) 小網倉漁港ほか4漁港漁港用梯子設置工事 工事内容：漁港梯子設置及び既設梯子の延伸工事 履行期間：R 7. 11. 4～R 8. 5. 20 契約額：36,626,700円 支払額：5,113,900円（指定部分完成払） (5) 水浜分浜漁港被覆石移設工事 工事内容：物揚場前面の海底にある被覆石の移設工事 履行期間：R 7. 9. 11～R 7. 10. 28 契約額：2,687,300円 支払額：2,687,300円（工事完成払金） (6) 水浜分浜漁港被覆石移設（その2）工事 工事内容：物揚場前面の海底にある被覆石の移設工事 履行期間：R 8. 2. 18～R 8. 3. 30 契約額：1,999,800円 支払額：1,999,800円（工事完成払金） (7) 蛤浜漁港雨水排水改善工事 工事内容：漁港施設を改善し、漁港背後地の冠水を防止する工事 履行期間：R 7. 10. 3～R 7. 11. 7 契約額：1,518,000円 支払額：1,518,000円（工事完成払金） (8) 大須漁港照明設備設置工事 工事内容：漁港内に商用電力ＬＥＤ小型照明灯を設置する工事 履行期間：R 7. 11. 28～R 8. 2. 27 契約額：669,900円 支払額：669,900円（工事完成払金） (9) 北上漁港照明設備設置工事 工事内容：漁港内に商用電力ＬＥＤ小型照明灯を設置する工事 履行期間：R 8. 2. 17～R 8. 3. 31 契約額：1,764,400円 支払額：1,764,400円（工事完成払金）				
成 果	漁港梯子の設置や漁港内に堆積した土砂の浚渫により、漁港機能の向上や漁港施設利用者の利便性の向上、さらには漁業者の軽労化が図られ、操業時の安全性の確保に資することができた。					
成果に係る評価	船揚場整備工事、物揚場整備工事、泊地・航路浚渫工事及び漁港用梯子設置工事を実施することにより、漁港機能の維持・向上や漁港施設利用者の安全性の向上、漁業活動の円滑化が図られることから、本事業を継続して実施する必要がある。					
(単位：円)						
予算の執行状況	予算額		決算額		決算額の財源内訳	
					国(県)支出金	一般財源
	130,734,300		120,538,700		52,971,000	17,967,700

予算科目	6 款	農林水産業費	事業名		水産物供給基盤機能保全事業（市事業分）	
	3 項	水産業費	総合計画	第 4 章	多彩な人材が活躍し誇りと活気にあふれるまち	
	5 目	漁港建設費		第 2 節	持続可能な漁業・水産加工業の振興	
	事業	水産物供給基盤機能保全事業費		（ 6 ）	水産基盤の充実を図る	
担当部課		産業部水産課	実施計画掲載ページ		P 68	
目的及び事業内容		本市漁港施設の機能を保全するために必要な維持管理や保全・更新工事を盛り込んだ計画を策定し、効率的な維持管理や既存施設の長寿命化対策を行い、ライフサイクルコストの縮減及び対策コストの平準化を図る。 管理漁港施設の機能保全計画の策定及び計画に基づく保全工事の実施。				
取 組 実 績		機能保全計画に基づく工事を実施した。 1 業務 (1) 月浦漁港月浦防波堤機能保全調査設計業務 履行期間：R6.10.7～R7.7.29 業務内容：鋼管杭の肉厚測定調査及び実施設計業務 契約額：15,518,800円 支払額：11,048,800円（工事完成払金） 2 工事 (1) 水浜分浜漁港水浜北防波堤機能保全（その6）工事 履行期間：R6.9.17～R7.12.8 工事内容：防波堤鋼矢板の撤去新設及び鋼管杭の補修工事 契約額：120,499,500円 支払額：87,499,500円（工事完成払金） (2) 牧ノ浜漁港防波堤機能保全工事 履行期間：R6.8.21～R7.4.16 工事内容：防波堤鋼矢板の撤去及び鋼管杭の補修工事 契約額：24,624,600円 支払額：14,954,600円（工事完成払金） (3) 折ノ浜漁港折ノ浜防波堤機能保全工事 履行期間：R6.9.17～R7.10.6 工事内容：防波堤鋼矢板の撤去及び鋼管杭の補修工事 契約額：52,542,600円 支払額：33,072,600円（工事完成払金） (4) 牧ノ浜漁港防波堤機能保全（その2）工事 履行期間：R7.8.8～R8.3.19 工事内容：防波堤鋼矢板の新設、鋼管杭の補修及び電気防食工事 契約額：148,401,000円 支払額：148,401,000円（工事完成払金） 支払残額はR8へ繰越 (5) 鮫ノ浦漁港ほか1漁港浚渫土運搬処分工事 履行期間：R7.9.12～R7.12.11 工事内容：漁港泊地及び航路の浚渫土処分工事 契約額：31,298,300円 支払額：31,298,300円（工事完成払金） 支払残額はR8へ繰越				
成 果		市管理漁港の長寿命化を図るため機能保全計画に基づき、防波堤鋼管杭基礎に生じた孔食の補修や電気防食工を行い防波堤の耐用年数を向上させた。 また、砂の堆積により水深が浅くなり、漁船の航行等の漁業活動に支障を来していたことから、令和6年度に港内浚渫を実施、令和7年度に浚渫土の運搬処分を実施し、漁業活動の円滑化を図った。				
成果に係る評価		防波堤及び水域施設の機能保全対策を継続的に実施することで、施設の健全性を維持し、長寿命化と必要な機能の確保が図られる。また、ライフサイクルコストの低減や維持管理費用の平準化にも寄与することから、本事業を引き続き推進する必要がある。				
(単位：円)						
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳			
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源
	326,274,800	326,274,800	163,135,000	153,600,000		9,539,800

予算科目	6 款	農林水産業費	事業名		県営漁港整備事業（県事業負担金）		
	3 項	水産業費	総合計画	第 4 章	多彩な人材が活躍し誇りと活気にあふれるまち		
	5 目	漁港建設費		第 2 節	持続可能な漁業・水産加工業の振興		
	事業	県営事業負担金		（ 6 ）	水産基盤の充実を図る		
担当部課		産業部水産課		実施計画掲載ページ		P 68	
目的及び事業内容		宮城県が管理する漁港において、県が事業主体となり漁港を整備する事業費の一部を負担するもの。					
取 組 実 績		福貴浦漁港、渡波漁港、石巻漁港及び寄磯漁港の水産物供給基盤機能保全事業に対し、事業費の一部を負担した。 1 福貴浦漁港 : 事業費 150,000,000円×負担率 15% =22,500,000円 2 渡波漁港 : 事業費 40,000,000円×負担率 15% = 6,000,000円 3 石巻漁港 : 事業費 110,000,000円×負担率 15% =16,500,000円 4 石巻・寄磯漁港 : 事業費 25,000,000円×負担率 15% = 3,750,000円 計 48,750,000円					
		年度	R3	R4	R5	R6	R7
		漁港名	石巻 桃ノ浦 鮎川 渡波	桃ノ浦 福貴浦 渡波	福貴浦 石巻地区（寄磯・桃ノ浦・狐崎・福貴浦・鮎川）	福貴浦漁港 渡波漁港 石巻漁港	福貴浦漁港： 補強鋼管、被覆防食 電気防食 渡波漁港：電気防食 石巻漁港：航路浚渫 梯子設置 寄磯漁港：車止設置
		負担金額	105,000,000円	12,600,000円	34,950,000円	74,550,000円	48,750,000円
成 果		県が実施した事業について、市が負担金を拠出することにより事業が円滑に実施され、漁港の機能性及び安全性が向上した。					
成果に係る評価		石巻市内の県管理漁港において宮城県が実施した令和7年度水産物供給基盤機能保全事業について、本市は事業費の15%を負担金として負担した。これにより、漁港施設の機能保全と漁業活動の円滑化が図られていることから、今後も継続する必要がある。					
予算の執行状況		（単位：円）					
		予算額	決算額	決算額の財源内訳			
				国（県）支出金	地方債	その他	一般財源
		48,750,000	48,750,000		48,700,000		50,000

予算科目	7 款	商工費	事業名		消費者行政対策事業																																																													
	1 項	商工費	総合計画	第 3 章	共に支え合い誰もが生きがいをもち自分らしく健康に暮らせるまち																																																													
	2 目	商工業振興費		第 5 節	みんなが共に支え合う地域共生社会の実現																																																													
	事業	消費者行政事業費		(3)	各種相談事業を充実させる																																																													
担当部課		産業部商工課 保健福祉部総合相談センター		実施計画掲載ページ		P 58																																																												
目的及び事業内容		消費生活における安全・安心の確保のため、消費生活相談員を配置して消費者被害の未然防止と救済に取り組むほか、自立した消費者の育成を図るため、消費者教育と消費生活に関する啓発を推進する。 また、消費者行政の強化を図るため、消費生活相談体制の強化・充実を図っており、消費者被害の防止とともに、市民の消費生活に関する安心確保に努める。																																																																
取 組 実 績		1 ラジオ石巻による啓発 週3回、2分程度の放送により多重債務や悪質商法の手口の紹介や被害防止の注意喚起を行った。 2 地元紙「石巻かほく」への記事掲載 毎月第4土曜日、5段1/4スペースに様々な消費者被害の事例を掲載し注意喚起を行った。 3 消費者講演会等の実施 (1) 一般市民を対象とした弁護士による「令和7年度消費生活講演会」の開催（1回、55人参加） (2) 市内小中学生を対象とした弁護士による消費者教育のための講演会（計15回開催、555人参加） ・中里小学校・向陽小学校・北上小学校・大街道小学校・万石浦小学校・牡鹿中学校 山下中学校・大谷地小学校・稲井中学校・前谷地小学校・広瀬小学校・和瀬小学校 山下小学校・釜小学校・湊小学校 (3) 保育所幼児を対象とした消費啓発事業の実施（計3回、42人参加） ・鹿又保育所・蛇田保育所・石巻保育所 (4) 出前講座「消費者被害にあわないために」の開催（計6回、210人参加） 4 啓発物品の作製 高齢者等の詐欺被害防止を目的とした啓発物品の作製（トートバック・ビニールポーチ等）																																																																
成 果		消費生活相談員を配置し、消費者からの相談に迅速かつ適切な対応を行うとともに、情報資料等の提供により消費者への啓発に寄与した。 1 消費生活相談実績 <table><tr><td>年度</td><td>金融・保険</td><td>通信・運輸</td><td>リース・賃貸</td><td>工事・建築</td><td>その他</td><td>相談件数合計</td></tr><tr><td>R5</td><td>245件</td><td>61件</td><td>53件</td><td>20件</td><td>521件</td><td>900件</td></tr><tr><td>R6</td><td>222件</td><td>58件</td><td>47件</td><td>30件</td><td>586件</td><td>943件</td></tr><tr><td>R7</td><td>253件</td><td>98件</td><td>47件</td><td>13件</td><td>605件</td><td>1,016件</td></tr></table> 2 多重債務相談実績（年代別） <table><tr><td>区分</td><td>R5</td><td>R6</td><td>R7</td></tr><tr><td>10～20代</td><td>15人（7.9%）</td><td>23人（11.7%）</td><td>13人（6.0%）</td></tr><tr><td>30代</td><td>18人（9.5%）</td><td>21人（10.7%）</td><td>22人（10.2%）</td></tr><tr><td>40代</td><td>35人（18.4%）</td><td>34人（17.2%）</td><td>47人（21.7%）</td></tr><tr><td>50代</td><td>42人（22.1%）</td><td>38人（19.3%）</td><td>39人（18.1%）</td></tr><tr><td>60代以上</td><td>77人（40.5%）</td><td>79人（40.1%）</td><td>95人（44.0%）</td></tr><tr><td>不明</td><td>3人（1.6%）</td><td>2人（1.0%）</td><td>0人（0%）</td></tr><tr><td>合計</td><td>190人</td><td>197人</td><td>216人</td></tr></table> ※（ ）内は割合					年度	金融・保険	通信・運輸	リース・賃貸	工事・建築	その他	相談件数合計	R5	245件	61件	53件	20件	521件	900件	R6	222件	58件	47件	30件	586件	943件	R7	253件	98件	47件	13件	605件	1,016件	区分	R5	R6	R7	10～20代	15人（7.9%）	23人（11.7%）	13人（6.0%）	30代	18人（9.5%）	21人（10.7%）	22人（10.2%）	40代	35人（18.4%）	34人（17.2%）	47人（21.7%）	50代	42人（22.1%）	38人（19.3%）	39人（18.1%）	60代以上	77人（40.5%）	79人（40.1%）	95人（44.0%）	不明	3人（1.6%）	2人（1.0%）	0人（0%）	合計	190人	197人	216人
年度	金融・保険	通信・運輸	リース・賃貸	工事・建築	その他	相談件数合計																																																												
R5	245件	61件	53件	20件	521件	900件																																																												
R6	222件	58件	47件	30件	586件	943件																																																												
R7	253件	98件	47件	13件	605件	1,016件																																																												
区分	R5	R6	R7																																																															
10～20代	15人（7.9%）	23人（11.7%）	13人（6.0%）																																																															
30代	18人（9.5%）	21人（10.7%）	22人（10.2%）																																																															
40代	35人（18.4%）	34人（17.2%）	47人（21.7%）																																																															
50代	42人（22.1%）	38人（19.3%）	39人（18.1%）																																																															
60代以上	77人（40.5%）	79人（40.1%）	95人（44.0%）																																																															
不明	3人（1.6%）	2人（1.0%）	0人（0%）																																																															
合計	190人	197人	216人																																																															
成果に係る評価		消費者被害を防ぐため地元紙や地元ラジオ局などによる注意喚起とともに相談窓口の周知を併せて行っている。相談件数は年々増加しており、多重債務に関する相談も、令和6年度に比べ40代からの相談が増えている。 今後も各年齢層に応じた広報・啓発事業の充実を図るとともに、特殊詐欺等の消費者被害の注意喚起として各種事業を継続する必要がある。																																																																
(単位：円)																																																																		
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																																															
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																																												
	20,308,000	19,295,688	3,269,682			16,026,006																																																												

予算科目	7 款	商工費	事業名		石巻フード見本市開催事業																										
	1 項	商工費	総合計画	第 4 章	多彩な人材が活躍し誇りと活気にあふれるまち																										
	2 目	商工業振興費		第 1 節	賑わいと活気にあふれる商工業の振興																										
	事業	商工業振興事業費		(3)	地域ブランドを育成する																										
担当部課		産業部商工課		実施計画掲載ページ		P 64																									
目的及び事業内容			優れた地域食材の販路開拓・販路拡大を図るとともに、食材供給地である石巻地域を全国に発信することを目的に開催される、「石巻フード見本市」を支援する。																												
取 組 実 績			1 みやぎ石巻・塩釜合同フード見本市2026事業概要 (1) 日 程 令和8年2月10日 (2) 会 場 産業見本市会館 サンフェスタ (3) 主 催 石巻フード見本市実行委員会（石巻商工会議所） 塩釜フード見本市実行委員会（塩釜商工会議所） (4) 対象者 （出展業者）宮城県内の食品製造業者等 （参加業者）北海道・東北・関東エリア等の百貨店・量販店・商社・外食産業企業等 2 参加者数																												
			<table><tr><th>年度</th><th>出展者数</th><th>会社数</th><th>人数</th></tr><tr><td>R 3</td><td colspan="3">中止</td></tr><tr><td>R 4</td><td>29社</td><td>160社</td><td>380人</td></tr><tr><td>R 5</td><td>28社</td><td>140社</td><td>350人</td></tr><tr><td>R 6</td><td>22社</td><td>120社</td><td>264人</td></tr><tr><td>R 7</td><td>21社</td><td>400社</td><td>650人</td></tr></table>		年度	出展者数	会社数	人数	R 3	中止			R 4	29社	160社	380人	R 5	28社	140社	350人	R 6	22社	120社	264人	R 7	21社	400社	650人	※ R7は合同開催（全体52社、うち石巻21社）		
年度	出展者数	会社数	人数																												
R 3	中止																														
R 4	29社	160社	380人																												
R 5	28社	140社	350人																												
R 6	22社	120社	264人																												
R 7	21社	400社	650人																												
成 果			水産加工会社を中心に21社が出展した結果、前年度の2倍以上である約150件の商談が行われ、商談成立件数は27件と増加した。 展示や試食を通して各企業的主力商品の P R を行ったほか、個別商談スペースを活用して商談が行われ、販路拡大が図られた。 ◎商談数																												
			<table><tr><th>年度</th><th>商談件数</th><th>商談成立数</th></tr><tr><td>R 3</td><td colspan="2">中止</td></tr><tr><td>R 4</td><td>100件</td><td>23件</td></tr><tr><td>R 5</td><td>150件</td><td>23件</td></tr><tr><td>R 6</td><td>62件</td><td>5件</td></tr><tr><td>R 7</td><td>153件</td><td>27件</td></tr></table>		年度	商談件数	商談成立数	R 3	中止		R 4	100件	23件	R 5	150件	23件	R 6	62件	5件	R 7	153件	27件									
年度	商談件数	商談成立数																													
R 3	中止																														
R 4	100件	23件																													
R 5	150件	23件																													
R 6	62件	5件																													
R 7	153件	27件																													
成果に係る評価			初の試みとして塩釜地域と合同で開催したことにより、令和6年度を上回る来場があった。また、会場を石巻から仙台に変更したことで、新たなバイヤーとの商談につながり、成立件数が増加した。 石巻地域の特産品を全国へ発信するという目的は一定の効果があるものと思われることから、さらに幅広い事業者に出展いただけるよう、実施内容や周知方法を検討し、より効果がある事業へと改善を図る必要がある。																												
(単位：円)																															
予算の執行状況	予算額		決算額		決算額の財源内訳																										
					国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																							
	1,000,000		165,940				165,940																								

予算科目	7 款	商工費	事業名		ベンチアート設置事業										
	1 項	商工費	総合計画	第 4 章	多彩な人材が活躍し誇りと活気にあふれるまち										
	2 目	商工業振興費		第 1 節	賑わいと活気にあふれる商工業の振興										
	事業	商工業振興事業費		(4)	中心市街地活性化を推進する										
担当部課		産業部商工課	実施計画掲載ページ		P 65										
目的及び事業内容		観光客の撮影スポットとなるようなマンガキャラクターのモニュメントが固定されたベンチを設置し、「居心地が良く歩きたくなる」空間づくりを推進するとともに、中心市街地の賑わい創出や回遊性の向上を図る。													
取 組 実 績		中心市街地全体の回遊へ繋げることを目指し、ベンチアートを2基設置した。 <table><tr><td>設置場所</td><td>数量</td><td>キャラクター</td></tr><tr><td>広小路北側</td><td>1基</td><td>仮面ライダーアマゾン</td></tr><tr><td>アイトピア通り南側</td><td>1基</td><td>チックン・ダック、タックン・ハット、Dr. ベル</td></tr></table>					設置場所	数量	キャラクター	広小路北側	1基	仮面ライダーアマゾン	アイトピア通り南側	1基	チックン・ダック、タックン・ハット、Dr. ベル
設置場所	数量	キャラクター													
広小路北側	1基	仮面ライダーアマゾン													
アイトピア通り南側	1基	チックン・ダック、タックン・ハット、Dr. ベル													
成 果		モニュメントの隣に座って写真撮影ができるスポットを点在させることで、マンガの街として新たな名所が生まれ、歩く楽しさを演出することにより中心市街地の魅力の向上につなげることができた。													
成果に係る評価		令和6年度に設置した「かわまちエリア」と「立町エリア」を結ぶエリアへベンチアートを設置したことで、かわまちから街なかに人流を促す歩きたくなる仕掛けや空間をつくることができ、また、これまでマンガロードに設置したモニュメントとの相乗効果により歩く楽しさを演出することで、中心市街地全体の魅力の向上につながった。													
(単位：円)															
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳												
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源									
	7,400,000	7,370,000	3,600,000	3,300,000		470,000									

予算科目	7 款	商工費	事業名		商業団体支援事業																																													
	1 項	商工費	総合計画	第 4 章	多彩な人材が活躍し誇りと活気にあふれるまち																																													
	2 目	商工業振興費		第 1 節	賑わいと活気にあふれる商工業の振興																																													
	事業	商工業振興事業費		(4)	中心市街地活性化を推進する																																													
担当部課		産業部商工課		実施計画掲載ページ		P 65																																												
目的及び事業内容		地方を取り巻く厳しい経済情勢の中、市内における地域商工業の総合的な改善・発達を図るために重要な組織である商工会議所、商工会に対し補助金を交付することで、市内商工業者の振興・育成、地域商工業の発展だけでなく、社会情勢の影響によって変動する地域経済への支援に資することを目的としている。																																																
取 組 実 績		1 商工業振興対策事業費補助金 3,000,000円 既存産業の振興育成、各種補助金制度及び法改正などの経営支援情報提供等に対する石巻商工会議所への補助 2 中小企業振興対策事業費補助金 3,000,000円 中小企業相談所における経営改善普及事業（経営指導員による巡回相談、窓口相談等による金融、経営等の指導育成事業）に対する石巻商工会議所への補助 3 商工会事業費補助金 21,630,000円 各地域の小規模事業者の経営改善普及事業、一般指導事業に対する各商工会への補助 (1) 石巻市杜鹿稲井商工会 4,920,000円 (2) 石巻かほく商工会 9,040,000円 (3) 河南桃生商工会 7,670,000円																																																
成 果		商工会議所及び3商工会では経営指導員による積極的な巡回・窓口指導を行い、経営分析や財務分析、事業計画策定の支援等を行った。加えて、管内事業者の新たな販路に向けた各種商談会への参加周知や商品のブラッシュアップ、情報発信手段としてのSNSの活用など、事業の持続的発展の取組を支援した。 ※令和7年度の商工会議所・3商工会会員数及び指導件数 <table><tr><td></td><td>石巻 商工会議所</td><td>石巻市杜鹿 稲井商工会</td><td>石巻かほく 商工会</td><td>河南桃生 商工会</td><td>合計</td></tr><tr><td>年度末会員数</td><td>1,962 人</td><td>216 人</td><td>408 人</td><td>414 人</td><td>3,000 人</td></tr><tr><td>指導件数</td><td>7,900 件</td><td>2,687 件</td><td>2,546 件</td><td>2,518 件</td><td>15,651 件</td></tr><tr><td>巡回指導件数</td><td>1,366 件</td><td>1,263 件</td><td>1,080 件</td><td>1,749 件</td><td>5,458 件</td></tr><tr><td>窓口指導件数</td><td>3,214 件</td><td>1,315 件</td><td>1,342 件</td><td>663 件</td><td>6,534 件</td></tr><tr><td>集団指導件数</td><td>2,994 件</td><td>14 件</td><td>12 件</td><td>18 件</td><td>3,038 件</td></tr><tr><td>個別指導件数</td><td>326 件</td><td>95 件</td><td>112 件</td><td>88 件</td><td>621 件</td></tr></table>								石巻 商工会議所	石巻市杜鹿 稲井商工会	石巻かほく 商工会	河南桃生 商工会	合計	年度末会員数	1,962 人	216 人	408 人	414 人	3,000 人	指導件数	7,900 件	2,687 件	2,546 件	2,518 件	15,651 件	巡回指導件数	1,366 件	1,263 件	1,080 件	1,749 件	5,458 件	窓口指導件数	3,214 件	1,315 件	1,342 件	663 件	6,534 件	集団指導件数	2,994 件	14 件	12 件	18 件	3,038 件	個別指導件数	326 件	95 件	112 件	88 件	621 件
	石巻 商工会議所	石巻市杜鹿 稲井商工会	石巻かほく 商工会	河南桃生 商工会	合計																																													
年度末会員数	1,962 人	216 人	408 人	414 人	3,000 人																																													
指導件数	7,900 件	2,687 件	2,546 件	2,518 件	15,651 件																																													
巡回指導件数	1,366 件	1,263 件	1,080 件	1,749 件	5,458 件																																													
窓口指導件数	3,214 件	1,315 件	1,342 件	663 件	6,534 件																																													
集団指導件数	2,994 件	14 件	12 件	18 件	3,038 件																																													
個別指導件数	326 件	95 件	112 件	88 件	621 件																																													
成果に係る評価		物価高騰や労働力不足により、地域事業者を取り巻く環境は非常に厳しい状況にあるが、巡回指導や窓口指導を通して金融・経営等の指導育成を図る経営改善普及事業の実施や、関係機関と連携を図りながら個別相談会等を通じて経営計画の策定を支援するなど地域に根ざした事業者の事業承継を支援することで地域の商工業振興に資することができた。																																																
(単位：円)																																																		
予算の執行状況	予算額		決算額		決算額の財源内訳																																													
					国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																										
	27,630,000		27,630,000					27,630,000																																										

予算科目	7 款	商工費	事業名		伝統技術継承支援事業（伝統工芸品支援事業）	
	1 項	商工費	総合計画	第 4 章	多彩な人材が活躍し誇りと活気にあふれるまち	
	2 目	商工業振興費		第 4 節	地域資源を活かした観光事業の振興	
	事業	物産振興事業費		(1)	地域資源を活用した観光誘客を推進する	
担当部課		産業部観光政策課		実施計画掲載ページ		P 75
目的及び事業内容		雄勝硯生産販売協同組合が年次計画を基に実施する事業活動への支援を通じ、後継者に対する技術指導のほか、各種展示会や物産展に参加し国指定伝統的工芸品の販路拡大や開拓を図ることを目的に、伝統的工芸品のPR事業を実施することにより、伝統技術の承継と地場産業の振興を図る。				
取 組 実 績		1 伝統的工芸品振興計画に基づく事業（後継者育成事業、原材料調査事業、雄勝硯及び雄勝石工芸品のPR、販路拡大を行うことによる振興事業等） (1) 高度技術者育成事業 ・ 高度技術者講師の体調不良により中止とした。 (2) 初級技術者養成事業 ・ 初級者に対し、石の目利きや彫りの基礎技術の研修会を実施した。 また、令和8年3月から地域おこし協力隊1名をインターン生として採用し、将来の後継者とするのを目的に、石の磨き作業や彫刻機操作の体験などを実施した。 (3) 原材料採掘及び石質に関わる調査、分析、検討事業 ・ 採掘地点候補を試掘し、加工に適した石の層の調査を実施した。 (4) 意匠開発事業 ・ ・ ・ ・ 装飾性の高い新商品開発のため、会津漆器生産者と協力し2作品を試作した。 (5) 展示会、販売会、ワークショップ等の参加実施 ・ 展示会・販売会 関東3回 県内4回 延べ 27日 ・ 雄勝石ワークショップ 25回 参加者数 82人 ・ 書道教室、体験等 7回 参加者数 42人 2 地域団体商標登録 「雄勝石」の商標団体登録とロゴマークを作成した。また、広くPRするため、地域住民や関係団体、マスコミを招待したお披露目を開催した。				
成 果		令和6年度に実施した宮城県伝統的工芸品インターンシップ事業の内定者のうち1名を、令和8年3月から地域おこし協力隊インターン生として採用につなげることができた。 また、令和6年度から申請していた「雄勝石」の商標団体登録が令和7年10月に認定され、併せてブランドマークを作成し、順次製品に取り入れ、雄勝石製品のブランド化を推進することができた。 そのほか、国の伝統的工芸品産業支援補助金を活用した原材料採掘及び石質に関わる調査、分析、検討事業の実施は、今後の原材料の確保や製品製作の効率化、さらには事業の拡大につながることが期待できる取組となった。				
成果に係る評価		物産展でのPR等が図られたほか、雄勝石の団体商標登録と製品に入れるロゴマークを作成したことで、類似商品と雄勝石ブランドとの商品の差別化が図られ、購買意欲促進の一助となることが期待ができる。 また、宮城県伝統的工芸品インターンシップ事業や地域おこし協力隊制度等を活用した後継者育成において、内定者の辞退が続いた中、1名のインターン生の確保に結び付けることができた。引き続き、関係課と連携しながら、当該インターン生の正式採用に向け進めていくとともに、さらなる後継者の育成を目指し取組を推進していく必要がある。 さらに、関係機関と連携を図り、国の伝統的工芸品産業支援補助金を有効に活用し、経営基盤強化及び事業の拡大に努めることが必要である。				
(単位：円)						
予算の執行状況	予算額		決算額		決算額の財源内訳	
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源
	1,500,000	1,500,000			1,000,000	500,000

予算科目	7 款	商工費	事業名		物産 P R ・ イベント事業 石巻市物産展等参加支援補助金事業																					
	1 項	商工費	総合計画	第 4 章	多彩な人材が活躍し誇りと活気にあふれるまち																					
	2 目	商工業振興費		第 4 節	地域資源を活かした観光事業の振興																					
	事業	物産振興事業費		(1)	地域資源を活用した観光誘客を推進する																					
担当部課		産業部観光政策課		実施計画掲載ページ		P 77																				
目的及び事業内容		本市の特産品や観光資源の魅力を広く発信し、販売促進及び販路拡大を通じて地場産業の振興と地域経済の活性化を図るため、各種物産イベント等において P R を実施する。また、県外で開催される物産展等に参加する事業者に対し、参加に要する経費の一部を補助することで事業者の積極的な参加を促進することにより、市内製品の販路拡大、市の物産振興の推進及び観光資源の周知促進を図る。																								
取 組 実 績	1 物産販売 ・ P R 等 各種物産イベント等において、本市特産品の P R 及び販売促進を実施した。																									
	<table><tr><td>名称</td><td>場所</td><td>開催日</td><td>入込数等</td></tr><tr><td>東京よさこい・ふくろ祭り</td><td>東京都池袋西口公園</td><td>10月11日、12日</td><td>100,000人</td></tr><tr><td>ひたちなか市産業交流フェア2025</td><td>茨城県ひたちなか市</td><td>11月1日、2日</td><td>133,000人</td></tr><tr><td>A N A ウィンドサーフィンワールドカップ</td><td>神奈川県横浜須賀市</td><td>11月14日～16日</td><td>38,000人</td></tr><tr><td>日本東北遊楽日2025</td><td>台湾・台北市</td><td>12月6日、7日</td><td>101,616人</td></tr></table> ※水産加工品、石巻焼きそば等の販売 ・ P R を行った。						名称	場所	開催日	入込数等	東京よさこい・ふくろ祭り	東京都池袋西口公園	10月11日、12日	100,000人	ひたちなか市産業交流フェア2025	茨城県ひたちなか市	11月1日、2日	133,000人	A N A ウィンドサーフィンワールドカップ	神奈川県横浜須賀市	11月14日～16日	38,000人	日本東北遊楽日2025	台湾・台北市	12月6日、7日	101,616人
	名称	場所	開催日	入込数等																						
	東京よさこい・ふくろ祭り	東京都池袋西口公園	10月11日、12日	100,000人																						
ひたちなか市産業交流フェア2025	茨城県ひたちなか市	11月1日、2日	133,000人																							
A N A ウィンドサーフィンワールドカップ	神奈川県横浜須賀市	11月14日～16日	38,000人																							
日本東北遊楽日2025	台湾・台北市	12月6日、7日	101,616人																							
2 石巻圏農泊 ・ 食文化推進事業（ S A V O R J A P A N 関係） 農泊 ・ 食文化推進の取組に対し、補助金を交付した。																										
(1) 各種イベント等でのほや雑煮、蒸しほやの P R、販売 桜坂高校家庭クラブと連携し、「ほやっほ一祭」及び石巻元気食堂でのほや雑煮提供（販売） (2) 体験 ・ 宿泊周遊ルートの開発 宮城県と連携し、 R 7 年度グリーン ・ ツーリズム現地視察研修会に参加 (3) ほや雑煮レトルト試作品の製作業務 (4) 伝統食等の認知度向上を図るための情報発信事業（ホームページ、ポスターの作製等）																										
成 果	3 物産展等参加支援補助金事業																									
	(1) 補助対象経費：出展料、旅費（燃料費、有料道路代金）、宿泊費																									
	(2) 補助金額：補助対象経費合計額の1/2以内、10万円/事業を限度、年2回/事業者を限度																									
	(3) 補助実績																									
<table><tr><td></td><td>交付件数</td><td>交付団体数</td><td>補助金交付額</td><td>出店売上額</td><td>物産 P R 実施人数</td></tr><tr><td>R 7</td><td>23件</td><td>17件</td><td>1,349,000円</td><td>7,758,150円</td><td>333,471人</td></tr></table>							交付件数	交付団体数	補助金交付額	出店売上額	物産 P R 実施人数	R 7	23件	17件	1,349,000円	7,758,150円	333,471人									
	交付件数	交付団体数	補助金交付額	出店売上額	物産 P R 実施人数																					
R 7	23件	17件	1,349,000円	7,758,150円	333,471人																					
成 果		県内外で開催される物産展やイベント等に関係団体との連携のもとで参加し、本市特産品及び観光資源の P R を実施した。また、伝統食を活用した食文化推進事業により、本市ならではの食文化の魅力発信と認知度向上を図った。さらに、物産展等参加支援補助金事業の実施により、事業者の県外イベントへの出展及び販路開拓を支援した結果、多くの来場者に対して本市の魅力を発信するとともに、特産品の販売促進及び販路拡大につながった。																								
成果に係る評価		県内外の物産展やイベントにおける継続的な P R 活動により、本市特産品の認知度向上及び販売機会の創出が図られ、また、補助金事業の実施により事業者の積極的な出展が促進され、販路拡大や売上向上につながるなど、効果的に地場産業の振興が図られた。さらに、伝統食を活用した取組は、本市ならではの食文化の発信及びインバウンド誘客を見据えた地域資源の魅力発信に寄与していることから、引き続き地域経済の活性化及び地場産業の振興を図るため、事業を継続する必要がある。																								
(単位：円)																										
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																							
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																				
	3,764,000	2,644,132	242,000		1,349,000	1,053,132																				

予算科目	7 款	商工費	事業名		産業振興対策事業																												
	1 項	商工費	総合計画	第 4 章	多彩な人材が活躍し誇りと活気にあふれるまち																												
	2 目	商工業振興費		第 5 節	企業誘致の推進と新たな産業の創出																												
	事業	産業振興事業費		(2)	新規創業や第二創業を促進する																												
担当部課		産業部産業推進課		実施計画掲載ページ		P 79																											
目的及び事業内容		金融機関等の支援事業者と連携しながら、本市独自の補助制度により創業者及び創業希望者への経費支援を行うとともに、市内事業者を対象とした各種相談会や中小企業セミナー等の開催などにより包括的な創業支援に取組むことで、新規創業の促進と産業の振興を図る。																															
取 組 実 績		創業に関する知識及び経営スキルの習得を支援するため、業務委託先である石巻産業創造㈱と連携し、「創業開成塾」をはじめとする各種セミナー及び相談会を実施した。 また、創業前又は創業後間もない事業者に対し、「創業支援補助金」を交付することで事業立ち上げを支援したほか、経営安定化及び早期廃業の防止を目的として、創業から3年以上経過した事業者を対象とする新たな補助制度「創業者持続化事業費補助金」を創設し、フォローアップ体制の充実を図った。 1 相談会・セミナー等の実施 <table><tr><td>内容</td><td>参加者数</td></tr><tr><td>起業・経営相談会</td><td>28人</td></tr><tr><td>経営革新塾</td><td>14人</td></tr><tr><td>中小企業セミナー</td><td>22人</td></tr><tr><td>シニアアドバイザー等派遣</td><td>11人</td></tr><tr><td>創業開成塾</td><td>29人</td></tr><tr><td>創業フォローアップセミナー・相談会</td><td>28人</td></tr><tr><td>ワンストップ相談窓口、メール・電話相談</td><td>79人</td></tr><tr><td>A I で見つける私の働き方セミナー</td><td>6人</td></tr><tr><td>アントレプレナーセミナー</td><td>239人</td></tr></table> 2 創業支援補助金の交付 ・14件 5,535,406円（内訳：新規交付6件 2,519,445円 継続交付8件 3,015,961円） 3 創業者持続化事業費補助金の交付 ・3件 738,680円（うち国庫補助金：369,340円）					内容	参加者数	起業・経営相談会	28人	経営革新塾	14人	中小企業セミナー	22人	シニアアドバイザー等派遣	11人	創業開成塾	29人	創業フォローアップセミナー・相談会	28人	ワンストップ相談窓口、メール・電話相談	79人	A I で見つける私の働き方セミナー	6人	アントレプレナーセミナー	239人							
内容	参加者数																																
起業・経営相談会	28人																																
経営革新塾	14人																																
中小企業セミナー	22人																																
シニアアドバイザー等派遣	11人																																
創業開成塾	29人																																
創業フォローアップセミナー・相談会	28人																																
ワンストップ相談窓口、メール・電話相談	79人																																
A I で見つける私の働き方セミナー	6人																																
アントレプレナーセミナー	239人																																
成 果		K P I である「新規創業・第二創業件数（単年）」は、目標9件に対して実績8件であった。 また、直近5年間に創業支援補助金を活用した創業者のもとで働く従業員数は、令和8年3月末時点で117人となっており、新規創業の促進と併せて雇用創出が図られた。 <table><tr><td colspan="2">令和7年度創業件数の内訳</td><td colspan="2">令和3年度から令和7年度までに創業支援補助金を活用した者の令和7年度の状況</td></tr><tr><td>業種</td><td>件数</td><td>売上高 （決算額）</td><td>営業利益 （決算額）</td><td>雇用者数</td></tr><tr><td>製造業</td><td>1 件</td><td rowspan="5">554,591,861円</td><td rowspan="5">16,380,862円</td><td rowspan="5">117人</td></tr><tr><td>学術研究、専門・技術サービス業</td><td>3 件</td></tr><tr><td>卸売業、小売業</td><td>2 件</td></tr><tr><td>宿泊業、飲食サービス業</td><td>1 件</td></tr><tr><td>医療、福祉</td><td>1 件</td></tr><tr><td>合計</td><td>8 件</td><td colspan="3">※対象46者のうち、38者より回答（約82.6%）</td></tr></table>					令和7年度創業件数の内訳		令和3年度から令和7年度までに創業支援補助金を活用した者の令和7年度の状況		業種	件数	売上高 （決算額）	営業利益 （決算額）	雇用者数	製造業	1 件	554,591,861円	16,380,862円	117人	学術研究、専門・技術サービス業	3 件	卸売業、小売業	2 件	宿泊業、飲食サービス業	1 件	医療、福祉	1 件	合計	8 件	※対象46者のうち、38者より回答（約82.6%）		
令和7年度創業件数の内訳		令和3年度から令和7年度までに創業支援補助金を活用した者の令和7年度の状況																															
業種	件数	売上高 （決算額）	営業利益 （決算額）	雇用者数																													
製造業	1 件	554,591,861円	16,380,862円	117人																													
学術研究、専門・技術サービス業	3 件																																
卸売業、小売業	2 件																																
宿泊業、飲食サービス業	1 件																																
医療、福祉	1 件																																
合計	8 件	※対象46者のうち、38者より回答（約82.6%）																															
成果に係る評価		「創業開成塾」等による創業支援や「創業支援補助金」の活用により、創業に必要な知識の習得や事業立上げに向けた取組を支援し、新たな創業に繋げることができた。また、「創業者持続化事業費補助金」の創設により、創業後の経営課題への対応や事業の発展を支援し、継続的な支援体制の充実を図った。 また、K P I である「新規創業・第二創業件数（単年）」は、目標9件に対し実績8件となり、概ね目標に近い水準を確保することができた。 今後も各支援機関と連携し、創業希望者から創業後の事業者まで切れ目のない支援を行うことで、創業者の増加を図っていく。また、「創業者持続化事業費補助金」によるフォローアップを継続するとともに、効果検証を行いながら、より効果的な支援策を検討していく。																															
(単位：円)																																	
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																														
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																											
	19,649,120	15,984,886	369,340		15,615,546																												

予算科目	7 款	商工費	事業名		地域資源活用産業化促進事業																		
	1 項	商工費	総合計画	第 4 章	多彩な人材が活躍し誇りと活気にあふれるまち																		
	2 目	商工業振興費		第 5 節	企業誘致の推進と新たな産業の創出																		
	事業	産業振興事業費		(3)	地域資源を活かした産業を強化する																		
担当部課		産業部産業推進課		実施計画掲載ページ		P 80																	
目的及び事業内容		セルロースナノファイバーなど、今後事業展開が見込まれる地元産業の地域資源の利活用を促進するため、セミナーの開催や情報提供を行うほか、新技術の導入、新規事業への進出等、経営基盤の強化や新たな事業展開を行う事業者への支援を行い、雇用創出や産業の活性化に努める。 また、次世代放射光施設 Nano Terasu の利活用を通じて、地元企業の研究開発・製造活動を後押しし、地域産業の競争力強化と活性化の推進に努める。																					
取 組 実 績		石巻地域産学官グループ交流会において、地域産業の活性化を目的としたセミナーを計2回開催した。 また、セルロースナノファイバーの先進自治体である静岡県富士市主催のセミナーに参加し、市内産業への展開・応用に向けた情報収集を行ったほか、同市担当者との意見交換を実施した。さらに、東京都で開催された企業誘致関連セミナーにおいて、本市の設備投資環境をPRするブース内でセルロースナノファイバーのサンプル展示を行い、地域資源の紹介を行うとともに、関連企業の誘致活動を実施した。 次世代放射光施設 Nano Terasu の活用促進については、市内企業訪問による周知に努めるとともに、東北大学及び仙台市との意見交換を実施した。 【石巻地域産学官グループ交流会におけるセミナーの開催概要】 <table><tr><td>回数</td><td>日付</td><td>内容</td><td>参加者数</td></tr><tr><td>1</td><td>令和7年7月1日</td><td>講師：一般社団法人 全国錦鯉振興会 瀬沼氏、吉田氏 「世界の錦鯉事情と展望」 ※高付加価値ブランド・ビジネス</td><td>38人</td></tr><tr><td>2</td><td>令和8年2月6日</td><td>講師：石巻専修大学 大学開放センター長 菅原氏 「地球環境の現状と課題」 ※循環型地域資源関係</td><td>16人</td></tr><tr><td colspan="3">参加者合計</td><td>54人</td></tr></table>						回数	日付	内容	参加者数	1	令和7年7月1日	講師：一般社団法人 全国錦鯉振興会 瀬沼氏、吉田氏 「世界の錦鯉事情と展望」 ※高付加価値ブランド・ビジネス	38人	2	令和8年2月6日	講師：石巻専修大学 大学開放センター長 菅原氏 「地球環境の現状と課題」 ※循環型地域資源関係	16人	参加者合計			54人
回数	日付	内容	参加者数																				
1	令和7年7月1日	講師：一般社団法人 全国錦鯉振興会 瀬沼氏、吉田氏 「世界の錦鯉事情と展望」 ※高付加価値ブランド・ビジネス	38人																				
2	令和8年2月6日	講師：石巻専修大学 大学開放センター長 菅原氏 「地球環境の現状と課題」 ※循環型地域資源関係	16人																				
参加者合計			54人																				
成 果		地域産業に関するセミナーを開催したことで、本市における新たな産業分野や地域資源の活用可能性に対する理解促進及び意識醸成を図ることができた。 また、東京都で開催された「宮城県企業立地セミナー」においてセルロースナノファイバーの展示を実施したことで、その認知度向上を図るとともに、本市が有する地域資源の情報発信及び関連企業の誘致活動を推進した。さらに、セルロースナノファイバー先進自治体である富士市主催のセミナーへの参加や担当者との意見交換を通じて、普及啓発から実用化・事業化までの推進手法や産学官連携の進め方に関する知見を得ることができた。 次世代放射光施設 Nano Terasu の活用促進については、東北大学及び仙台市との意見交換を通じて関係機関との連携体制の構築を図ったほか、宮城県及び仙台市の支援制度に関する情報収集及び情報提供を行うことで、市内企業による施設活用や研究開発機能の強化に向けた環境整備を進めることができた。																					
成果に係る評価		地域産業に関するセミナーの開催やセルロースナノファイバーの展示等を通じて、新たな産業分野や地域資源の活用可能性に対する理解促進を図ることができたほか、Nano Terasu の活用促進に向けた関係機関との連携体制の構築を進めることができた。 一方で、地域資源利活用セミナーの参加者数は、K P I である70人に対して54人にとどまり、目標を達成することができなかったことから、市内事業者への更なる周知や、参加しやすいテーマ設定等が課題となっている。 今後は、市内事業者のニーズや社会情勢を踏まえたテーマ設定によるセミナーの充実を図るとともに、セルロースナノファイバーや Nano Terasu の認知度向上、利活用促進及び事業者とのマッチングに取り組み、地域資源を活かした産業振興・産業創出につなげていく必要がある。																					
予算の執行状況		(単位：円)																					
		予算額	決算額	決算額の財源内訳																			
				国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																
		103,880	103,880				103,880																

予算科目	7 款	商工費	事業名		企業立地等支援事業																
	1 項	商工費	総合計画	第 4 章	多彩な人材が活躍し誇りと活気にあふれるまち																
	2 目	商工業振興費		第 5 節	企業誘致の推進と新たな産業の創出																
	事業	企業立地等促進事業費		(1)	新規及び既存企業への立地などに伴う支援を推進する																
担当部課		産業部産業推進課		実施計画掲載ページ		P 79															
目的及び事業内容			石巻市企業立地等促進条例に基づく各種助成金の交付により、市内外企業者の立地を促進し、立地後における企業者のランニングコスト軽減を図る。 また、宮城県企業立地セミナーへの参加を通じて業界情報を収集するとともに、本市への企業立地意向を確認するためのアンケート調査において、本市に興味を示した企業に対する積極的な訪問を実施し、本市独自のインセンティブである各種助成金交付制度等をアピールする。																		
取組実績			1 企業訪問件数 90件 市独自のインセンティブである助成制度の案内や立地提案のため、県内及び県外の企業訪問を実施した。市の主要産業である水産加工業を中心に訪問を実施し、各企業の抱える課題や具体的な設備投資ニーズ、市場動向を深く掘り下げるなど、今後の誘致・支援に繋がる充実した情報収集および関係構築を図ることができた。 2 宮城県企業立地セミナーへの参加 (1) 令和7年8月5日 東京会場 参加企業等 149社 254名 (2) 令和8年2月4日 名古屋会場 参加企業等 121社 226名 企業とのコミュニケーションにより業界情報を収集するとともに、本市企業立地ガイドや観光パンフレットにより、本市独自のインセンティブや立地環境のPRを行った。 3 企業立地意向調査 東北、関東、東海エリアを中心に全国の製造業や倉庫業、卸売業等の企業2,500社に対してアンケート調査を実施し、本市の立地環境、産業用地情報及び各種優遇制度の情報を発信するとともに、設備投資検討状況について情報収集を行った。 4 石巻市企業立地等促進条例助成金交付実績 <table><tr><td>項目</td><td>交付件数</td><td>交付額</td></tr><tr><td>・企業立地助成金</td><td>21 件</td><td>512,427,300 円</td></tr><tr><td>・上水道料金助成金</td><td>9 件</td><td>24,610,210 円</td></tr><tr><td>・雇用奨励助成金</td><td>3 件</td><td>12,400,000 円</td></tr><tr><td>合計</td><td>33 件</td><td>549,437,510 円</td></tr></table>				項目	交付件数	交付額	・企業立地助成金	21 件	512,427,300 円	・上水道料金助成金	9 件	24,610,210 円	・雇用奨励助成金	3 件	12,400,000 円	合計	33 件	549,437,510 円
項目	交付件数	交付額																			
・企業立地助成金	21 件	512,427,300 円																			
・上水道料金助成金	9 件	24,610,210 円																			
・雇用奨励助成金	3 件	12,400,000 円																			
合計	33 件	549,437,510 円																			
成果			企業立地意向調査におけるアンケート分析や、水産加工業を中心とした積極的な個別企業訪問、さらに宮城県企業立地セミナーへの参加等を通じて、企業の立地ニーズや設備投資動向を把握することができた。また、こうした取組を通じて、誘致活動において重要となる新たな企業との繋がりがりや、既存企業との信頼関係を強固にする成果も得られた。 加えて、本市独自のインセンティブである石巻市企業立地等促進条例助成金については、22社に対し合計33件の交付を実施し、市内における新たな設備投資や雇用の促進に寄与した。 なお、総合計画に掲げる年間の新規立地目標件数10件に対し、新規立地件数は4件であった。																		
成果に係る評価			水産加工業を中心に90件の企業訪問を実施し、既存企業の課題解決や新規企業との関係構築を図った。目標の100件には届かなかったが、個々の企業とのコミュニケーションを図り、具体的な設備投資動向を把握できた点は次年度に繋がる成果である。 新規立地が4件に留まった要因は、原材料や建設コストの高騰による企業の慎重姿勢や、過去の社会情勢に伴う計画見直しの影響が今なお残るためと推察される。 こうした課題や多様な企業ニーズに対応するため、令和8年4月に「石巻市企業立地等促進条例」を改正し、対象業種の拡大や助成内容を強化した。今後はこの改正条例を武器に、ターゲットを明確にした戦略的な誘致活動を推進していく。																		
(単位：円)																					
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																		
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源															
	563,930,719	561,381,141			21,553,826	539,827,315															

予算科目	7 款	商工費	事業名		中心市街地賑わい創出事業													
	1 項	商工費	総合計画	第 4 章	多彩な人材が活躍し誇りと活気にあふれるまち													
	2 目	商工業振興費		第 1 節	賑わいと活気にあふれる商工業の振興													
	事業	中心市街地活性化事業費		(4)	中心市街地活性化を推進する													
担当部課		産業部商工課	実施計画掲載ページ		P 65													
目的及び事業内容			中心市街地において、イベント開催への支援や空き地・空き店舗を活用した新規出店を促すことで賑わいを創出するとともに、交流人口の拡大と来訪者の回遊性向上を図る。															
取 組 実 績			中心市街地賑わい創出事業の実績 1 街なかイベント開催助成金：助成件数 12件、助成額 2,332,000円 2 街なか出店サポートセンター：新規出店をサポートする拠点のプレオープンを実施 委託料 4,675,000円 3 空き地・空き店舗活用助成金：助成件数 5件、助成額 6,436,000円															
成 果			事業の実施により、中心市街地の賑わい創出が図られた。 1 街なかイベント開催助成金 助成金を活用したイベントが行われたことで、多くの市民や観光客が中心市街地を訪れるきっかけとなり、交流人口の拡大が図られた。															
			<table><tr><td></td><td>R5</td><td>R6</td><td>R7</td></tr><tr><td>助成件数</td><td>10件</td><td>9件</td><td>12件</td></tr><tr><td>助成額</td><td>1,709,600円</td><td>1,448,000円</td><td>2,332,000円</td></tr></table>					R5	R6	R7	助成件数	10件	9件	12件	助成額	1,709,600円	1,448,000円	2,332,000円
				R5	R6	R7												
			助成件数	10件	9件	12件												
助成額	1,709,600円	1,448,000円	2,332,000円															
2 街なか出店サポートセンター 中心市街地への新規出店を総合的に支援する「石巻市街なか出店サポートセンター」を設置し、街なかに魅力ある店舗を増やすことで中心市街地全体の賑わい創出を図る。令和7年度に新規事業としてプレオープンを実施したほか、中心市街地の空き地・空き店舗調査を実施し、新規出店の可能性がある物件の掘り起こしを行った。																		
<table><tr><td></td><td>R5</td><td>R6</td><td>R7 (※)</td></tr><tr><td>利用者数</td><td>—</td><td>—</td><td>21人</td></tr></table> ※令和8年1月13日から約3か月間の利用実績					R5	R6	R7 (※)	利用者数	—	—	21人							
	R5	R6	R7 (※)															
利用者数	—	—	21人															
成果に係る評価			3 空き地・空き店舗活用助成金 空き店舗を活用した飲食店や大学の交流拠点などが誕生し、中心市街地の賑わい創出に寄与したほか、空き店舗の増加による中心市街地の空洞化を阻止することに繋がった。															
			<table><tr><td></td><td>R5</td><td>R6</td><td>R7</td></tr><tr><td>助成件数</td><td>3件</td><td>3件</td><td>5件</td></tr><tr><td>助成額</td><td>2,603,000円</td><td>2,776,000円</td><td>6,436,000円</td></tr></table>					R5	R6	R7	助成件数	3件	3件	5件	助成額	2,603,000円	2,776,000円	6,436,000円
				R5	R6	R7												
			助成件数	3件	3件	5件												
助成額	2,603,000円	2,776,000円	6,436,000円															
街なかイベント開催助成金の認知度が向上したことで、助成件数が増加したほか、空き地・空き店舗活用助成金を活用した新規出店件数も増加となったことで、街なかの賑わい創出につながった。また、プレオープンを実施した「石巻市街なか出店サポートセンター」については、多くの利用があったことから、令和8年度は本設を行うこととしており、今後も中心市街地の交流人口の拡大と回遊性の向上のため、事業を継続していく。																		
(単位：円)																		
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳															
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源												
	15,400,000	13,443,000				13,443,000												

予算科目	7 款	商工費	事業名		地方創生ＲＰＧアプリにおける地域賑わい創出事業	
	1 項	商工費	総合計画	第 4 章	多彩な人材が活躍し誇りと活気にあふれるまち	
	2 目	商工業振興費		第 4 節	地域資源を活かした観光事業の振興	
	事業	中心市街地活性化事業		(1)	地域資源を活用した観光誘客を推進する	
担当部課		産業部商工課	実施計画掲載ページ		P 75	
目的及び事業内容		本市を舞台にした、スマートフォン向けのＲＰＧ（ロールプレイングゲーム）アプリを活用し、観光施設や地場産品、史跡や歴史などの地域資源とともに、震災から復興を遂げた本市の姿を国内外へと広く発信する。 アプリの内容は、ユーザーがゲームの世界の石巻を旅しながら、本市の民話・産業・史跡・施設・食文化などに触れられる内容とし、また、本市への来訪を誘引するため、市内観光施設等で使用できるクーポンの搭載やＧＰＳ通信スポットを設定し、地域経済の活性化を図っていく。				
取 組 実 績		アプリの認知度向上や人気獲得に向けて、各種プロモーションを行った。 また、観光客や交流人口の増加に向けて、クーポン協力店舗と連携し、ノベルティグッズの配布を行った。 1 プロモーション 本市の観光プロモーションと併せて各イベントにおいて、キズナファンタジアブースを設けアプリのプロモーションを行った。 ・5月16日～17日 姫路お城まつりにてチラシ配布 ・8月31日 「松島基地航空祭2025」にてチラシ配布・体験ブース設置 ・11月1日～2日 ひたちなか産業交流フェアにてチラシ配布 ・11月8日～9日 アニメ＆まんが聖地ＥＸＰＯ2025にてチラシ配布 ・11月26日 ＴＯＨＯＫＵ ＤＸ ＧＡＴＥＷＡＹ2025 チラシ配布 2 クーポン協力店舗数 20店舗 3 石巻専修大学との地域連携事業 石巻専修大学と「ＲＰＧキズナファンタジアを活用した若者の郷土理解の促進と地域の賑わい創出」と題した共同研究を行い、アプリに登場する観光施設等の動画作成に加え、ゼミオリジナルのアバターによる動画配信を行うなど、ゲームに触れてもらう機会を創出し、プロモーションにつなげることができた。また、それらの取組をイベント出展を通じて発信し、来場者の興味関心を得ることができた。				
成 果		令和8年3月末時点での各種数値は以下のとおりであり、ＧＰＳスポットへの訪問やクーポン利用を通じて、本市への来訪や地元の消費を喚起する機会の創出につながった。 (1) ダウンロード数 29,725件 (2) ＧＰＳスポット別押下数（全20か所） 5,113回 (3) クーポン利用（グッズ提供）数 549回（個）				
成果に係る評価		令和3年3月に配信を開始してから現在も一定のダウンロードやＧＰＳ利用があり、イベント出展や石巻専修大学との連携事業を通じた市内外への発信による効果はあるものと思われるが、ゲーム内容の増補が見込めず、年数経過とともにダウンロード数が減少していることから、今後はアプリの配信終了時期も検討していく必要がある。				
(単位：円)						
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳			
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源
	990,000	990,000				990,000

予算科目	7 款	商工費	事業名		地域の宝研究開発事業																																					
	1 項	商工費	総合計画	第 4 章	多彩な人材が活躍し誇りと活気にあふれるまち																																					
	2 目	商工業振興費		第 3 節	魅力的な農林畜産業の振興																																					
	事業	地域の宝研究開発事業費		(4)	石巻産農畜産物のブランド化を推進する																																					
担当部課		産業部農林課	実施計画掲載ページ		P 73																																					
目的及び事業内容		本市の地域の宝となる新たな特産品の研究・開発を行い、基幹産業である農林水産業の振興を図るため、栽培技術の習得と生産体制の確立を目指していく。市のオリーブ加工施設を市内の農業法人等が活用し、高品質且つ国産オリーブ北限の地としての付加価値をプラスした特産品の創出をする。																																								
取 組 実 績		1 新たな果樹「オリーブ」栽培 (1) 北上・河北地区において密植解消の改植が行われ栽培面積が7.0h aから8.8h aへ拡大した。 (2) 先進地より指導者に来ていただき、管理並びに搾油技術の指導を受けた。 (3) 宮城県石巻農業改良普及センターと協力して、栽培暦の作成や土壌調査、現地での病害虫の予防・駆除方法について定期的な巡回指導に取り組んだ。 (4) オイルを品質ごとに3段階のグレードに分類し、それぞれ製品化して販売を行った。 2 オリーブ加工施設の活用 搾油機械等を活用しオリーブオイルの搾油を実施した。 3 事業者向け補助金・助成金交付実績 <table><tr><th>補助金等名</th><th>交付件数</th><th>交付金額</th><th>内容</th></tr><tr><td>農畜産物販路開拓支援事業助成金</td><td>1件</td><td>85,000円</td><td>展示・試食会用旅費</td></tr><tr><td>新規果樹等栽培事業経営安定化補助金</td><td>1件</td><td>3,933,000円</td><td>肥培管理費</td></tr><tr><td>石巻市新規果樹等作物育成事業</td><td>3件</td><td>1,514,000円</td><td>苗木購入等費用</td></tr><tr><td>計</td><td>－</td><td>5,532,000円</td><td>－</td></tr></table>					補助金等名	交付件数	交付金額	内容	農畜産物販路開拓支援事業助成金	1件	85,000円	展示・試食会用旅費	新規果樹等栽培事業経営安定化補助金	1件	3,933,000円	肥培管理費	石巻市新規果樹等作物育成事業	3件	1,514,000円	苗木購入等費用	計	－	5,532,000円	－																
補助金等名	交付件数	交付金額	内容																																							
農畜産物販路開拓支援事業助成金	1件	85,000円	展示・試食会用旅費																																							
新規果樹等栽培事業経営安定化補助金	1件	3,933,000円	肥培管理費																																							
石巻市新規果樹等作物育成事業	3件	1,514,000円	苗木購入等費用																																							
計	－	5,532,000円	－																																							
成 果		1 新たな果樹「オリーブ」栽培実績 (1) 栽培技術と管理作業の指導により栽培技術の向上や季節ごとの病害虫防除作業の習得ができた。 (2) 県農業改良普及センターと協力して、ほ場の土壌の状況や生息する害虫や病気を確認し、早期に対応し、被害拡大防止が図られた。 (3) 密植解消を図るため、改植を行い、樹木の適正間隔による栽培に取り組んだことで、徒長解消根茎の強靱化が図られ、悪天候下であっても個体の質向上を維持する効果が得られた。 地区別収穫量 (単位 k g) <table><tr><th>年度</th><th>北上</th><th>河北</th><th>雄勝</th><th>牡鹿</th><th>合計</th></tr><tr><td>R3</td><td>529.05</td><td>137.05</td><td>46.50</td><td>12.50</td><td>725.10</td></tr><tr><td>R4</td><td>319.60</td><td>91.25</td><td>282.20</td><td>21.70</td><td>714.75</td></tr><tr><td>R5</td><td>1,094.95</td><td>547.50</td><td>482.85</td><td>94.90</td><td>2,220.20</td></tr><tr><td>R6</td><td>329.95</td><td>1,599.25</td><td>356.80</td><td>49.85</td><td>2,335.85</td></tr><tr><td>R7</td><td>205.30</td><td>1,830.10</td><td>51.85</td><td>119.50</td><td>2,206.75</td></tr></table> 2 オリーブ加工施設の活用 (1) オリーブ果実は2,206.75 k g (前年比▲5.53%)と減収したものの、上記取り組みにより「石巻産オリーブオイル」は約119.13 L (前年比13.7%)と、前年を上回る搾油量を確保できた。 (2) オリーブ加工施設で生産したオリーブオイルを地域のイベント等に出品し、石巻産オリーブとして販売した。 3 石巻市新規果樹等作物育成事業費 (苗木助成) (1) 栽培本数及び栽培面積の拡大が図られた。					年度	北上	河北	雄勝	牡鹿	合計	R3	529.05	137.05	46.50	12.50	725.10	R4	319.60	91.25	282.20	21.70	714.75	R5	1,094.95	547.50	482.85	94.90	2,220.20	R6	329.95	1,599.25	356.80	49.85	2,335.85	R7	205.30	1,830.10	51.85	119.50	2,206.75
年度	北上	河北	雄勝	牡鹿	合計																																					
R3	529.05	137.05	46.50	12.50	725.10																																					
R4	319.60	91.25	282.20	21.70	714.75																																					
R5	1,094.95	547.50	482.85	94.90	2,220.20																																					
R6	329.95	1,599.25	356.80	49.85	2,335.85																																					
R7	205.30	1,830.10	51.85	119.50	2,206.75																																					
成果に係る評価		高品質オリーブオイルの製造には収穫後短時間で加工 (搾油) する必要があり、オリーブ加工施設は、高品質なオリーブオイル製造に欠かせない施設となっている。 今後は苗木助成の活用による栽培面積の更なる拡大を図るなど、引き続き産地化に向けた支援が不可欠であるため、本事業を継続する必要がある。																																								
(単位：円)																																										
予算の執行状況	予算額		決算額		決算額の財源内訳																																					
					国 (県) 支出金	一般財源																																				
	7,566,281		6,584,664			2,136,991																																				
					地方債	4,447,673																																				
					その他																																					

予算科目	7 款	商工費	事業名		企業育成支援事業																											
	1 項	商工費	総合計画	第 4 章	多彩な人材が活躍し誇りと活気にあふれるまち																											
	2 目	商工業振興費		第 1 節	賑わいと活気にあふれる商工業の振興																											
	事業	企業育成支援事業費		(1)	事業者への経営支援を行う																											
担当部課		産業部商工課	実施計画掲載ページ		P 63																											
目的及び事業内容			地域資源を活かした産業の創出、石巻市独自の技術開発、販路拡大及び技能継承等本市の産業をけん引する事業者が行う創造的事業を支援し、本市の地域間競争力を高めていく。																													
取 組 実 績			石巻市産業創造助成金事業を実施し、実績は以下のとおりであった。 1 人材育成事業（上限 500,000円） 市内企業の新分野進出等を図るため、従業員の資質・技術力向上のための研修等の費用を助成 実績：2件 423,700円 2 研究開発事業（上限 2,500,000円） 市内事業者の地域資源の活用、産学連携を図るため、研究開発（共同研究）の費用を助成 実績：3件 4,621,779円 3 情報提供事業（上限 500,000円） 市内事業者の販路拡大等を図るため、商品見本市、展示商談会等の出店等の費用を助成 実績：5件 1,021,096円 4 知的財産等取得事業（上限 500,000円） 市内事業者の高度化等を図るため、商品に係る意匠権や商標権、特許取得等の費用を助成 実績：1件 79,950円 合計：11件 6,146,525円																													
成 果			<table><tr><th rowspan="2">区分</th><th colspan="2">成果指標</th><th rowspan="2">達成率等</th></tr><tr><th>目標値（件数）</th><th>実績等（件数）</th></tr><tr><td>R3</td><td>8 件</td><td>7 件</td><td>88 %</td></tr><tr><td>R4</td><td>8 件</td><td>5 件</td><td>63 %</td></tr><tr><td>R5</td><td>8 件</td><td>13 件</td><td>163 %</td></tr><tr><td>R6</td><td>13 件</td><td>13 件</td><td>100 %</td></tr><tr><td>R7</td><td>15 件</td><td>11 件</td><td>73 %</td></tr></table>				区分	成果指標		達成率等	目標値（件数）	実績等（件数）	R3	8 件	7 件	88 %	R4	8 件	5 件	63 %	R5	8 件	13 件	163 %	R6	13 件	13 件	100 %	R7	15 件	11 件	73 %
区分	成果指標		達成率等																													
	目標値（件数）	実績等（件数）																														
R3	8 件	7 件	88 %																													
R4	8 件	5 件	63 %																													
R5	8 件	13 件	163 %																													
R6	13 件	13 件	100 %																													
R7	15 件	11 件	73 %																													
成果に係る評価			本市の地域間競争力の強化を図るため、新たな事業展開に取り組む事業者に対して補助金を交付した。令和6年度と比較して実績が減少した要因として、申請に関する相談があったものの要件に適合しない案件が複数あったことが考えられる。一方で、申請相談自体は継続的に寄せられていることから、一定の需要はあると認められることから、事業を継続する必要がある。																													
(単位：円)																																
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																													
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																										
	9,500,000	6,146,525			6,146,525																											

予算科目	7 款	商工費	事業名		6次産業化推進事業																																																																	
	1 項	商工費	総合計画	第 4 章	多彩な人材が活躍し誇りと活気にあふれるまち																																																																	
	2 目	商工業振興費		第 1 節	賑わいと活気にあふれる商工業の振興																																																																	
	事業	企業育成支援事業費		(3)	地域ブランドを育成する																																																																	
担当部課		産業部商工課		実施計画掲載ページ		P 64																																																																
目的及び事業内容		6次産業化の担い手となる人材の育成と事業化支援を行うことにより、地域資源を活用した商品開発、ブランド力向上及び販路拡大を推進し、1次産業事業者の経営多角化、所得向上及び地場産業の振興を図るため、「石巻市6次産業化・地産地消推進センター」を設置し運営を委託する。 当該センターにおいては6次産業化に取り組む人材育成のため、セミナー等を実施するとともに、6次産業化に取り組む事業者に対して、個別相談や相談の内容に応じた専門家の派遣等、必要な支援を実施する。																																																																				
取 組 実 績		1 石巻市6次産業化・地産地消推進センター業務実績 (1) 人材育成 自社の販路拡大を目的とした食品表示基礎セミナーを対面で開催するとともに、対面及びWEBでも参加できるEC販売強化セミナーを1回開催し、計35名の参加があった。 (2) 事業化支援 ア 総合支援 6次産業化に関して、95事業者から797件の相談受付を行った。 イ 商品開発支援 支援員派遣等によりマーケティング調査やアドバイスを実施し、12件の商品開発を支援した。 ウ 販路開拓支援 事業者に小売店を紹介するなどして、41件の販路開拓を支援した。また、農林漁業者・食品製造事業者を対象に仙台駅での販売会に参加し、地域商品のPRを支援した。																																																																				
成 果		センター事業の実施により、市内事業者の6次産業化の推進が図られた。 【センター事業の成果】 <table><tr><th rowspan="2">区分</th><th>相談受付件数</th><th>支援事業者数</th><th colspan="2">総合化、6次産業化事業計画認定件数</th><th colspan="2">商品開発件数※</th><th colspan="2">販路開拓開発</th></tr><tr><th>実績</th><th>実績</th><th>目標</th><th>実績</th><th>目標</th><th>実績</th><th>目標</th><th>実績</th></tr><tr><td>R3</td><td>657件</td><td>60者</td><td>2件</td><td>0件</td><td>5件</td><td>11件</td><td>10件</td><td>15件</td></tr><tr><td>R4</td><td>1,100件</td><td>75者</td><td>2件</td><td>0件</td><td>10件</td><td>14件</td><td>10件</td><td>26件</td></tr><tr><td>R5</td><td>929件</td><td>92者</td><td>2件</td><td>1件</td><td>12件</td><td>13件</td><td>16件</td><td>38件</td></tr><tr><td>R6</td><td>953件</td><td>106者</td><td>2件</td><td>2件</td><td>12件</td><td>12件</td><td>17件</td><td>37件</td></tr><tr><td>R7</td><td>797件</td><td>95者</td><td>2件</td><td>2件</td><td>12件</td><td>12件</td><td>18件</td><td>41件</td></tr></table> ※令和7年度の商品開発件数12件の内訳は農産物加工商品11件、水産物加工商品1件							区分	相談受付件数	支援事業者数	総合化、6次産業化事業計画認定件数		商品開発件数※		販路開拓開発		実績	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績	R3	657件	60者	2件	0件	5件	11件	10件	15件	R4	1,100件	75者	2件	0件	10件	14件	10件	26件	R5	929件	92者	2件	1件	12件	13件	16件	38件	R6	953件	106者	2件	2件	12件	12件	17件	37件	R7	797件	95者	2件	2件	12件	12件	18件	41件
区分	相談受付件数	支援事業者数	総合化、6次産業化事業計画認定件数		商品開発件数※		販路開拓開発																																																															
	実績	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績																																																														
R3	657件	60者	2件	0件	5件	11件	10件	15件																																																														
R4	1,100件	75者	2件	0件	10件	14件	10件	26件																																																														
R5	929件	92者	2件	1件	12件	13件	16件	38件																																																														
R6	953件	106者	2件	2件	12件	12件	17件	37件																																																														
R7	797件	95者	2件	2件	12件	12件	18件	41件																																																														
成果に係る評価		石巻市6次産業化・地産地消推進センターにおいて、事業者への支援を実施した結果、販路開拓開発の実績が令和6年度を上回る結果となっている。これは、センターにおいて相談受付事業者への支援体制を強化し、きめ細かな支援活動を実施したことが大きな要因であると考えられる。ただし、相談受付件数が令和6年度に比べ、大きく落ち込んでいるため、更なる新規事業者の開拓等、事業者の掘り起こしを進める必要がある。なお、昨年に引き続き対面販売会や商談会などを実施したことで、販路拡大や販売力強化が図られており、今後も事業者ニーズに応じた支援を継続していく必要がある。																																																																				
(単位：円)																																																																						
予算の執行状況	予算額		決算額		決算額の財源内訳																																																																	
					国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																																														
	27,690,000		27,074,300				23,000,000	4,074,300																																																														

予算科目	7 款	商工費	事業名		6次産業化・地産地消推進事業																																																																	
	1 項	商工費	総合計画	第 4 章	多彩な人材が活躍し誇りと活気にあふれるまち																																																																	
	2 目	商工業振興費		第 1 節	賑わいと活気にあふれる商工業の振興																																																																	
	事業	企業育成支援事業費		(3)	地域ブランドを育成する																																																																	
担当部課		産業部商工課	実施計画掲載ページ		P 64																																																																	
目的及び事業内容		農林漁業者と地域の様々な事業者との連携を強化し、創意工夫による地域資源の高付加価値化を図るため、1次産業、2次産業及び3次産業を営む事業者がネットワークを形成して取り組む新商品開発や新ブランドの確立等の事業に対して、石巻市6次産業化・地産地消推進助成金を交付する。																																																																				
取 組 実 績		1 新商品開発事業 1次産業、2次産業及び3次産業を営む事業者がネットワークを形成して、新商品の開発やブランドの確立を行う事業に対して助成を行い、6次産業化及び地産地消の推進を図る。 令和7年度交付件数 2件 交付金額 311,604円 2 販路開拓事業 1次産業、2次産業及び3次産業を営む事業者がネットワークを形成して、新たなマーケティング手法を用いた販路開拓、地産地消の推進を行う事業に対して助成を行い、6次産業化及び地産地消の推進を図る。 令和7年度交付件数 1件 交付金額 161,825円 3 施設整備事業 国から「総合化事業計画」又は「農商工等連携事業計画」の認定を受けた事業者が、加工・販売施設等の整備を行う事業に対して助成を行い、6次産業化及び地産地消の推進を図る。 令和7年度交付件数 0件																																																																				
成 果		石巻市6次産業化・地産地消推進助成金事業の実施により、市内事業者の6次産業化や地産地消の推進が図られた。 【石巻市6次産業化・地産地消推進助成金 交付実績】 <table><tr><th rowspan="2">区分</th><th colspan="2">新商品開発</th><th colspan="2">販路開拓</th><th colspan="2">施設整備</th><th colspan="2">合計</th></tr><tr><th>件数</th><th>交付金額</th><th>件数</th><th>交付金額</th><th>件数</th><th>交付金額</th><th>件数</th><th>交付金額</th></tr><tr><td>R3</td><td>3件</td><td>619,195円</td><td>0件</td><td>0円</td><td>0件</td><td>0円</td><td>3件</td><td>619,195円</td></tr><tr><td>R4</td><td>4件</td><td>1,642,460円</td><td>4件</td><td>1,766,843円</td><td>0件</td><td>0円</td><td>8件</td><td>3,409,303円</td></tr><tr><td>R5</td><td>1件</td><td>245,000円</td><td>0件</td><td>0円</td><td>0件</td><td>0円</td><td>1件</td><td>245,000円</td></tr><tr><td>R6</td><td>3件</td><td>614,924円</td><td>0件</td><td>0円</td><td>0件</td><td>0円</td><td>3件</td><td>614,924円</td></tr><tr><td>R7</td><td>2件</td><td>311,604円</td><td>1件</td><td>161,825円</td><td>0件</td><td>0円</td><td>3件</td><td>473,429円</td></tr></table>							区分	新商品開発		販路開拓		施設整備		合計		件数	交付金額	件数	交付金額	件数	交付金額	件数	交付金額	R3	3件	619,195円	0件	0円	0件	0円	3件	619,195円	R4	4件	1,642,460円	4件	1,766,843円	0件	0円	8件	3,409,303円	R5	1件	245,000円	0件	0円	0件	0円	1件	245,000円	R6	3件	614,924円	0件	0円	0件	0円	3件	614,924円	R7	2件	311,604円	1件	161,825円	0件	0円	3件	473,429円
区分	新商品開発		販路開拓		施設整備		合計																																																															
	件数	交付金額	件数	交付金額	件数	交付金額	件数	交付金額																																																														
R3	3件	619,195円	0件	0円	0件	0円	3件	619,195円																																																														
R4	4件	1,642,460円	4件	1,766,843円	0件	0円	8件	3,409,303円																																																														
R5	1件	245,000円	0件	0円	0件	0円	1件	245,000円																																																														
R6	3件	614,924円	0件	0円	0件	0円	3件	614,924円																																																														
R7	2件	311,604円	1件	161,825円	0件	0円	3件	473,429円																																																														
成果に係る評価		市内事業者の6次産業化及び地産地消の推進を図るため、6次産業化に取り組み商品開発及び販路開拓を行った3件に対して、473,429円の助成金を交付した。 6次化センターを活用した6次産業化支援は着実に実行されているが、近年、ネットワーク形成の困難さ等により助成件数が伸び悩んでおり、利用率向上に向けて、石巻市6次産業化・地産地消推進センターと連携を取りながら、事業者に対する補助内容の説明や助成金申請の支援を行ってきたが、一向に改善されない現状にあり、今後の事業のあり方について検討し、産業創造助成金の要件を満たすものについては同助成金への申請ができることから、本助成金は令和7年度末をもって廃止した。																																																																				
(単位：円)																																																																						
予算の執行状況	予算額		決算額		決算額の財源内訳																																																																	
					国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																																														
	3,000,000		473,429				473,429																																																															

予算科目	7 款	商工費	事業名		プロフェッショナル人材雇用助成事業																																			
	1 項	商工費	総合計画	第 4 章	多彩な人材が活躍し誇りと活気にあふれるまち																																			
	2 目	商工業振興費		第 6 節	未来の産業を担う人材の確保と育成																																			
	事業	企業育成支援事業費		(1)	関係機関との連携により人材を確保する																																			
担当部課		産業部商工課		実施計画掲載ページ		P 81																																		
目的及び事業内容		市内事業者が、宮城県プロフェッショナル人材戦略拠点を活用し、民間人材ビジネス事業者を通じて、プロフェッショナル人材を雇用した場合の給与（基本給に限る）の一部を助成することで、経営体質の強化及び新たな事業展開等の促進を図る。																																						
取 組 実 績		石巻市プロフェッショナル人材雇用助成金事業を実施し、実績は以下のとおりであった。 1 プロフェッショナル人材を雇用する場合 <table><tr><td>区分</td><td>申請事業者数</td><td>雇用者数</td><td>交付金額</td></tr><tr><td>R 6</td><td>3社</td><td>4人</td><td>926,000円</td></tr><tr><td>R 7</td><td>1社</td><td>1人</td><td>175,000円</td></tr></table> <table><tr><td>助成率</td><td>上限</td></tr><tr><td>対象経費の1/3</td><td>75万円</td></tr></table> ※助成対象経費は、雇用した人材に対して年度末までに支払った給与のうち、基本給にあたる金額（最大3か月分） 2 1に加え、市外から市内への移住を伴う雇用である場合 <table><tr><td>区分</td><td>申請事業者数</td><td>雇用者数</td><td>交付金額</td></tr><tr><td>R 6</td><td>0社</td><td>0人</td><td>0円</td></tr><tr><td>R 7</td><td>1社</td><td>1人</td><td>452,000円</td></tr></table> <table><tr><td>助成率</td><td>上限</td></tr><tr><td>対象経費の1/2</td><td>100万円</td></tr></table>							区分	申請事業者数	雇用者数	交付金額	R 6	3社	4人	926,000円	R 7	1社	1人	175,000円	助成率	上限	対象経費の1/3	75万円	区分	申請事業者数	雇用者数	交付金額	R 6	0社	0人	0円	R 7	1社	1人	452,000円	助成率	上限	対象経費の1/2	100万円
区分	申請事業者数	雇用者数	交付金額																																					
R 6	3社	4人	926,000円																																					
R 7	1社	1人	175,000円																																					
助成率	上限																																							
対象経費の1/3	75万円																																							
区分	申請事業者数	雇用者数	交付金額																																					
R 6	0社	0人	0円																																					
R 7	1社	1人	452,000円																																					
助成率	上限																																							
対象経費の1/2	100万円																																							
成 果		市内事業者の経営体質の強化や新たな事業展開等の促進が図られた。 <table><tr><th rowspan="2">区分</th><th colspan="2">成果指標（雇用者数）</th><th colspan="2">合計</th><th rowspan="2">達成率</th></tr><tr><th>目標値（人数）</th><th>実績等（人数）</th><th>申請事業者数</th><th>交付金額</th></tr><tr><td>R 6</td><td>6 人</td><td>4 人</td><td>3社</td><td>926,000円</td><td>67 %</td></tr><tr><td>R 7</td><td>6 人</td><td>2 人</td><td>2社</td><td>627,000円</td><td>33 %</td></tr></table>							区分	成果指標（雇用者数）		合計		達成率	目標値（人数）	実績等（人数）	申請事業者数	交付金額	R 6	6 人	4 人	3社	926,000円	67 %	R 7	6 人	2 人	2社	627,000円	33 %										
区分	成果指標（雇用者数）		合計		達成率																																			
	目標値（人数）	実績等（人数）	申請事業者数	交付金額																																				
R 6	6 人	4 人	3社	926,000円	67 %																																			
R 7	6 人	2 人	2社	627,000円	33 %																																			
成果に係る評価		市内事業者の経営体質の強化や新たな事業展開の促進を図るため、プロフェッショナル人材の雇用に関する経費に対して補助金を交付した。成果目標に達しなかった要因として、本助成金制度の認知度が十分でなかったことが挙げられる。今後は、企業訪問や窓口相談の機会を活用し、事業者への周知を一層強化していく必要がある。また、宮城県プロフェッショナル人材戦略拠点における採用実績が正規・副業ともに増加傾向にあり、副業人材の活用も社会的に広がっていることから、対象要件の緩和についても検討していきたい。このような状況を踏まえ、市内事業者の人材確保及び経営力強化に向けて、引き続き事業を継続する必要がある。																																						
(単位：円)																																								
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																					
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																		
	3,600,000	627,000			627,000																																			

予算科目	7 款	商工費	事業名		融資あっせん制度事業																																						
	1 項	商工費	総合計画	第 4 章	多彩な人材が活躍し誇りと活気にあふれるまち																																						
	2 目	商工業振興費		第 1 節	賑わいと活気にあふれる商工業の振興																																						
	事業	中小企業等融資関係費		(1)	事業者への経営支援を行う																																						
担当部課		産業部商工課	実施計画掲載ページ		P 63																																						
目的及び事業内容		事業資金を必要とする市内の中小企業者に対して、金融機関への預託により融資あっせんを行うとともに、制度利用者への信用保証料補給及び災害等の影響を受けた事業者への利子補給の実施により、事業者の安定及び振興発展を図る。																																									
取 組 実 績		融資あっせん制度事業及びそれに伴う信用保証料補給事業、利子補給事業を行った。 1 融資あっせん制度事業、信用保証料補給事業 金融機関に対して預託を行い融資あっせん制度を実施するとともに、制度を利用した事業者に対して信用保証料の補給を行った。 また、融資あっせん制度による融資が返済不能となった際には、信用保証協会への損失補償を行っている。 <table><tr><td>区分</td><td>預託額</td><td>協調倍率</td></tr><tr><td>中小企業融資（一般資金）</td><td>415,000千円</td><td>10倍</td></tr><tr><td>小企業小口融資</td><td>10,000千円</td><td>5倍</td></tr><tr><td>中小企業融資（災害関連枠）</td><td>82,000千円</td><td>10倍</td></tr></table> ※災害関連枠については令和2年度末で受付を終了しているが債務残高に応じた預託を行っている。 2 利子補給事業 (1) 石巻市中小企業融資災害関連利子補給金制度 石巻市の中小企業融資（災害関連枠）による融資を受けた事業者に対して、3年間の利子補給を実施した。なお、対象融資の新規受付は令和2年度末で終了している。 ※最終となる令和3年1～3月融資実行分の利子補給が令和6年度末で終了となる。 (2) 石巻市中小企業災害等資金利子補給金制度 宮城県や日本政策金融公庫などの災害等への対応を目的とした一部の融資制度（セーフティネット融資など）を利用した事業者に対して、3年間の利子補給を行った。					区分	預託額	協調倍率	中小企業融資（一般資金）	415,000千円	10倍	小企業小口融資	10,000千円	5倍	中小企業融資（災害関連枠）	82,000千円	10倍																									
区分	預託額	協調倍率																																									
中小企業融資（一般資金）	415,000千円	10倍																																									
小企業小口融資	10,000千円	5倍																																									
中小企業融資（災害関連枠）	82,000千円	10倍																																									
成 果		制度の実施により、市内中小企業の経営の安定及び振興発展が図られた。 1 融資あっせん制度、信用保証料補給事業 <table><tr><td rowspan="2">区分</td><td colspan="2">融資実績</td><td rowspan="2">信用保証料 補給額</td><td colspan="2">損失補償</td></tr><tr><td>件数</td><td>融資金額</td><td>件数</td><td>金額</td></tr><tr><td>中小企業融資（一般資金）</td><td>316件</td><td>2,865,697千円</td><td>36,507千円</td><td>11件</td><td>6,415千円</td></tr><tr><td>小企業小口融資</td><td>0件</td><td>0千円</td><td>0千円</td><td>0件</td><td>0千円</td></tr><tr><td>中小企業融資（災害対応資金）</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td></tr></table> ※災害対応資金については、激甚災害等が発生していないため発動していない。 2 利子補給事業 <table><tr><td>区分</td><td>件数</td><td>金額</td></tr><tr><td>石巻市中小企業融資災害関連利子補給制度</td><td>0件</td><td>0千円</td></tr><tr><td>石巻市中小企業災害等資金利子補給金事業</td><td>7件</td><td>400千円</td></tr></table>					区分	融資実績		信用保証料 補給額	損失補償		件数	融資金額	件数	金額	中小企業融資（一般資金）	316件	2,865,697千円	36,507千円	11件	6,415千円	小企業小口融資	0件	0千円	0千円	0件	0千円	中小企業融資（災害対応資金）	—	—	—	—	—	区分	件数	金額	石巻市中小企業融資災害関連利子補給制度	0件	0千円	石巻市中小企業災害等資金利子補給金事業	7件	400千円
区分	融資実績		信用保証料 補給額	損失補償																																							
	件数	融資金額		件数	金額																																						
中小企業融資（一般資金）	316件	2,865,697千円	36,507千円	11件	6,415千円																																						
小企業小口融資	0件	0千円	0千円	0件	0千円																																						
中小企業融資（災害対応資金）	—	—	—	—	—																																						
区分	件数	金額																																									
石巻市中小企業融資災害関連利子補給制度	0件	0千円																																									
石巻市中小企業災害等資金利子補給金事業	7件	400千円																																									
成果に係る評価		令和7年度の中小企業融資（一般）の実績は316件で、令和6年度の298件と比較すると微増となった。保証料補給は令和6年度とほぼ同水準で推移している。融資あっせんの利用件数は直近数年増加傾向にあるが、県の他の制度融資との条件の差異等増減事由には複数の変数があるため、必ずしも物価高騰⇒資金繰りの悪化⇒市融資あっせん制度活用増と結びつけることはできないが、損失補償件数は令和6年度の5件から11件と増加しており、経営状況を取り巻く環境は厳しさを増しているものと思料される。 目下では政策金利の引き上げが決定されたこともあり、これらの金利上昇が預金金利に反映される場合は、貸付金の原資調達コストがあがることから、低利息融資サービスの継続的な提供を模索する一方で、転嫁が必要な部分については金融機関の持続的なサービス提供のため、負担増分を正しく見極めるとともに貸付利息のあるべき水準を慎重に検討していく必要がある。																																									
(単位：円)																																											
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																								
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																					
	666,401,000	550,319,990			507,399,087	42,920,903																																					

予算科目	7 款	商工費	事業名		日本遺産「みちのくＧＯＬＤ浪漫」活用推進事業		
	1 項	商工費	総合計画	第 4 章	多彩な人材が活躍し誇りと活気にあふれるまち		
	3 目	観光費		第 4 節	地域資源を生かした観光事業の振興		
	事業	観光振興事業費		(1)	地域資源を活用した観光誘客を推進する		
担当部課		産業部観光政策課		実施計画掲載ページ		P 76	
目的及び事業内容		日本遺産「みちのくＧＯＬＤ浪漫」に追加認定された「金華山道」、「金華山詣」を、本市の観光資源と連携させて活用するとともに、日本遺産「みちのくＧＯＬＤ浪漫」推進協議会会員の他自治体と連携して観光振興に取り組み、観光交流人口の増加による観光事業の振興及び地域経済の活性化を図る。					
取 組 実 績		1 商品開発補助事業 日本遺産「みちのくＧＯＬＤ浪漫」関連の商品開発に係る補助金を交付した。 (1) 申請件数 1件 (2) 補助金額 200,000円 「石巻の街道、通り、横丁、路地」 石巻の古道を紹介する冊子（500部） 2 情報発信事業 ＰＲイベントへの参加や英語併記の日本遺産観光パンフレットを活用したＰＲ活動を実施したほか、御周印帳や金華サイダー等のＰＲ・販売等を行い、市と「みちのくＧＯＬＤ浪漫」の認知度向上、魅力発信に努めた。 (1) 「日本遺産フェスティバル in 倉敷」出展 ・日程：令和7年10月25日～26日 3 金華山道一の鳥居周辺整備事業 過去に一の鳥居から金華山が眺望できた風景を整備し、みちのくＧＯＬＤ浪漫の構成文化財としての魅力向上を図るため周辺環境の整備を行った。 ・伐採業務委託料 7,795,700円 ・立木補償金（10件） 3,629,864円 4 その他事業 日本遺産「御周印帳」の設置 (公社)日本観光振興協会による取組で、日本遺産登録各地に「御周印」を押印できるスポットを設置し、併せて専用の御周印帳を設置するもの。牡鹿地区の c o t t u 内に設置） 補助金チラシの作成 これまでＨＰのみの周知であったが、新たに「補助金チラシ」を作成。公式ＳＮＳ、みちのくＧＯＬＤ浪漫公式ＨＰにて周知を行った。					
成 果		「日本遺産フェスティバル in 倉敷」への出展により、日本遺産「みちのくＧＯＬＤ浪漫」推進協議会会員の他自治体と連携することで「日本遺産」と「本市の観光情報」の認知度向上が図られた。 金華山道一の鳥居周辺整備事業において、立木補償及び支障木の伐採を完了し、令和8年度に実施予定の金華山道一の鳥居遊歩道整備工事の円滑な着手に向けた基盤整備を進めることができた。					
成果に係る評価		「みちのくＧＯＬＤ浪漫」推進協議会と連携した各種ＰＲ事業の実施や、関連商品開発補助事業の活用促進など、認知度向上に向けた様々な取組を実施している。 日本遺産「みちのくＧＯＬＤ浪漫」のブランド力を活かし、同協議会や教育委員会、関係団体と連携し、認知度向上に向けた取組を継続的に実施していく。 また、金華山道一の鳥居周辺整備を進めることにより、「みちのくＧＯＬＤ浪漫」における本市の構成文化財である「金華山道」「金華山詣」を効果的に活用した本市の更なる観光振興及び地域活性化を推進していく。					
(単位：円)							
予算の執行状況	予算額		決算額		決算額の財源内訳		
					国(県)支出金	一般財源	
	15,452,600		13,424,584		100,000	13,324,584	

予算科目	7 款	商工費	事業名		みちのく潮風トレイル活用推進事業							
	1 項	商工費	総合計画	第 4 章	多彩な人材が活躍し誇りと活気にあふれるまち							
	3 目	観光費		第 4 節	地域資源を活かした観光事業の振興							
	事業	観光振興事業費		(1)	地域資源を活用した観光誘客を推進する							
担当部課		産業部観光政策課		実施計画掲載ページ		P 76						
目的及び事業内容		半島沿岸部をルートとしたみちのく潮風トレイル開通に伴い、自然歩道を管理し、活用を推進することで、観光交流人口の増加による観光事業の振興及び地域経済の活性化を図る。										
取組実績		1 ガイドマップ作成等 ガイドマップを増刷したほか、新規事業として、情報誌「りらく」へ本市のみちのく潮風トレイル情報を掲載するとともに特集冊子を作成し、認知度向上及び誘客促進を図った。 (1) ガイドマップ増刷数 1,500部 (2) 掲載「りらく」発行部数 32,000部 「りらく」特集冊子発行部数 1,000部 2 路体管理、刈払い、巡視の実施 (1) 委託先 石巻山の会 (2) 実施回数 春、初秋の年2回実施 本市路線延長（164.2km）のうち、未舗装道7地点（23.56km）の巡回・除草作業 3 「みちのく潮風トレイル関係自治体協議会」への参画 本市を含む4県29市町村が参加し「みちのく潮風トレイル関係自治体協議会」の総会が6月7日に開催されたほか、役員会が3回、担当者会議が1回開催され、利用者増加に向けた意見交換等が行われた。また、11月26日に環境省等に対しトレイル環境の整備等に関する要望活動が行われた。										
成果		オリジナルガイドマップの増刷及び全国的にも知名度の高い情報誌「りらく」へのみちのく潮風トレイル（市内モデルコース）情報の掲載等により、認知度向上を図ることができた。 また、安全で快適なトレイル環境の維持に向けた定期的な巡視等の実施により、自然歩道を適正に管理し活用促進を図ることで、利用者の利便性の向上と観光交流人口の増加による観光事業の振興及び地域経済の活性化が図られた。 トレイルカウンター実績 設置場所：鮎川炭焼山内山林道西側入り口 <table><tr><td></td><td>カウント計</td></tr><tr><td>R6</td><td>279回</td></tr><tr><td>R7</td><td>371回</td></tr></table>						カウント計	R6	279回	R7	371回
	カウント計											
R6	279回											
R7	371回											
成果に係る評価		トレイルコースを観光振興及び更なる観光交流人口の拡大につなげていくためには、トレイルや周辺観光施設等の情報を包括的に盛り込んだオリジナルガイドマップを効果的に活用し周知に努めるほか、利用者が安全かつ快適にみちのく潮風トレイルをハイク出来るよう、遊歩道の改修、休憩施設の拡充等について環境省等に働きかけるとともに、引き続き路体管理・巡視、環境整備に継続的に取り組む必要がある。 また、ハイカーと地域住民との交流の実現や利用者の市内での消費拡大に向けて、観光関連団体や関係団体と連携し、市民の認知度・理解度の向上及びハイカー応援店の増加を図るための効果的な施策について検討・実施していく必要がある。										
(単位：円)												
予算の執行状況	予算額		決算額		決算額の財源内訳							
					国(県)支出金	一般財源						
	1,754,600		1,661,487			1,661,487						

予算科目	7 款	商工費	事業名		まつりイベント事業																																																										
	1 項	商工費	総合計画	第 4 章	多彩な人材が活躍し誇りと活気にあふれるまち																																																										
	3 目	観光費		第 4 節	地域資源を活かした観光事業の振興																																																										
	事業	観光振興事業費		(1)	地域資源を活用した観光誘客を推進する																																																										
担当部課		産業部観光政策課		実施計画掲載ページ		P 75																																																									
目的及び事業内容		各種祭りイベントの開催を支援することにより、地場産業の振興、地域伝統文化の継承保存及び地域住民の融和とコミュニティの形成による地域活性化を図るとともに、観光交流人口の増加による観光事業の振興を図る。																																																													
取 組 実 績		各種まつりイベント実行委員会に対して補助金・負担金を交付するとともに、事業の実施に当たっては、各実行委員会等への支援を行った。 <table><tr><td>イベント等名称</td><td>R6</td><td>R7</td><td>補助金額</td></tr><tr><td>石巻川開き祭り</td><td>238,000人</td><td>129,000人</td><td>9,000,000円</td></tr><tr><td>サン・ファン祭り</td><td>12,000人</td><td>12,000人</td><td>1,700,000円</td></tr><tr><td>サン・ファン渡波市民夏祭り</td><td>4,500人</td><td>4,000人</td><td>200,000円</td></tr><tr><td>サマーフェスタ・イン・かほく</td><td>(※) 1,500人</td><td>10,000人</td><td>2,100,000円</td></tr><tr><td>かほく産業まつり</td><td>5,000人</td><td>5,000人</td><td>1,300,000円</td></tr><tr><td>雄勝海鮮市まつり</td><td>15,000人</td><td>13,950人</td><td>1,800,000円</td></tr><tr><td>かなん市民まつり</td><td>8,500人</td><td>7,500人</td><td>1,900,000円</td></tr><tr><td>ものうふれあい祭</td><td>10,000人</td><td>6,000人</td><td>4,150,000円</td></tr><tr><td>にっこりまつり</td><td>4,600人</td><td>2,000人</td><td>2,000,000円</td></tr><tr><td>にっこり歳の市</td><td>2,300人</td><td>2,300人</td><td>1,000,000円</td></tr><tr><td>にっこり写真セミナー</td><td>43人</td><td>76人</td><td>700,000円</td></tr><tr><td>牡鹿鯨まつり</td><td>10,000人</td><td>15,000人</td><td>3,000,000円</td></tr><tr><td>合 計</td><td>311,443人</td><td>206,826人</td><td>28,850,000円</td></tr></table> ※令和6年度のサマーフェスタ・イン・かほくは、台風の影響によりイベントが中止となり、後日花火大会のみ実施						イベント等名称	R6	R7	補助金額	石巻川開き祭り	238,000人	129,000人	9,000,000円	サン・ファン祭り	12,000人	12,000人	1,700,000円	サン・ファン渡波市民夏祭り	4,500人	4,000人	200,000円	サマーフェスタ・イン・かほく	(※) 1,500人	10,000人	2,100,000円	かほく産業まつり	5,000人	5,000人	1,300,000円	雄勝海鮮市まつり	15,000人	13,950人	1,800,000円	かなん市民まつり	8,500人	7,500人	1,900,000円	ものうふれあい祭	10,000人	6,000人	4,150,000円	にっこりまつり	4,600人	2,000人	2,000,000円	にっこり歳の市	2,300人	2,300人	1,000,000円	にっこり写真セミナー	43人	76人	700,000円	牡鹿鯨まつり	10,000人	15,000人	3,000,000円	合 計	311,443人	206,826人	28,850,000円
イベント等名称	R6	R7	補助金額																																																												
石巻川開き祭り	238,000人	129,000人	9,000,000円																																																												
サン・ファン祭り	12,000人	12,000人	1,700,000円																																																												
サン・ファン渡波市民夏祭り	4,500人	4,000人	200,000円																																																												
サマーフェスタ・イン・かほく	(※) 1,500人	10,000人	2,100,000円																																																												
かほく産業まつり	5,000人	5,000人	1,300,000円																																																												
雄勝海鮮市まつり	15,000人	13,950人	1,800,000円																																																												
かなん市民まつり	8,500人	7,500人	1,900,000円																																																												
ものうふれあい祭	10,000人	6,000人	4,150,000円																																																												
にっこりまつり	4,600人	2,000人	2,000,000円																																																												
にっこり歳の市	2,300人	2,300人	1,000,000円																																																												
にっこり写真セミナー	43人	76人	700,000円																																																												
牡鹿鯨まつり	10,000人	15,000人	3,000,000円																																																												
合 計	311,443人	206,826人	28,850,000円																																																												
成 果		各実行委員会に対する補助金の交付により、各地区においてコロナ禍前と同規模の祭り・イベントを開催することができた。入込数は、石巻川開き祭りにおける入込数が花火大会の規模縮小や開催期間中の台風接近等の影響により大きく減少したこと等から、前年度を下回ったものの、各種イベントの開催を通じて市内外からの誘客が図られ、地域の賑わい創出や観光交流人口の拡大に寄与したほか、観光振興及び地域経済の活性化につながった。																																																													
成果に係る評価		各地区において祭り・イベントが継続的に開催され、地域の賑わい創出や観光誘客の促進が図られたことから、観光振興及び地域経済の活性化に寄与したものと評価する。今後とも、観光交流人口の増加による地域経済の活性化を図るため、引き続き事業を継続する必要がある。																																																													
(単位：円)																																																															
予算の執行状況	予算額		決算額		決算額の財源内訳																																																										
					国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																																							
	28,850,000		28,850,000				20,000,000	8,850,000																																																							

予算科目	7 款	商工費	事業名		石巻港大型客船誘致事業																		
	1 項	商工費	総合計画	第 4 章	多彩な人材が活躍し誇りと活気にあふれるまち																		
		3 目		観光費	第 4 節	地域資源を活かした観光事業の振興																	
		事業		観光振興事業費	(1)	地域資源を活用した観光誘客を推進する																	
担当部課		産業部観光政策課		実施計画掲載ページ		P 76																	
目的及び事業内容		広域産業拠点港湾として地域経済・産業をけん引する、仙台塩釜港「石巻港区」の更なる発展を目的に、大型客船関係企業へポートセールス等による港湾利用の促進を図るとともに、観光交流人口の拡大による観光事業の振興及び地域経済の活性化を図る。																					
取 組 実 績		1 大型客船関係企業へのポートセールスの実施等 (1) 令和7年11月12日 ポートセールス：客船会社及びランドオペレーター 計3社 (2) 令和8年1月28日、29日 クルーズ会社現地招待視察対応：1社 2 大型客船寄港実績 <table><tr><td>寄港日</td><td>寄港船舶</td><td>寄港埠頭</td><td>乗船客数</td></tr><tr><td>R7.5.18</td><td>ヘリテージ・アドベンチャラー</td><td>大手埠頭</td><td>111人</td></tr><tr><td>R7.10.10</td><td>シーボーン・クエスト</td><td>雲雀野埠頭</td><td>423人</td></tr><tr><td colspan="3">計</td><td>534人</td></tr></table>						寄港日	寄港船舶	寄港埠頭	乗船客数	R7.5.18	ヘリテージ・アドベンチャラー	大手埠頭	111人	R7.10.10	シーボーン・クエスト	雲雀野埠頭	423人	計			534人
寄港日	寄港船舶	寄港埠頭	乗船客数																				
R7.5.18	ヘリテージ・アドベンチャラー	大手埠頭	111人																				
R7.10.10	シーボーン・クエスト	雲雀野埠頭	423人																				
計			534人																				
成 果		計4隻の大型客船の寄港予約が入っていたものの、船社側の諸般の事情により取りやめとなり、2隻の寄港実績となった。 東京の客船会社・ランドオペレーターに対し、大型客船誘致協議会構成市町2市2町の首長らによるトップセールスを行ったほか、国内最大級の大型客船MSCベリッシマのチャータークルーズを行う(株)ジャパネットツーリズムの責任者2名を招待しての視察受入を実施するなど、新規客船の誘致に向けた新たな関係性構築が図られた。 クルーズ船寄港数 <table><tr><td></td><td>石巻港</td><td>東北地域</td></tr><tr><td>R5</td><td>5隻</td><td>95隻</td></tr><tr><td>R6</td><td>1隻</td><td>98隻</td></tr><tr><td>R7</td><td>2隻</td><td>114隻</td></tr></table>							石巻港	東北地域	R5	5隻	95隻	R6	1隻	98隻	R7	2隻	114隻				
	石巻港	東北地域																					
R5	5隻	95隻																					
R6	1隻	98隻																					
R7	2隻	114隻																					
成果に係る評価		東北地域へのクルーズ船寄港数は、新型コロナ流行前の令和元年に91隻であったのに対し、令和8年は133隻(予定)(前年比116.67%)と増加傾向にあり、東北地域におけるクルーズ需要の高まりが見られる中、石巻港が寄港地として選ばれるための効果的な取組について大型客船誘致協議会において引き続き検討していく必要がある。 また、寄港したクルーズ船の乗船客が参加するツアーの行先に、当協議会の構成市町が選定されるよう、ポートセールス先の選定や石巻港のPR手法を構成会員と検討していくほか、各客船の客層に応じた観光PRやリピーター獲得のためのおもてなしを今後も継続して実施していく。 なお、誘致にあたっては、石巻港は「工業港」であることから、地元企業と連携して取り組んでいく。																					
(単位：円)																							
予算の執行状況	予算額		決算額		決算額の財源内訳																		
					国(県)支出金	地方債	その他	一般財源															
	2,570,000		1,865,940				1,780,000	85,940															

予算科目	7 款	商工費	事業名		観光PR事業														
	1 項	商工費	総合計画	第 4 章	多彩な人材が活躍し誇りと活気にあふれるまち														
	3 目	観光費		第 4 節	地域資源を生かした観光事業の振興														
	事業	観光振興事業費		(1)	地域資源を活用した観光誘客を推進する														
担当部課		産業部観光政策課		実施計画掲載ページ		P 76													
目的及び事業内容		新鮮な海産物に代表される四季折々の食材や美しい自然など、本市の豊富な観光資源を活かし、効果的な情報発信を行うことで観光誘客を推進し、観光交流人口の増加による観光事業の振興及び地域経済の活性化を図る。																	
取 組 実 績	1 石巻市総合ガイドブック等作成事業 石巻観光協会の実施事業において市が負担金を支出し、観光ガイドブック（日本語版2種・英語版・繁体字版）を発行した。また、仙台空港をはじめとする市内外の観光施設等のパンフレットラック及び市内外で開催されるイベントでの観光ガイドブック配布により観光情報の発信を行い、観光客の誘客を促進した。（作成部数 日本語：30,000部、日本語（簡易版）：7,000部、英語：5,000部、中国語（繁体字）：3,000部）																		
	2 映画等誘致・製作支援事業 (1) 誘致提案実績 ミュージックビデオ 1件 バラエティ 2件 (2) 提案ロケ地 日和山公園、御番所公園、雄勝漁港、トヤケ森、田代島等																		
	3 観光情報発信強化事業 (1) フェイスブックアカウント フォロワー数 5,115件 (2) Xアカウント フォロワー数 1,765件 (3) インスタグラムアカウント フォロワー数 9,569件 「#いいのまき日和」ありがとうキャンペーン 期間：R7.8.1～R7.8.25 ・応募者数 3,221件 フォロワー数：4,485件の増加 ・当選者（10名）に景品授与 「#いいのまき日和」フォト＆リール動画コンテスト 期間：R7.12.1～R8.2.15 ・応募者数 274件（内リール動画 46件）フォロワー数：889件の増加 ・入選者（写真11件、動画10件）に賞品授与 (4) 仙台圏での観光PR ・本市の食材活用オリジナルメニューフェア 期間：R7.11.8～24 総オーダー数：474件																		
	4 その他事業 (1) インバウンド対応 国際交流員を配置し、通訳、翻訳等インバウンド誘客に対応 宮城県市長会・東北観光推進機構と連携した「台湾」での観光プロモーションの実施 (2) その他 日和山観桜対応、マンガッタンライナー運行、観光大使の活用など																		
成 果	観光ガイドブックの作成や映画等の誘致・製作支援など、各種観光PR事業の実施により、観光誘客が推進され、観光交流人口の増加による観光事業の振興及び地域経済の活性化が図られた。																		
	<table><tr><th rowspan="2">区分</th><th colspan="2">観光客入込数</th></tr><tr><th>目標値</th><th>実績</th></tr><tr><td>R5</td><td>3,600,000人</td><td>4,931,248人</td></tr><tr><td>R6</td><td>5,100,000人</td><td>4,702,395人</td></tr><tr><td>R7</td><td>5,400,000人</td><td>5,694,042人</td></tr></table>						区分	観光客入込数		目標値	実績	R5	3,600,000人	4,931,248人	R6	5,100,000人	4,702,395人	R7	5,400,000人
区分	観光客入込数																		
	目標値	実績																	
R5	3,600,000人	4,931,248人																	
R6	5,100,000人	4,702,395人																	
R7	5,400,000人	5,694,042人																	
成果に係る評価	観光ガイドブックの作成や映像コンテンツ制作の誘致・制作支援など、各種観光PR事業をより戦略的に実施した。その結果、観光誘客が推進され、観光客入込数は当初目標の5,400,000人を上回る5,694,042人（達成率105.49%）となった。 観光交流人口の増加は、地域経済の活性化や観光事業のさらなる振興に寄与するものであり、一連のPR事業が高い効果を発揮した成果であると評価できる。																		
(単位：円)																			
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源													
	37,566,400	36,518,497			6,393,589	30,124,908													

予算科目	7 款	商工費	事業名		石巻観光ボランティア支援事業																			
	1 項	商工費	総合計画	第 4 章	多彩な人材が活躍し誇りと活気にあふれるまち																			
	3 目	観光費		第 4 節	地域資源を活かした観光事業の振興																			
	事業	観光振興事業費		(2)	観光振興体制を構築する																			
担当部課		産業部観光政策課		実施計画掲載ページ		P 77																		
目的及び事業内容		「震災まなびの案内」や石巻地域の歴史・文化等を案内する取組により、被災地を訪れる方々に震災伝承、防災学習の意義を伝える活動及び駅頭案内や各観光イベント時のガイドなどを実施している石巻観光ボランティア協会に対し、活動費を補助することで円滑な活動を促進するとともに、観光客の受入環境の向上を図る。																						
取 組 実 績		本市の情報発信及び観光振興に寄与する石巻観光ボランティア協会に対し、研修等のための活動費に係る補助金を交付した。 1 研修会等関係 (1) 石巻歴史・震災遺構等研修 4回 参加者数 47人 (2) 他自治体歴史研修 1回 参加者数 10人 (3) 石巻市議会産業建設委員会委員との意見交換会 1回 参加者数 10人 (4) 石巻消防署による「救命入門コース」講習 1回 参加者数 15人 2 ボランティアガイド関係 (1) サン・ファン祭り (R7.5.18) (2) GO!GO!ラリー in 東北 (R7.10.4) (3) 大型客船「シーボーン・クエスト」入港歓迎 (R7.10.10) (4) 全国鯨フォーラム2025石巻 (R7.11.1) (5) 仙石線マンガッタンライナーⅡ石巻駅ラストランお見送り・牡蠣鍋振舞い (R7.12.7) (6) JR特別列車「だてSATONO」歓迎 (R8.2.1) (7) いしのまき絆交流鍋まつり (R8.2.21、22) 3 震災学びの案内 活動実績 <table><tr><td>区分</td><td>バス台数 (うち学校)</td><td>参加人数 (うち学校)</td></tr><tr><td>R3</td><td>99台 (24校)</td><td>2,876人 (2,481人)</td></tr><tr><td>R4</td><td>152台 (24校)</td><td>3,230人 (1,141人)</td></tr><tr><td>R5</td><td>201台 (20校)</td><td>3,605人 (940人)</td></tr><tr><td>R6</td><td>110台 (8校)</td><td>1,765人 (285人)</td></tr><tr><td>R7</td><td>60台 (10校)</td><td>1,491人 (415人)</td></tr></table>					区分	バス台数 (うち学校)	参加人数 (うち学校)	R3	99台 (24校)	2,876人 (2,481人)	R4	152台 (24校)	3,230人 (1,141人)	R5	201台 (20校)	3,605人 (940人)	R6	110台 (8校)	1,765人 (285人)	R7	60台 (10校)	1,491人 (415人)
区分	バス台数 (うち学校)	参加人数 (うち学校)																						
R3	99台 (24校)	2,876人 (2,481人)																						
R4	152台 (24校)	3,230人 (1,141人)																						
R5	201台 (20校)	3,605人 (940人)																						
R6	110台 (8校)	1,765人 (285人)																						
R7	60台 (10校)	1,491人 (415人)																						
成 果		会員のガイドスキルアップを図るため、市内外の歴史や観光施設等を学ぶ研修会等を実施したほか、ボランティアガイド関連事業では、観光案内や文化・歴史のガイドを行うなど観光推進に寄与した。 また、「震災学びの案内」による、被災地を訪れる方々に対する震災伝承や防災学習の意義を伝える活動については、対応件数が減少傾向にあるものの、高い知見を持った観光ボランティアによるガイド活動の実施によって、本市の観光客に対するおもてなしの充実が図られた。																						
成果に係る評価		「震災学びの案内」の受入件数が昨年度実績を下回ったが、震災に対する興味関心が薄れてきていることが最大の要因であると考えられるため、今後は当該団体の活動だけではなく、教育旅行の誘致などの取組と合わせた誘客を図っていく必要がある。 観光ボランティアの会員を育成しガイド活動を展開することは、本市を訪れる観光客の周遊促進が図られるほか、おもてなしによる満足度やリピーターにもつながることから、会員数の確保に努めるとともに団体活動への支援も引き続き行っていく。																						
(単位：円)																								
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																					
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																		
	500,000	500,000				500,000																		

予算科目	7 款	商工費	事業名		神割崎自然公園トイレ等改修事業												
	1 項	商工費	総合計画	第 4 章	多彩な人材が活躍し誇りと活気にあふれるまち												
	3 目	観光費		第 4 節	地域資源を活かした観光事業の振興												
	事業	観光施設管理費		(1)	地域資源を活用した観光誘客を推進する												
担当部課		産業部観光政策課		実施計画掲載ページ		P 76											
目的及び事業内容		神割崎自然公園内に整備された公衆トイレについて、子ども、妊婦、高齢者やインバウンド対策として、誰もが利用しやすい洋式トイレに改修するとともに、駐車場の段差を解消し、老朽化した防護柵の再整備を行う。 ・ 事業期間 令和6年度～令和8年度 ・ 全体計画 令和6年度 改修工事設計（トイレ洋式化及び駐車場段差解消） 令和7年度 改修工事（トイレ洋式化及び駐車場段差解消） 令和8年度 改修工事（防護柵）															
取 組 実 績		施設等の改修工事を実施した。 1 神割崎自然公園トイレ等改修工事 (1) トイレ洋式化及び内部改修（男子トイレ1、女子トイレ2） (2) 駐車場のバリアフリー化 (3) 設備の老朽化に伴う改修（各トイレ入口ドア）															
成 果		改修工事の実施により、事業の進捗が図られた。 <table border="1"><thead><tr><th rowspan="2">区分</th><th colspan="2">成果指標</th><th rowspan="2">達成率等</th></tr><tr><th>目標値</th><th>実績等</th></tr></thead><tbody><tr><td>R7</td><td>100%</td><td>100%</td><td>100%</td></tr></tbody></table> ・ 工事名：神割崎自然公園トイレ等改修工事 ・ 施工期間：R7.8.1～R8.1.30 ・ 契約金額：17,589,000円						区分	成果指標		達成率等	目標値	実績等	R7	100%	100%	100%
区分	成果指標		達成率等														
	目標値	実績等															
R7	100%	100%	100%														
成果に係る評価		本事業の実施により、公衆トイレの快適性や機能性の向上が図られた。交流人口の拡大につなげるために、次年度も事業を継続（防護柵整備）する必要がある。															
(単位：円)																	
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳														
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源											
	18,054,000	17,643,000	7,000,000	10,500,000		143,000											

予算科目	7 款	商工費	事業名		石ノ森萬画館管理運営事業 石ノ森萬画館改修事業																
	1 項	商工費	総合計画	第 4 章	多様な人材が活躍し誇りと活気にあふれるまち																
	3 目	観光費		第 4 節	地域資源を活かした観光事業の振興																
	事業	石ノ森萬画館管理運営費		(1)	地域資源を活用した観光誘客を推進する																
担当部課		産業部観光政策課		実施計画掲載ページ		P 76															
目的及び事業内容		石ノ森萬画館の適正な管理運営を図るとともに、マンガ文化及び地域文化を発信し、誘客の促進と市内内外の人々との交流を促進し、本市における文化の発展と地域経済の振興を図る。																			
取 組 実 績	1 石ノ森萬画館管理運営 (1) 指定管理者 株式会社街づくりまんぼう (2) 指定管理料 61,000,000円 (3) 指定管理期間 R3. 4. 1～R8. 3. 31 (4) 事業内容 ア 常設展示 石ノ森バイオグラフィ、サイボーグ009の世界、仮面ライダーの世界など イ 特別企画展																				
	<table><tr><th>企画展名</th><th>開催期間</th><th>延べ人数</th></tr><tr><td>かえるのピクルス ふりかえる展 i n いしのまき</td><td>R7. 4. 19～R7. 7. 13</td><td>20,626人</td></tr><tr><td>伊藤潤二展 誘惑</td><td>R7. 7. 26～R7. 9. 28</td><td>25,671人</td></tr><tr><td>落第忍者乱太郎原画展</td><td>R7. 10. 11～R8. 1. 25</td><td>32,334人</td></tr><tr><td>こびとづかん なばたとしたか原画展</td><td>R8. 3. 20～R8. 6. 28</td><td>7,419人</td></tr></table> ※1：「こびとづかん なばたとしたか原画展」の人数は令和7年度末までの延べ人数 ※2：常設展示室の改修に伴い、R8. 1. 29～R8. 3. 19の期間を臨時休館した。						企画展名	開催期間	延べ人数	かえるのピクルス ふりかえる展 i n いしのまき	R7. 4. 19～R7. 7. 13	20,626人	伊藤潤二展 誘惑	R7. 7. 26～R7. 9. 28	25,671人	落第忍者乱太郎原画展	R7. 10. 11～R8. 1. 25	32,334人	こびとづかん なばたとしたか原画展	R8. 3. 20～R8. 6. 28	7,419人
	企画展名	開催期間	延べ人数																		
	かえるのピクルス ふりかえる展 i n いしのまき	R7. 4. 19～R7. 7. 13	20,626人																		
伊藤潤二展 誘惑	R7. 7. 26～R7. 9. 28	25,671人																			
落第忍者乱太郎原画展	R7. 10. 11～R8. 1. 25	32,334人																			
こびとづかん なばたとしたか原画展	R8. 3. 20～R8. 6. 28	7,419人																			
ウ 映像ホール（有料） 「シージュッター海斗特別編」、「ジュン～春の針～」等を上映																					
エ ライブラリー、マルチメディア工房（無料展示） マンガ本約6,000冊、映像約300作品、各種ワークショップが体験できるスペース オ 資料収集・保存活動（過去に出版された石ノ森関連書籍や各マンガ家からの色紙寄贈など） カ マンガッタンイラストギャラリー（年4回テーマを設けてイラスト作品を募集し館内に展示） 応募数：R7＝146点、R6＝231点、R5＝226点、R4＝271点、R3＝208点																					
成 果	2 石ノ森萬画館改修事業 利用者の利便性及び満足度向上に資するもののほか、施設管理上必要な改修・修繕等を実施 ・石ノ森萬画館3階交流スペース改装実施設計業務 3,608,000円（R6繰越分） ・石ノ森萬画館3階交流スペース内装演出デザイン提案業務 7,981,600円（R6繰越分） ・石ノ森萬画館常設展示室整備業務 92,000,000円 ・石ノ森萬画館冷温水発生器修繕 264,000円 ・石ノ森萬画館エレベーター修繕 183,700円 ※実施事業のうち、主要なものを記載																				
	石ノ森萬画館の適正な維持管理が図られるとともに、マンガ文化及び地域文化の発信に努めたことにより、観光誘客が促進され、地域経済の振興が図られた。																				
	<table><tr><th>年度</th><th>利用者数</th><th>うち有料入場者数</th><th>入館料等収入</th></tr><tr><td>R6</td><td>173,106人</td><td>90,525人</td><td>78,779,093円</td></tr><tr><td>R7</td><td>167,047人</td><td>93,514人</td><td>85,573,897円</td></tr></table>						年度	利用者数	うち有料入場者数	入館料等収入	R6	173,106人	90,525人	78,779,093円	R7	167,047人	93,514人	85,573,897円			
	年度	利用者数	うち有料入場者数	入館料等収入																	
R6	173,106人	90,525人	78,779,093円																		
R7	167,047人	93,514人	85,573,897円																		
令和6年度に引き続き、文化庁補助金を活用した計画的な施設整備と運営改善により、安定的な事業基盤の確保と施設価値の向上を図った。また、常設展示のリニューアルにより施設の魅力向上と来館動機の強化を進め、企画展との相乗効果や滞在価値の向上につながる取組となった。企画展4回はいずれも好評で、有料入館者数は90,525人から93,514人に増加し、一定の成果を得ることができた。 一方、総入館者数は173,106人から167,047人に減少したが、これは令和8年1月29日から3月19日までの常設展示改修に伴う休館の影響が主な要因と考えられる。収入面では、入館料等収入が78,779,093円から85,573,897円へ増加した。今後は、リニューアルした常設展示と企画展の効果を最大化するとともに、関係施設及び周辺エリアとの連携、情報発信の強化を通じて、入館者数の確保及び地域全体の集客力・収益性の向上に取り組んでいく。																					
成果に係る評価																					
(単位：円)																					
予算の執行状況	予算額		決算額		決算額の財源内訳																
					国(県)支出金	一般財源															
	217,693,000		204,195,900		89,961,000	68,234,900															

予算科目	7 款	商工費	事業名		マンガアイランド管理運営事業																																																																																		
	1 項	商工費	総合計画	第 4 章	多彩な人材が活躍し誇りと活気にあふれるまち																																																																																		
	3 目	観光費		第 4 節	地域資源を生かした観光事業の振興																																																																																		
	事業	マンガアイランド管理運営費		(1)	地域資源を活用した観光誘客を推進する																																																																																		
担当部課		産業部観光政策課		実施計画掲載ページ		－																																																																																	
目的及び事業内容		田代島の豊かな自然環境に親しみ、マンガとふれあう場を設けることにより、市民の自然と文化への理解を深め、心身の健康を増進するとともに、住民と来訪者との交流による島の活性化を図ることを目的とする。																																																																																					
取 組 実 績		1 開設期間：令和7年4月25日～10月31日 運営方法：業務委託																																																																																					
		内 容				金 額																																																																																	
		運営・施設管理業務				7,967,960円																																																																																	
		施設予約受付業務				924,000円																																																																																	
		その他施設維持管理委託業務				604,924円																																																																																	
		合 計				9,496,884円																																																																																	
		2 マンガアイランド利用実績																																																																																					
		<table><tr><th rowspan="2">年度</th><th colspan="3">マンガロッジ</th><th colspan="3">テントサイト</th><th colspan="3">合 計</th><th rowspan="2">使用料</th></tr><tr><th>人数</th><th>延べ人数</th><th>利用件数</th><th>人数</th><th>延べ人数</th><th>利用件数</th><th>人数</th><th>延べ人数</th><th>利用件数</th></tr><tr><td>R3</td><td>409</td><td>461</td><td>133</td><td>68</td><td>78</td><td>44</td><td>477</td><td>539</td><td>177</td><td>1,569,190円</td></tr><tr><td>R4</td><td>611</td><td>698</td><td>237</td><td>166</td><td>175</td><td>89</td><td>777</td><td>873</td><td>326</td><td>2,732,960円</td></tr><tr><td>R5</td><td>836</td><td>915</td><td>355</td><td>177</td><td>199</td><td>143</td><td>1013</td><td>1114</td><td>498</td><td>3,932,420円</td></tr><tr><td>R6</td><td>837</td><td>931</td><td>371</td><td>139</td><td>157</td><td>100</td><td>976</td><td>1088</td><td>471</td><td>4,107,700円</td></tr><tr><td>R7</td><td>788</td><td>869</td><td>337</td><td>164</td><td>179</td><td>106</td><td>952</td><td>1026</td><td>443</td><td>4,241,350円</td></tr></table>											年度	マンガロッジ			テントサイト			合 計			使用料	人数	延べ人数	利用件数	人数	延べ人数	利用件数	人数	延べ人数	利用件数	R3	409	461	133	68	78	44	477	539	177	1,569,190円	R4	611	698	237	166	175	89	777	873	326	2,732,960円	R5	836	915	355	177	199	143	1013	1114	498	3,932,420円	R6	837	931	371	139	157	100	976	1088	471	4,107,700円	R7	788	869	337	164	179	106	952	1026	443	4,241,350円
		年度	マンガロッジ			テントサイト			合 計			使用料																																																																											
			人数	延べ人数	利用件数	人数	延べ人数	利用件数	人数	延べ人数	利用件数																																																																												
R3	409	461	133	68	78	44	477	539	177	1,569,190円																																																																													
R4	611	698	237	166	175	89	777	873	326	2,732,960円																																																																													
R5	836	915	355	177	199	143	1013	1114	498	3,932,420円																																																																													
R6	837	931	371	139	157	100	976	1088	471	4,107,700円																																																																													
R7	788	869	337	164	179	106	952	1026	443	4,241,350円																																																																													
3 備品等貸出件数																																																																																							
種 類				利用件数																																																																																			
マウンテンバイク（大人用）				47件																																																																																			
マウンテンバイク（小人用）				10件																																																																																			
電気自転車				1071件																																																																																			
釣り竿				41件																																																																																			
天体望遠鏡				14件																																																																																			
合 計				1079件																																																																																			
成 果		前年度と比較して、利用者数及び使用料収入はやや減少したものの、テントサイトの利用は堅調に推移し、ロッジの利用者数も令和5年度から安定した水準を維持した。マンガアイランドの利用を通じて、田代島の豊かな自然とマンガに親しむ機会を提供し、観光交流による島の活性化が図られた。また、利用者数全体は減少したものの、備品貸出では電気自転車の利用件数が増加し、島内周遊の促進につながった。 ・テントサイト利用者数（延べ人数）：R6：157人→R7：179人（22人増、約1.14倍） ・電気自転車 R6：1,010件→R7：1,071件（61件増、約1.06倍）																																																																																					
成果に係る評価		各メディアや広報誌等において田代島が全国的に取り上げられるようになり、知名度や関心度の向上につながっているものと考えられ、田代島ならではの猫型ロッジを有している本施設への注目が向けられていることから、令和5年度より安定した入込数を獲得できている。また、日帰り観光客の利用が多数あることから、特に電気自転車等の貸出件数に反映されているものと推測できる。 全体の利用者数の減少については、荒天による網地島ラインの欠航や欠航リスクを加味したやむを得ないキャンセルにより、宿泊できなかった利用者が多くいたことや、夏季の各ロッジの室温等、滞在環境が適切とは言い難い状況であったことも原因と考えられる。 今後は、さらに積極的な広報活動や関係団体と連携した観光PRを行い、利用者数の増加に努めると共に、利用者のさらなる利便性向上のため、施設の適切な整備を進めていく必要がある。																																																																																					
（単位：円）																																																																																							
予算の執行状況		予算額	決算額	決算額の財源内訳																																																																																			
				国（県）支出金	地方債	その他	一般財源																																																																																
		12,767,781	12,354,890			4,251,250	8,103,640																																																																																

予算科目	7 款	商工費	事業名		サン・ファン・パウティスタパーク管理運営事業					
	1 項	商工費	総合計画	第 4 章	多彩な人材が活躍し誇りと活気にあふれるまち					
	3 目	観光費		第 4 節	地域資源を生かした観光事業の振興					
	事業	サン・ファン・パウティスタパーク管理運営費		(1)	地域資源を活用した観光誘客を推進する					
担当部課		産業部観光政策課		実施計画掲載ページ			－			
目的及び事業内容		サン・ファン・パウティスタパークの適正な管理運営を図るとともに、市民の文化活動の向上と憩いの場を提供し、さらに観光拠点として観光誘客を推進し、観光交流人口の増加による観光事業の振興及び地域の活性化を図る。								
取 組 実 績	1 指定管理者 公益財団法人慶長遣欧使節船協会									
	2 指定管理料 40,000,000円									
	3 指定管理期間 令和7年4月1日～令和11年3月31日									
	4 事業内容 (1) 各種設備機器保守・保守業務 (2) パーク内行為許可業務 (3) 観光情報の提供									
取 組 実 績	5 利用者数									
			R3	R4	R5	R6	R7			
	パーク来園者数		49,062人	34,814人	56,289人	51,521人	63,866人			
	サン・ファン館入館者数		14,234人	10,469人	0人	10,706人	28,713人			
取 組 実 績	6 主な施設修繕等実績									
			内 容			実施日		金額		
			パーク泡消火設備誤作動箇所復旧作業			令和7年11月		991,650円		
			パーク泡消火設備配管漏水箇所修繕			令和7年10月		452,100円		
取 組 実 績			パーク泡消火設備配管修繕			令和8年3月		1,980,000円		
	隣接する宮城県慶長使節船ミュージアム（サン・ファン館）との一体的な管理運営により、相互の施設の魅力や集客力の向上を効率的に実施し、施設の適正な維持管理が図られた。									
	また、指定管理事業者及び地元団体等が実施する施設を活用した各種イベントについては、市ホームページや各種SNS、チラシやポスターの掲示等、積極的な広報活動を行い、観光交流人口の拡大に寄与した。									
	中でも、サン・ファン祭りについては、リニューアルオープン後初の開催となり、令和6年度と同程度の約12,000人の来場者となり、地域の賑わい創出に大きく寄与し、観光事業の振興及び地域経済の活性化が図られた。									
成 果	サン・ファン・パウティスタパークを会場とした主なイベント									
	事業名		開催日			来場者数				
	第32回サン・ファン祭り		令和7年5月18日			12,000人				
	サン・ファン渡波市民まつり		令和7年8月14日			4,000人				
成果に係る評価	施設供用開始から25年以上が経過し、経年による施設の老朽化が著しいが、必要に応じた適切な修繕等の実施により、施設の適正な維持管理が図られている。									
	リニューアルオープン後初の通年オープンとなり、パークの来場者数及びサン・ファン館入館者数共にコロナ禍前の実績と同程度へと回復を見せており、利用者数は順調に増加傾向を示している。									
	今後はパーク施設利用者のホスピタリティ向上に向け、一層の施設の適正管理が求められる。									
	また、空きテナントの利活用策の検討や、来園者増加に向けた施策実施、蛍光灯生産終了に伴うパーク内のLED化事業等の実施が必要となる。									
成果に係る評価	積極的な広報活動やイベント会場としての活用等により、利用者数の更なる増加を図っていくことが重要となる。									
	(単位：円)									
	予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳						
				国(県)支出金	地方債	その他	一般財源			
		44,840,550	44,023,250				44,023,250			

予算科目	7 款	商工費	事業名		海水浴場開設事業																																							
	1 項	商工費	総合計画	第 4 章	多彩な人材が活躍し誇りと活気にあふれるまち																																							
	3 目	観光費		第 4 節	地域資源を活かした観光事業の振興																																							
	事業	海水浴場管理運営費		(1)	地域資源を活用した観光誘客を推進する																																							
担当部課		産業部観光政策課		実施計画掲載ページ		P 75																																						
目的及び事業内容		市営海水浴場を開設し、観光客や市民が安心して海に親しむレクリエーションの場として提供するため、安全対策に必要な業務を行うことで海難事故を防止するとともに、観光誘客を推進し、観光交流人口の増加による観光事業の振興及び地域経済の活性化を図る。																																										
取 組 実 績		1 市営海水浴場の開設 令和7年度は4箇所の市営海水浴場を開設した。 各海水浴場入込数 <table><tr><th>海水浴場名</th><th>地区</th><th>開設期間</th><th>開設日数</th><th>R6</th><th>R7</th></tr><tr><td>荒浜海水浴場</td><td>雄勝</td><td>7/19～8/17</td><td>30日間</td><td>963人</td><td>1,834人</td></tr><tr><td>白浜海水浴場</td><td>北上</td><td>7/18～8/24</td><td>38日間</td><td>2,927人</td><td>5,037人</td></tr><tr><td>網地白浜海水浴場</td><td>牡鹿</td><td>7/19～8/24</td><td>37日間</td><td>4,790人</td><td>6,956人</td></tr><tr><td>十八成浜海水浴場</td><td>牡鹿</td><td>7/19～8/17</td><td>30日間</td><td>2,169人</td><td>3,391人</td></tr><tr><td>計</td><td></td><td></td><td></td><td>10,849人</td><td>17,218人</td></tr></table> ※7月31日はカムチャツカ半島地震に伴う津波注意報発表により全ての市営海水浴場を休止 ※渡波海水浴場は遊泳環境悪化により休止した。							海水浴場名	地区	開設期間	開設日数	R6	R7	荒浜海水浴場	雄勝	7/19～8/17	30日間	963人	1,834人	白浜海水浴場	北上	7/18～8/24	38日間	2,927人	5,037人	網地白浜海水浴場	牡鹿	7/19～8/24	37日間	4,790人	6,956人	十八成浜海水浴場	牡鹿	7/19～8/17	30日間	2,169人	3,391人	計				10,849人	17,218人
海水浴場名	地区	開設期間	開設日数	R6	R7																																							
荒浜海水浴場	雄勝	7/19～8/17	30日間	963人	1,834人																																							
白浜海水浴場	北上	7/18～8/24	38日間	2,927人	5,037人																																							
網地白浜海水浴場	牡鹿	7/19～8/24	37日間	4,790人	6,956人																																							
十八成浜海水浴場	牡鹿	7/19～8/17	30日間	2,169人	3,391人																																							
計				10,849人	17,218人																																							
成 果		4か所の市営海水浴場の開設により、合計17,218人の入込数があった。 海水浴場を安全で快適に過ごせる憩いの場として整備・提供したことで、市民をはじめ市外から訪れる観光客にも広く利用され、自然に親しみながら心身の健康増進や気分転換の機会を創出することができた。また、誘客促進及び観光交流人口の増加により、観光及び地域経済の振興が図られた。																																										
成果に係る評価		入込数が令和6年度より増加した理由については、台風や大雨などといった自然災害の影響が少なかったものと考えられる。 開設した海水浴場においては、地区住民や監視業者等の理解のもと、連携が図られ適正な運営がなされた結果、大きなトラブルなく運営ができた。 今後も引き続き、安全かつ快適な遊泳環境を提供するとともに、地域の賑わいの創出と交流人口の拡大を図るため、市営海水浴場の開設を継続していく必要がある。 なお、渡波海水浴場については、費用対効果及び牡蠣殻漂着等による遊泳環境の悪化のため、休止している。																																										
		(単位：円)																																										
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																									
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																						
	19,465,989	19,025,168				19,025,168																																						

予算科目	7 款	商工費	事業名		雄勝地域拠点エリア管理運営事業																																																
	1 項	商工費	総合計画	第 4 章	多彩な人材が活躍し誇りと活気にあふれるまち																																																
	3 目	観光費		第 4 節	地域資源を活かした観光事業の振興																																																
	事業	雄勝地域拠点エリア管理運営費		(1)	地域資源を活用した観光誘客を推進する																																																
担当部課		産業部観光政策課		実施計画掲載ページ		—																																															
目的及び事業内容		雄勝地域における観光拠点施設である「雄勝硯伝統産業会館」及び「雄勝観光物産交流館」の適切な管理運営と、施設を活用した観光事業の充実を図るとともに、道の駅としての機能を活用し、観光交流人口の拡大による地域経済の活性化を図る。																																																			
取 組 実 績		雄勝地域の観光・物産・産業等に関するPRや適切な管理運営を行うことを目的に指定管理者制度を活用し、以下の事業を実施する。 1 指定管理者 一般社団法人硯上の里おがつ 代表理事 大槻 敏也 2 指定管理料 53,000,000円 3 指定管理期間 R3.4.1～R8.3.31 (1) 観光PR事業・・・ア SNS、チラシ等情報発信（年114回） イ おがつ線日等イベント開催（年13回） ウ 出張販売（年3回） エ メディアや出版物への出演・掲載等（年5回） (2) 企画展示事業・・・ア 道の駅友の会 演奏会（年6回） イ 書作品や絵画等の展示（年8回） ウ ワークショップ等の開催（年4回） (3) 直売所運営事業・・・雄勝の海産物や地元の食材を使用した加工食品等の委託及び仕入販売 (4) その他・・・・・・雄勝地域の公民館や小中学校との連携・情報共有、住民参加型の企画実施 来場者 雄勝硯伝統産業会館 20,615人 雄勝観光物産交流館 105,716人 イベント・出張販売 延べ16回 25,686人来場 企画展・ワークショップ・コンサート等 延べ18回開催 72,389人来場																																																			
成 果		雄勝硯伝統産業会館は、R6年度と比較し、入館者数約7,700人減、雄勝硯等物販売上（自主事業）は約220万円の減少となった。 また、雄勝観光物産交流館は、入館者数が約14,000人増、直売所売上額が約800万円の増加となり、道の駅全体として、総入館者数等は増加し、観光交流人口の拡大による地域経済の活性化が図られた。 ■入館者数、売上状況 <table><tr><th rowspan="2">年度</th><th colspan="3">雄勝硯伝統産業会館</th><th colspan="2">雄勝観光物産交流館</th></tr><tr><th>入館者数</th><th>うち参観者数</th><th>観覧料</th><th>売上額</th><th>入館者数</th><th>売上額</th></tr><tr><td>R3</td><td>21,986人</td><td>2,405人</td><td>460,210円</td><td>4,639,615円</td><td>104,618人</td><td>24,057,952円</td></tr><tr><td>R4</td><td>25,743人</td><td>1,921人</td><td>360,420円</td><td>5,995,020円</td><td>77,464人</td><td>27,775,880円</td></tr><tr><td>R5</td><td>28,006人</td><td>1,648人</td><td>300,310円</td><td>6,828,843円</td><td>89,348人</td><td>32,943,645円</td></tr><tr><td>R6</td><td>28,338人</td><td>1,500人</td><td>281,230円</td><td>8,236,927円</td><td>91,736人</td><td>36,982,988円</td></tr><tr><td>R7</td><td>20,615人</td><td>1,472人</td><td>273,800円</td><td>6,016,319円</td><td>105,716人</td><td>45,026,574円</td></tr></table> ※R3年度から指定管理による運営を開始、R3年度に道の駅として登録 ※売上額については雄勝硯生産販売協同組合、海産物直売所のもの ただし、直売所の運営はR2～R6.9月まで（一社）石巻観光協会、R6.10月～指定管理者直営					年度	雄勝硯伝統産業会館			雄勝観光物産交流館		入館者数	うち参観者数	観覧料	売上額	入館者数	売上額	R3	21,986人	2,405人	460,210円	4,639,615円	104,618人	24,057,952円	R4	25,743人	1,921人	360,420円	5,995,020円	77,464人	27,775,880円	R5	28,006人	1,648人	300,310円	6,828,843円	89,348人	32,943,645円	R6	28,338人	1,500人	281,230円	8,236,927円	91,736人	36,982,988円	R7	20,615人	1,472人	273,800円	6,016,319円	105,716人	45,026,574円
年度	雄勝硯伝統産業会館			雄勝観光物産交流館																																																	
	入館者数	うち参観者数	観覧料	売上額	入館者数	売上額																																															
R3	21,986人	2,405人	460,210円	4,639,615円	104,618人	24,057,952円																																															
R4	25,743人	1,921人	360,420円	5,995,020円	77,464人	27,775,880円																																															
R5	28,006人	1,648人	300,310円	6,828,843円	89,348人	32,943,645円																																															
R6	28,338人	1,500人	281,230円	8,236,927円	91,736人	36,982,988円																																															
R7	20,615人	1,472人	273,800円	6,016,319円	105,716人	45,026,574円																																															
成果に係る評価		雄勝観光物産交流館については、直売所運営を指定管理者直営で初めて1年間通しで行った年であり、試行錯誤がありながらも、入館者数及び売上額とも前年度より増加した。一方で、雄勝硯伝統産業会館については、入館者数や売上額が減少傾向であり、伝統産業会館展示フロア側に誘客するための企画など、増加に向けた取組が必要である。全体的には、総入館者数や売上額等の数値が向上しており、各種事業が相応の効果を上げていることが伺えることから、事業概要を含め概ね適正であった。 課題として、空き店舗のテナントがあることから、利用者募集の強化をはじめ、利用者が決まるまでのテナント区画の活用方法の検討など、指定管理者と協力連携のもと取り組みに力を入れていく必要がある。																																																			
(単位：円)																																																					
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																																		
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																															
	53,050,201	53,050,201			45,000,000	8,050,201																																															

予算科目	7 款	商工費	事業名		北上観光物産交流センター管理運営事業																			
	1 項	商工費	総合計画	第 4 章	多彩な人材が活躍し誇りと活気にあふれるまち																			
	3 目	観光費		第 4 節	地域資源を活かした観光事業の振興																			
	事業	北上観光物産交流センター管理運営費		(1)	地域資源を活用した観光誘客を推進する																			
担当部課		産業部観光政策課		実施計画掲載ページ		—																		
目的及び事業内容		三陸復興国立公園での自然体験活動を通してエコツーリズム及び環境教育を推進するために環境省が整備したフィールドミュージアムエリア及び石巻・川のビジターセンター敷地内に、市が整備を行い、平成30年2月11日に開館した石巻市北上観光物産交流センターは、北上地域の観光物産情報の提供、地場産品等の展示及び販売を実施することによる両施設の相乗効果を生み出し、産業の振興及び地域交流の活性化を図る。																						
取 組 実 績		1 石巻市北上観光物産交流センター 所在地：石巻市北上町十三浜字東田1番地 開館時間：午前9時から午後5時まで 休館日：火曜日及び年末年始 2 指定管理者 未来環境株式会社 3 指定管理料 5,700,000円 4 指定管理期間 令和3年4月1日～令和8年3月31日 5 事業内容 (1) 北上の観光案内・情報の発信 (2) 北上の地場産品・加工品の展示販売 (3) 北上の風景写真の展示等 (4) 施設の適正な管理運営 6 利用実績 入館者数 16,024人 7 イベント 北上の生産物及び加工品の紹介、展示販売及び新規来場者獲得のためのイベントを以下のとおり開催した。 (1) きたかみ月の市：令和7年4月～1月、計10日開催 (2) 新わかめ即売会：令和8年2月～3月、計6日開催 (3) 開館8周年イベント：令和8年2月、計1回開催																						
成 果		1 地域資源のPR・販売促進 「きたかみ月の市」「新わかめ即売会」「開館7周年イベント」等の開催により、地場産品の販売・PRと新規来場者獲得に努めた。 2 観光情報の発信 北上地域の風景写真や観光情報の常設展示を行うことで、地域の魅力を可視化し、訪問者の理解促進と印象の向上を図った。 3 地域連携の推進 地元事業者や関係機関との連携を通じ、地域の活性化に寄与した。 ※利用者数（年度別） <table><tr><td>年度</td><td>R3</td><td>R4</td><td>R5</td><td>R6</td><td>R7</td></tr><tr><td>開館日数</td><td>307日</td><td>310日</td><td>310日</td><td>307日</td><td>306日</td></tr><tr><td>入館者数</td><td>16,840人</td><td>20,540人</td><td>21,240人</td><td>20,200人</td><td>16,024人</td></tr></table>					年度	R3	R4	R5	R6	R7	開館日数	307日	310日	310日	307日	306日	入館者数	16,840人	20,540人	21,240人	20,200人	16,024人
年度	R3	R4	R5	R6	R7																			
開館日数	307日	310日	310日	307日	306日																			
入館者数	16,840人	20,540人	21,240人	20,200人	16,024人																			
成果に係る評価		地域の物産販売・観光情報発信・地域交流の拠点として、地域コミュニティと観光客をつなぐ機能を果たしているとともに、年間を通じたイベント開催や展示の工夫により、地域の「日常的な魅力」を伝える場として機能しており、観光振興の基盤整備として一定の効果が認められる。 さらなる観光交流人口の増加と産業の振興を目指すため、地域や来館者、地元事業者のニーズを的確に捉え、継続的に事業の推進を図っていく必要がある。																						
(単位：円)																								
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																					
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																		
	5,906,000	5,771,485				5,771,485																		

予算科目	7 款	商工費	事業名		牡鹿地域拠点エリア管理運営事業	
	1 項	商工費	総合計画	第 4 章	多彩な人材が活躍し誇りと活気にあふれるまち	
	3 目	観光費		第 4 節	地域資源を活かした観光事業の振興	
	事業	牡鹿地域拠点エリア管理運営費		(1)	地域資源を活用した観光誘客を推進する	
担当部課		産業部観光政策課	実施計画掲載ページ		－	
目的及び事業内容		おしかホエールランドや情報交流館の機能を併せ持った観光物産交流施設などを牡鹿地域拠点エリアとして運営し、環境省が整備する牡鹿半島ビジターセンターと連携しながら、牡鹿地域の水産・観光の振興、観光客と市民との交流の促進及び地域の活性化を図る。 また、環境省及び地域団体と共に牡鹿半島ビジターセンター運営協議会を設置し、ビジターセンターを拠点とした自然体験活動を通して、エコツーリズム及び環境教育を推進することにより、地域の自然環境保全及び活性化に寄与する。				
取 組 実 績		1 牡鹿地域拠点エリア 施設概要 (1) おしかホエールランド：鯨に関する資料の収集、展示及び歴史・文化の継承口 (2) 観光物産交流施設：地域特産品等の展示・販売、地域情報の発信及び交流促進 2 牡鹿地域拠点エリア 管理業務 (1) 指定管理者：一般社団法人鮎川まちづくり協会 (2) 指定管理期間：R6.4.1～R11.3.31 (3) 指定管理料：46,000,000円 (4) 業務内容 ア 管理施設の利用の許可に関する業務 イ 利用料金の収受、減免及び還付に関する業務 ウ 管理施設の維持管理に関する業務 3 牡鹿地域拠点エリア 利用実績 (1) 観光物産交流施設全体：265,512人 (2) インフォメーションコーナー：13,472人 (3) テナント（7事業者）合算人数：82,877人 (4) おしかホエールランド：14,809人 (5) 指定管理業務によるイベント：6回 (6) 自主事業によるイベント：8回 4 牡鹿半島ビジターセンター運営協議会事業 (1) 活動拠点となる牡鹿半島ビジターセンターの運営に関する事業 (2) 自然体験活動プログラムの企画・実施に関する事業 (3) 三陸復興国立公園及びその周辺の各種情報の収集・提供に関する事業 (4) 運営協議会負担金：9,100,000円 5 牡鹿半島ビジターセンター運営協議会事業実績 (1) 各種研修会の実施：2回開催、延べ23名参加 (2) イベント企画・コンテンツ企画・館内ワークショップ実施：29回開催、延べ495名参加 6 牡鹿半島ビジターセンター 入館者数：67,415人				
成 果		牡鹿地域の拠点施設として、おしかホエールランド及び観光物産交流施設の管理運営を行い、牡鹿半島ビジターセンターと連携しながら、自主事業等を実施することにより、牡鹿地域の観光振興や観光客と市民との交流の促進等が図られた。 また、自然体験活動プログラム等といった牡鹿半島ビジターセンター運営協議会事業について、観光物産交流施設及びおしかホエールランドとの連携により実施するほか、研修会・イベント等を企画することにより、牡鹿地域の魅力再発見に寄与するとともに観光誘客による地域の活性化が図られた。 令和7年度は、巳歳御縁年大祭が開催された影響があり、来館者数が過去最多となった。				
成果に係る評価		金華山黄金山神社の12年に1度の巳年御縁年大祭が開催されたこともあり、牡鹿拠点エリア全体の来館者数は約5万7千人増加（昨年度比：観光物産交流施設全体51,166人増、ホエールランド1,827人増、ビジターセンター4,580人増）し過去最多となった。指定管理者においては、多くの来館者を安全かつ円滑に受け入れるとともに、施設の適切な管理運営に努めたことが評価できる。また、自主事業である「えにしマルシェ」や「全国鯨フォーラム2025」関連イベントの開催等により、施設及び周辺地域の賑わい創出に大きく貢献したものと認められる。 今後は、リピーターの確保や新たな来館者の獲得に向けた取組を継続するとともに、増加するみちのく潮風トレイルハイカーやインパウンド観光客の誘客に向け、SNS等を活用した情報発信を強化し、施設の魅力向上や観光誘客、地域活性化に資する事業を実施することが望まれる。				
(単位：円)						
予算の執行状況		予算額	決算額	決算額の財源内訳		
				国(県)支出金	地方債	その他
		61,500,000	61,495,400			51,395,400

予算科目	7 款	商工費	事業名		家族旅行村管理運営事業					
	1 項	商工費	総合計画	第 4 章	多彩な人材が活躍し誇りと活気にあふれるまち					
	3 目	観光費		第 4 節	地域資源を活かした観光事業の振興					
	事業	家族旅行村管理運営費		(1)	地域資源を活用した観光誘客を推進する					
担当部課		産業部観光政策課		実施計画掲載ページ			－			
目的及び事業内容		おしか家族旅行村オートキャンプ場を運営することにより、自然の中での健全な観光レクリエーションを楽しむ場を確保し、自然との調和を図りつつ、健康と福祉の増進及び観光産業の振興を図る。								
取組実績	1 おしか家族旅行村オートキャンプ場 概要 ・施設：管理棟 1棟（事務室、ロビー、便所、倉庫及び休憩室） 									

予算科目	7 款	商工費	事業名		いしのまき版DMO運営推進事業	
	1 項	商工費	総合計画	第 4 章	多彩な人材が活躍し誇りと活気にあふれるまち	
	3 目	観光費		第 4 節	地域資源を活かした観光事業の振興	
	事業	石巻圏DMO推進事業費		(1)	地域資源を活用した観光誘客を推進する	
担当部課		産業部観光政策課		実施計画掲載ページ		P 76
目的及び事業内容		着地型観光を推進する「石巻圏観光推進機構」により、官民・地域間連携のもと、広域的な観光振興を推進するプラットフォームとして、地域資源を活用し戦略的に観光客の誘客を推進することで、石巻圏域への観光交流人口の増加による観光事業の振興及び地域経済の活性化を図る。				
取 組 実 績		2市1町の魅力発信等に寄与する一般社団法人石巻圏観光推進機構に対し、広域圏観光の推進にかかる負担金を交付した。 1 公益事業 (1) データ収集・分析事業 ア 観光客(国内)の動態に関する調査(回収サンプル数1,237件)国内客満足度:81.1% イ 観光客(訪日)の動態に関する調査(回収サンプル数 180件)訪日客満足度:92.8% ウ 石巻地域住民観光意識調査(回収サンプル数441件)観光地としての魅力度認識:71.7% (2) プロモーション事業 ア インバウンドプロモーション(パンフレット20,000部作成、グーグルマップ2,184回閲覧) イ 国内プロモーション(Web更新、教育旅行コーディネート、石巻圏学びの旅商談会) (3) サイクルツーリズム推進事業 ア 松島基地ランウェイライドの開催(参加者:235名、満足度:95.0%) イ サイクルボール・おいしいの開催(参加者:293名、満足度:94.8%) (4) 石巻エリアファンクラブ事業 会員向けメルマガ配信等(登録数:3,175名) 2 収益事業 (1) 旅行業等(教育旅行:5事業、旅行関連:20商品、受注型企画旅行:17手配) (2) レンタサイクル事業(石巻圏内15か所に設置、貸出実績:1,701台数) (3) 業務委託事業(田代島マンガアイランド予約受付業務等3業務) (4) 補助金事業(観光庁:令和7年度ブルーツーリズム推進計画等3事業)				
成 果		公益事業では、データ収集・分析として、観光客(国内・訪日)の動態調査や大規模イベントにおける人流・消費分析、地域住民の観光意識などを多角的に把握し、特にインバウンドについては、訪日客の周遊傾向を踏まえ、観光コンテンツの磨き上げと効果的な情報発信に努めた。さらに、サイクルツーリズムの魅力向上と交流人口の拡大に貢献した。 また、収益事業では、教育旅行の受入れなどの旅行商品の造成や販売を通じて実績を積み上げ、レンタサイクル事業においても地域資源を活かしたサービスの提供を行い、自主財源の確保と地域内消費の創出に寄与した。				
成果に係る評価		DMOの運営については、石巻圏域における観光地域づくりの推進役として重要な役割を担っており、本事業の取組により、データに基づく施策の検討や国内外からの誘客促進、地域事業者との連携強化を一体的に進め、持続可能な観光地域づくりに向けた実務的な基盤を整えることができた。 今後も地域の魅力を最大限に引き出し、地域経営を牽引する「観光地域づくり法人」として、観光価値を高める施策に取り組む必要がある。				
(単位:円)						
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳			
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源
	14,367,000	14,367,000				14,367,000